

14.7
10
11 604

№51



佛 國
商法講義

第 四 冊

舊太政官商法編纂局御反譯
佛國巴里法律大學教師法律博士ボウスタール先生著
檢事法律學士福原直道先生
外務省參事官法律學士杉村虎一先生
檢事法律學士立木頼三先生
合 譯



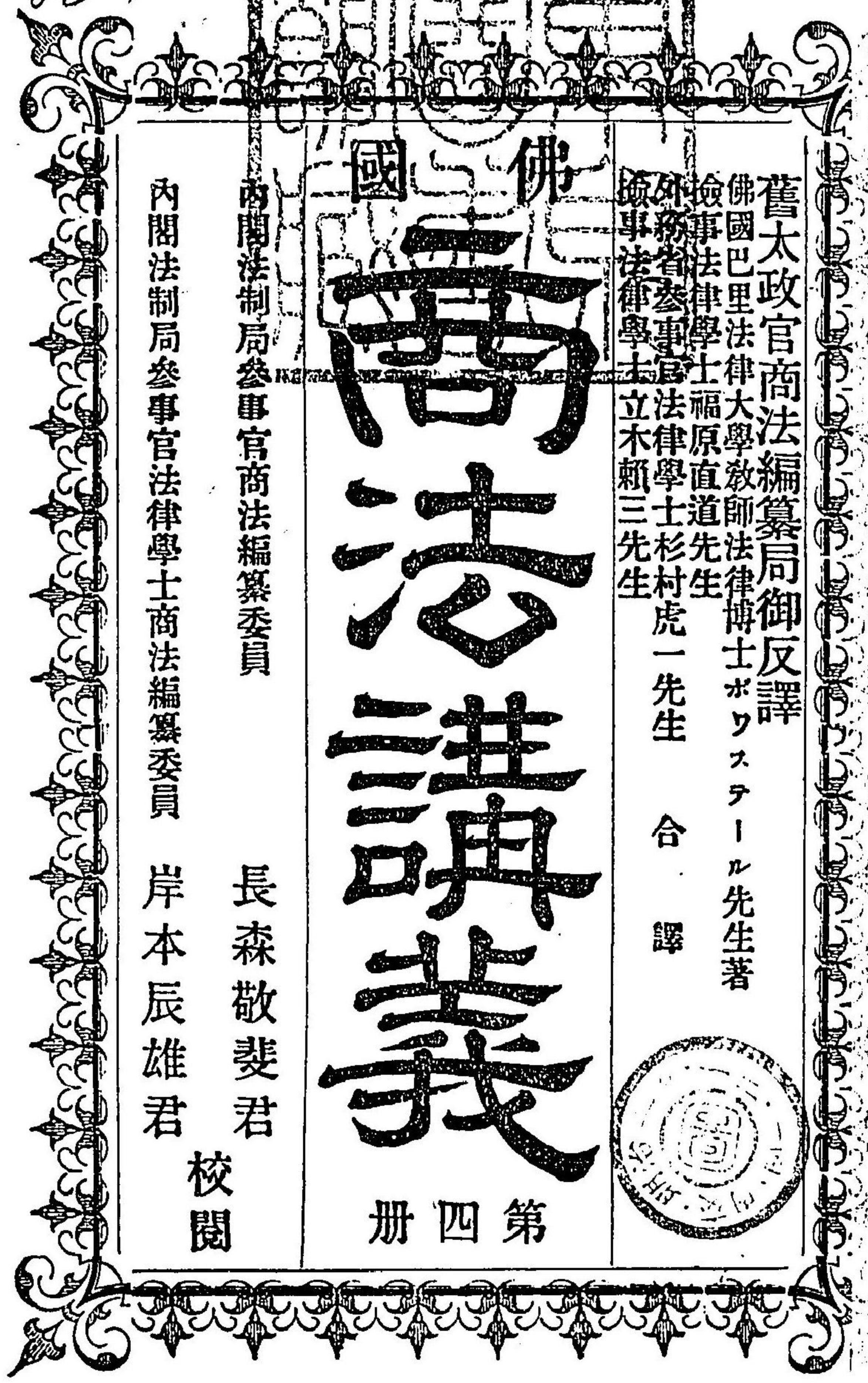
內閣法制局參事官商法編纂委員

長森敬斐君

內閣法制局參事官法律學士商法編纂委員

岸本辰雄君

校 閱





此目錄ハ仮
リニ添ヘタ
ルモノナレ
ハ全部出版
ノ上更ニ總
目錄ヲ付ス
ルトスヘ

葛 氏 商法講義第四冊目次

第八卷前論 資本流通ノ事(第六百六十四號)

第一章 貨幣上ノ流通ノ事(第六百六十五號乃至第六百七十九號)

流通ノ機關ノ事(第六百七十三號乃至第六百七十九號)

第一 銀行手形(第六百七十四號乃至)

第二 銀行預金(第六百七十六號)

第三 振替(第六百七十七號)

第四 貨幣引替切手(第六百七十八號)

第五 爲替手形(第六百七十九號)

第二章 信用上ノ流通ノ事(第六百八十號乃至第六百八十七號)

信用ノ機關ノ事(第六百八十一號乃至第六百八十七號)

第一 掛賣(第六百八十一號)

- 第二 約束手形(第六百八十二號)
- 第三 爲替手形(第六百八十三號乃至第六百八十四號)
- 第四 割引(第六百八十五號)
- 第五 質物ニ付テノ立替金(第六百八十六號)
- 第六 即時持主拂ニ於ケル銀行手形ノ發行(第六百八十七號)
- 第三章 銀行ノ事(第六百八十八號乃至第七百五號)
 - 第一節 通商銀行(第六百九十號乃至第六百九十九號)
 - 第一 預金ノ方法及ヒ條件(第六百九十二號)
 - 第二 貸付ノ方法及ヒ條件、割引(第六百九十三號乃至第六百九十九號)
 - 第二節 發行銀行即チ流通銀行(第七百號乃至第七百四號)
 - 佛蘭西銀行事務取扱ノ概略

- 第三節 貸付銀行又ハ專利銀行(第七百五號)
- 第八卷 爲替手形ノ事、約束手形ノ事、及ヒ期滿免除ノ事前加章 爲替ノ實況(第七百六號乃至第七百一十一號)
 - 爲替相場表ノ說明佛蘭西内國爲替
 - 第一章 爲替手形ノ事(第七百十二號乃至第八百三十七號)
 - 爲替契約、爲替手形ノ大意
 - 第一節 爲替手形ノ記製ノ事(第七百十七號乃至第七百四十五號)
 - 第一款 必要ナル條件ノ事(第七百十七號乃至第七百三十一號)
 - 第一 人ニ付テノ記載(第七百十九號乃至第七百二十號)
 - 第二 義務ニ付テノ記載(第七百二十一號乃至第七百二十二號)

四號

其一 拂フ可キ金高ノ記載(第七百二十一號)

其二 支拂期限ノ記載(第七百二十二號乃至第七百二十三號)

其三 支拂場所ノ記載(第七百二十四號)

第三 手形ニ付テノ記載(第七百二十五號乃至第七百二十六號)

其一 日附(第七百二十五號)

其二 受取リタル金高(第七百二十六號)

手形ニ必要ナル條件ノ制載(第七百二十七號乃至第七百三十一號)

第二款 時々要用ナル條件ノ事(第七百三十二號乃至第七百

三十八號

第一 手形振出人ニ管スル自由文言(第七百三十二號乃至第七百三十三號)

其一 手形振出人ノ命令ニ在ル爲替手形(第七百三十二號)

其二 他人計算ノ手形振出人(第七百三十三號)

第二 手形支拂人ニ管スル自由文言(第七百三十四號乃至第七百三十五號)

其一 手形金立替人(第七百三十四號)

其二 住所支拂人(第七百三十五號)

第三 物件ニ管スル自由文言(第七百三十六號乃至第七百三十八號)

其一 通知ニ從ヒ又ハ別般ノ通知ナクナル文言(第七百三十六號)

其二 無費返還(第七百三十七號)

其三 數通ニ記シタル爲替手形(第七百三十八號)

第三款 爲替手形ニ付テノ無能力ノ事(第七百三十九號乃至第七百四十二號)

其一 婦女ノ無能力(第七百三十九號)

其二 幼者ノ無能力(第七百四十號)

治産ノ禁ヲ受ケタル者裁判所ヨリ任スル輔佐人
ヲ受ケタル者(第七百四十一號)

第四款 稅則(第七百四十三號乃至第七百四十五號)

第一 印紙稅(第七百四十三號乃至第七百四十四號)

第二 登記稅(第七百四十五號)

第二節 爲替手形ノ讓渡ノ事(第七百四十六號乃至第七百六十九號)

第一款 所有權移轉裏書ノ事(第七百四十七號乃至第七百五十八號)

第一 裏書ノ法式(第七百四十八號乃至第七百五十一號)

第二 規則ニ適ヒタル裏書ノ効(第七百五十二號乃至第七百五十七號)

其一 裏書人手形ノ全部ノ拂テ担保スル事(第七百五十三號)

其二 讓渡人ニ對シ言立ツルヲ得可キ故障ヲ其讓受人ニ對シ言立ツルヲ得サル事(第七百五十四號)

乃至第七百五十七號

(イ)全ク規則ヲ適用ス可キ場合(第七百五十五號)

(ロ)規則ヲ適用ス可ラサル場合(第七百五十六號)

(ハ)唯善意ノ手形所持人ノ爲メニノミ規則ヲ適用ス可

キ場合(第七百五十七號)

第三 時々要用ナル文言(第七百五十八號)

第二款 名代委任裏書ノ事(第七百五十九號乃至第七百六十

八號)

第一 明約名代委任裏書(第七百六十號)乃至第七百六十一號)

第二 黙約名代委任裏書(第七百六十二號乃至第七百六十八號)

其一 規則ニ適ハサル裏書(第七百六十二號)

其二 無文裏書(第七百六十三號)

其三 規則ニ適ハサル裏書及ヒ無文裏書ノ効(第七百六十四號乃至第七百六十八號)

第三款 担保裏書ノ事(第七百六十九號)

第三節 支拂ノ担保ノ事(第七百七十號乃至第七百九十八號)

第一款 準備ノ事(第七百七十號乃至第七百七十七號)

第一 如何ナル時ニ準備アリヤ(第七百七十一號)

第二 準備ニ關スル手形所持人ノ權利如何(第七百七十二號乃至第七百七十七號)

第二款 承諾ノ事(第七百七十八號乃至第七百九十四號)

第一 承諾ノ法式(第七百八十一號乃至第七百八十四號)

第二款 承諾ノ効(第七百八十五號乃至第七百八十七號)

第三款 承諾ノ拒ミ及ヒ其効(第七百八十八號乃至第七百九十四號)

第四款 請合ノ事(第七百九十五號乃至第七百九十七號)

第四節 連帶ノ事(第七百九十八號)

支拂及ヒ支拂拒ミノ事(第七百九十九號乃至第八百三十八號)

第一款 規則ニ循テ爲シタル拂ノ事(第七百九十九號乃至第八百一十一號)

第一款 拂ノ條件(第七百九十九號乃至第八百二號)
普通法ノ例外(第八百一號乃至第八百二號)
其一部ノ拂ヲ爲スコトヲ得ル事(第八百一號)

第二款 手形所持人ハ手形ノ支拂期限前強テ手形ノ支拂

ヲ受取ルニ及ハサル事(第八百二號)

第三款 支拂ノ法律ニ適スルヤニ付テノ問題(第八百三號乃至第八百五號)

第四款 爲替手形ノ紛失ノ場合(第八百六號乃至第八百九號)

第一款 手形ノ支拂期限前ニ爲ス可キ處置(第八百七號)
第二款 手形ノ支拂期限ニ爲ス可キ處置(第八百八號乃至八百九號)

第三款 爲替手形ノ贗造ノ場合(第八百十號乃至第八百一十一號)

第二款 不拂ノ事及ヒ其直接ノ効(第八百十二號乃至第八百二十五號)

- 第一 手形所持人ノ義務(第八百十三號乃至第八百十八號)
(拒ミ證書告知、裁判所ヘノ呼出)
- 第二 手形所持ノ權利(第八百十九號乃至第八百二十三號)
(返シ爲替)
- 第三 干涉支拂(第八百二十四號乃至第八百二十五號)
- 第三款 期限ニ後レタル手形所持人ノ其權ヲ失フ事(第八百二十六號乃至第八百三十二號)
- 第一 手形振出人ニ對シ(第八百二十六號乃至第八百二十七號)
- 第二 裏書人ニ對シ(第八百二十八號乃至第八百二十九號)
- 第三 手形支拂人ニ對シ(第八百三十號)
- 第四 保證人ニ對シ(第八百三十一號)

一般ノ注意(第八百三十二號)稅則上ノ失權(第八百三十三號)

第四款 義務者相互ノ間ニ爲ス訴ノ事(第八百三十四號乃至八百三十七號)

- 第一 手形支拂人手形ノ支拂ヲ爲シタリ(第八百三十四號)
 - 第二 手形振出人手形ノ支拂ヲ爲シタリ(第八百三十五號)
 - 第三 裏書人手形ノ支拂ヲ爲シタリ(第八百三十六號)
 - 第四 保證人手形ノ支拂ヲ爲シタリ(第八百三十七號)
- 第二章 約束手形ノ事(第八百三十八號乃至第八百四十四號)

第一節 約束手形ノ法式(第八百三十九號)

收稅上ノ條件印紙稅登記稅(第八百四十號)

第二節 約束手形ノ効(第八百四十一號)

第三節 管轄第八百四十二號乃至第八百四十三號

第四節 住所拂ノ手形(第八百四十四號)

第三章 期滿免除ノ事(第八百四十五號乃至第八百五十二號)

第八卷第一附錄 所持人拂手形ノ事(第八百五十三號乃至第八百五十四號)

第八卷第二附錄 預金引出小切手ノ事(第八百五十五號乃至第八百七十四號)

第一節 通常小切手ノ事(第八百五十九號乃至第八百七十二號)

第一 小切手ノ義解(第八百五十九號乃至第八百六十三號)

第二 小切手ノ法式(第八百六十四號乃至第八百六十六號)

第三 小切手ノ効(第八百六十七號乃至第八百六十九號)

第四 收稅上ノ條件(第八百七十號乃至第八百七十二號)

第二節 銀行ニ向ケタル請取手形ノ事(第八百七十三號乃至第八百七十四號)

第八卷第三附錄 交互計算ノ事(第八百七十五號乃至第八百八十八號)

特別ノ帳合法(第八百七十五號乃至第八百七十九號)交互計算ノ法律上ノ理論(第八百八十號乃至第八百八十七號)

「ウーヴェルチュール、ド、クレギー」ノ約束ノ事(第八百八十八號)

第八卷前論 資本流通ノ事

(第六百六十四號)

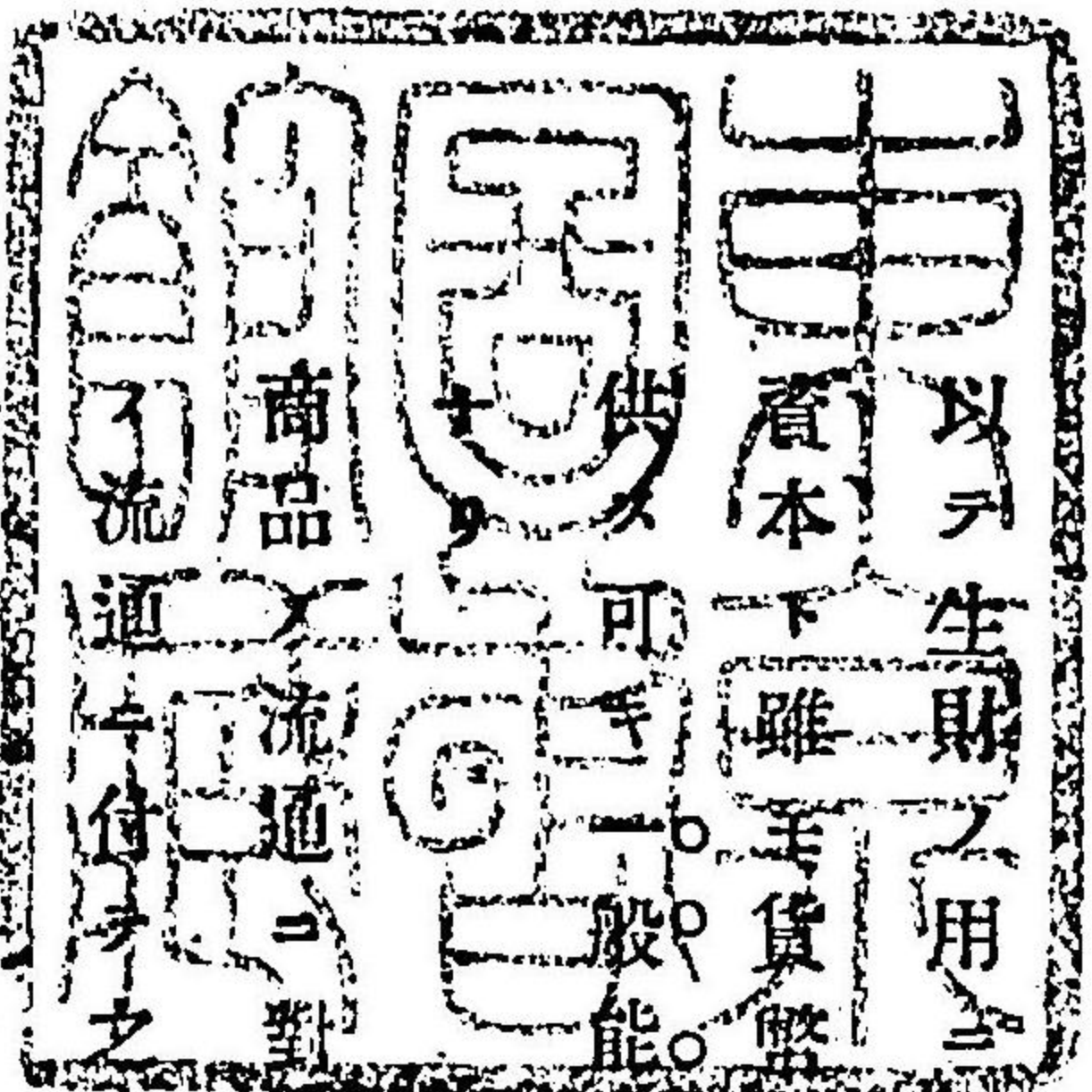
資本ナル語ハ之ヲ常用ノ意味ニ解釋ス即チ貨幣及

貨幣ニ代ル可キ記號ヲ示スノ謂ナリ蓋シ勤勞ナルモノハ之ヲ聚積シ

以テ生財ノ用ニ供スルヲ得故ニ其語固有ノ意味ニ於テハ均シク之レ

資本ト雖モ貨幣ハ普通ノ交換物ナリ吾人百般ノ需用及百般ノ生財ニ

供スル可キ一般能力ヲ有スルヲ以テ世俗之ヲ稱シ最高等ノ資本ト云フ



資本ノ流通アルハ余輩既ニ觀察シタリ今此資本

論セシ夫レ資本ノ流通ハ商業上ノ信用ニ因リ之ヲ容

易ナラシメサル可カラサルヲ前知スルヲ要ス蓋シ此商業上ノ信用ニ

因リ各商人ハ其買入タル商品ノ支拂ヲ延期シ自ラ其商品ヲ賣却シ其

代金ヲ受取ル可キ期限ニマテ近寄ラシムルヲ得然レモ此信用ハ唯

二三ヶ月ニ止マリ決シテ長キ期限ヲ保ツテ得ヌ故ニ之ヲ稱シテ短期ハ信用ト云フ是長期ハ信用ニ相反スルノ謂ナリ長期ノ信用トハ年金ノ證書、株券、義務券等ノ發行ニ因リ實施スル所ノモノヲ云フ既ニ公ケノ手形ヲ論スルニ方リ之ヲ説明シタリ

資本ノ流通ニ二種アリ第一貨幣上ノ流通即チ貨幣及貨幣ニ代ルヘキモノ、流通第二信用上ノ流通即チ信用ノ機關ノ流通是ナリ此二種ノ流通ハ第一章第二章ノ論題トス第三章ニ於テハ余輩二種ノ流通ノ關鍵タル銀行ノ事ヲ論シ且ツ其銀行ノ取扱フ事務ニ關スル法律上及實際上ノ細目ヲ講究セン

第一章 貨幣上ノ流通ノ事

(第六百六十五號) 人其百般需用ノ物品ヲ以テ相交換シ得サル時ハ貨幣ナルモノハ普通又缺ク可カラサル交換ノ機關タリ例ヘハ甲某己レ

ノ需用ナル物ヲ乙某ヨリ得ンカ爲メ乙某ノ需用ナル物ヲ與フルニ換ヘ乙某カ其欲スル所ノ物ニ換ヘルヲ得可キ物ヲ付與ス此物タルヤ即チ貨幣ナリ貨幣ハ何人モ交換受授スルヲ欲セサルモノナシ

貨幣ノ何人モ交換受授スルヲ欲スルモノタラシニハ實價ヲ有シ唯、約束上ノ價格ヲ有スルニ止ラス假令ハ貨幣トシテ之ヲ使用スルヲ得サルモ他ニ之ヲ使用シ得ルノ正確ナルヲ要ス然ラサレハ若シ一般合意ノ變シタル時ハ復タ其價格ヲ有セシテ交換物ヲ得ルヲ能ハサルニ至ル可ケレハナリ○是ニ由テ之ヲ觀レハ貨幣モ亦他ノ商品ト同ク一ノ商品タリ其價格ハ總テ他ノ商品ノ價格ト等シク需用供給ノ度ニ因テ定ル可ク一個人ハ勿論政府ト雖モ其貨幣カ自ラ有セサル所ノ價格即チ交換力ヲ之ニ與フルヲ得サルモノトス

(第六百六十六號) 昔時諸種ノ物品ヲ以テ貨幣ノ如ク使用シタルアリ

又現今之ヲ用ルアリ例ハ貝類ノ阿非利加二三ノ民族ニ於ケル或ル時代烟草ノ亞米利加ニ於ケル毛皮ノ北方諸國ニ於ケル如キ是ナリ○然レトモ舊來文明ノ人民ハ貴重金屬即チ金銀ヲ以テ貨幣ヲ鑄造スルニ至ル是レ數多ノ理由ニ出ルモノトス○第一金銀ハ貴重ノ金屬タリ故ニ何種ノ民族ト雖モ之ヲ愛慕セサルハナシ且ツ假令ヒ遠方ノ國行ク處交換物タルヲ得レハナリ○第二金銀ハ假令ヒ貨幣ト爲シ之ヲ使用スルヲ得サルモ常ニ細工上其用途夥多ナリトス但シ白金ノ如キハ之ト異ニシ其細工上ノ用極メテ狹隘ナリ○第三金銀ハ其產出スル所限アルヲ以テ其價格ニ大ナル浮沈ヲ生セサルモノトス○第四金銀ハ少量ニシテ大價ナリ故ニ大金ノ運搬ヲ便捷ナラシム○第五金銀ハ容易ニ之ヲ截斷シ適宜ノ部分ニ爲ストヲ得○第六金銀ハ其質尤モ堅硬ナリ是ヲ以テ其量目ヲ多減スルナク長久ニ流通スルヲ得

(第六百六十七號) 金屬ヲ截斷シ時々輕重ヲ權ルノ不便ナルヲ以テ豫シメ之ヲ公定適量ノ小塊ニ作り其用ニ應シ員數ヲ計算シ交換ヲ爲スノ大利アルヲ了解シタルヲ今ニ始ルニアラサルナリ○其他貴重金屬ヲシテ善ク使用ニ堪ヘシムル爲メ之ニ幾分ノ銅ヲ混和ス故ニ又其純分ヲ明定セサル可カラズ蓋シ貨幣ノ純分トハ鎔金中混和シタル貴重金屬ノ分量ヲ云フ例ハ某ノ貨幣ハ純分十ノ九ト爲ス則チ其貨幣ハ貴重金屬十分ノ九ト銅十分ノ一トヲ含有スルノ謂ナリ○政府ハ貨幣ノ量目ト純分トヲ正確ナラシメンカ爲メ其鑄造ニ干涉ス其貨幣ノ表裏ニ圖シタル國王ノ肖像ト數字トハ決シテ他ノ意旨アルニアラス而シテ其干涉タル亦他ノ目的ヲ存スルニアラサルナリ政府ハ造幣所ニ於テ此監督ヲ行フニ過キス其他ノ點ニハ造幣所ハ私立ノ場タリ且ツ貨幣鑄造ノ事ハ一般ニ造幣頭又ハ地金ヲ貨幣ト爲シ貨幣ヲ地金ニ爲

ス。トテ有益ナリト思惟スル者ノ意ニ放任シタルモノトス
 (第六百六十八號) 又政府ハ契約者雙方ノ明諾アラサル場合ニ於テ金
 高ノ支拂ヲ爲ス可キ貨幣ノ種類ヲ定ムル爲メ法律ヲ以テ干涉ス此種
 類ハ則チ貨幣ノ本位ナリ何トナレハ他ノ貨幣ハ渾テ其貨幣ニ因テ其
 價ヲ定ムレハナリ○單本位ノ國アリ英吉利ノ如キハ金貨單本位ナリ
 「リーフル、ステルリング」ヲ以テ本位トス銀ハ補助貨ナリ故ニ端錢ニア
 ラサレハ支拂トシテ與フルコトヲ得ス○又和蘭ノ如キハ千八百五十
 年以降銀貨單本位ナリ是ニ於テ金貨ハ銀貨ノ補助トシ契約者雙方自
 由ニ討議ヲ爲シ其定メタル比較價格ニ從テ之ヲ授受ス○又我佛蘭西
 ノ如キハ金銀貨複本位ナリ故ニ負債主其意ニ隨ヒ金貨或ハ銀貨ヲ以
 テ金高ノ支拂ヲ爲ス。トテ得但シ金銀兩金屬ニ付キ法律上ノ比較價格
 ナ定メ十五半トシ法律上ニ於テハ金ハ銀ヨリ十五倍半ノ價格ヲ有ス

ルモノトス「我貨幣」此ノ如ク二個ノ原位ヲ定メタル如何ヲ左ニ説明
 セン○「フランク」ヲ以テ稱價ノ原名トス「フランク」ハ其量目五「グラム」
 純分十ノ九即チ純銀四「グラム」半ヲ含有ス○金貨モ亦純分十ノ九其
 量目ハ同價ノ銀貨ニ含有スル純銀ノ量目ヨリ十五倍半小ナル純金含
 有ノ割合ヲ以テ之ヲ推算ス可シ

金銀兩金屬ノ比較價格ハ常ニ浮沈シ實際ニ於テ決シテ法律ニ定ムル
 所ノ如クナラサルモノナリ故ニ複本位ノ主義ハ物ノ自然ニ反シ又交
 換上經濟法ニ反ス加之常ニ賤價ノ金屬ヲ以テ大ナル金高ノ支拂ヲ爲
 サシムヘキ結果ヲ致スモノトス是レ債主ノ爲メニ不正ニシテ商業取
 引ヲ害スルモノナリ何トナレハ債主ハ其支拂トシテ受取ル可キモノ
 價格ヲ知ルヲ得レハナリ○又若シ此二金屬ノ價格ヲ法律上ノ比
 較ノ實際ニ於テ變更シタル時ハ一ハ他ニ比較シテ打歩ヲ要スト云フ

蓋シ千八百五十年以前ニ在テハ金ハ銀ニ比較シテ打歩ヲ要シタリ然ルニ爾後カリフォルニア及チーフトラリー等ノ諸國金ヲ産出スルト多ク且ツ東方ニ於テハ銀ヲ貴重シ之ヲ以テ夥多ノ支拂ヲ受ケタルカ故ニ終ニ銀ハ金ニ比較シテ打歩ヲ要スルニ至レリ又近年金ノ相場非常ニ騰貴シタルハ是レ千八百七十年ノ戦争及政治上困難ノ結果タリ蓋シ金ハ人民ニ在テハ貯蓄スルニ甚タ輕便ニ金高ノ支拂ヲ爲ス政府ニ在テハ運送上尤モ容易ナリ亦是レ我戦争ノ償金多クハ金貨ヲ以テ支拂フタルノ結果ナリ但シ金ノ打歩ハ其初ハ重大ナリシト雖モ爾後漸ク減少シ殆ント之無キニ至レリ又現今ニ在テハ一ノ他ノ原由アリテ金ノ打歩ヲ騰貴セシメントス其源由タルヤ金ヲ拂底ナラシムルニ非スシテ銀ヲ賤下ナラシムルニ在リ日耳曼及瑞典ノ如キ諸國ニ於テ幣政ノ改革是ナリ即チ近來日耳曼及瑞典等ノ諸國ニ於テハ金貨單本

位ヲ認可シタリ我佛蘭西ノ複本位ヲ維持スル間ハ此差異滋々大ナラサルヲ得ス我佛蘭西ニ於テハ銀貨ヲ拒ム能ハサルヲ以テ外國ノ拒テ受サル銀貨ハ悉ク我佛蘭西ニ來聚シ而シテ我佛蘭西ノ金貨ハ外國ニ濫出ス可シ是外國ニ於テハ金貨ノ外一切他ノ貨幣ノ受領ヲ拒絕スルヲ得レハナリ

法貨ノ外ニ補助貨アリ即チ銅貨是ナリ金高ノ最モ小細ナル部分ヲ精算スルカ爲メニ必要トス補助貨ハ常ニ其價格ニ等シキ實價ヲ有セス其量目重キニ過クルヲ以テ唯々法貨ノ端錢トシ通用スルニ止マルモノトス佛蘭西ニ於ル五フランク貨幣ノ端錢即四フランク九十九サンチム以上ノ金高ハ銅貨ヲ以テ拂フヲ得ス千八百十年八月十日ノ勅令第三條〇又二十サンチム五十一サンチム二フランク及二三フランクノ新銀貨ハ銅貨ト一樣視ス可ク此等ノ新銀貨ハ輸出ヲ避ケンカ

爲メニ法律上ノ純分ヲ減シタリ該新銀貨ハ純分十ノ九即チ純銀千分ノ九百ニ換ヘ少カニ千分ノ八百三十五ヲ含有スルモノトス(千八百六十年三月二十五日ノ法律第二條及千八百六十六年七月十四日ノ法律第一條)故ニ「五」フランクノ端錢ニ非サレハ之ヲ以テ支拂ヲ爲スヲ得ス但シ政府ハ特別ニシテ無限ニ之ヲ受収ス(千八百六十六年七月十四日ノ法律第五條)

(第六百六十九號) 法貨ハ通用ノ力ヲ有セシムルモノトス故ニ何人ト雖モ支拂トシテ之ヲ受取ルヲ拒ムヲ得ス此規則ハ或ル金高ヲ超ルニ於テハ補助貨ヲ拒ムコトヲ許シタル法律ノ反對及刑法典第四百七十五條第十一ヨリ生ス蓋シ刑法典第四百七十五條第十一ニ於テ「贋造、或ハ變造ニ非サル本國ノ貨幣ヲ時價ニ從ヒ受取ニルヲ肯セサル者」ヲ罰スルモノトス

此原則ハ義務ヲ生スルノ際支拂ノ方法ニ付キ別段ノ契約アラサル場合ニハ容易ニ之ヲ適用スルヲ得但シ(論)何種ノ貨幣ヲ以テ金高ヲ支拂ントノ明約ヲ爲スヲ得可キヤ○余輩ハ多數ノ著述家ト同ク此明約ヲ爲スヲ得ルモノトシ更ニ疑ヲ容レサルナリ○實ニ法律ハ何レノ所ニ在テモ此種ノ明約ヲ禁シタルヲナク且ツ常ニ自由ノ意味ニ決定セサル可カラス(民法典第一千二百四十三條)又商法典ニ爲替手形ノ事ニ付テハ之ヲ允許ス(第四百十三條)此場合ニハ別段ノ理由アラサルカ故ニ第四百十三條ハ一般規則ノ適用ト看做サ、ルヲ得○又他ノ一方ニ在テハ此種ノ貨幣ヨリ彼種ノ貨幣ヲ以テ金高ヲ支拂ント契約スルニ付テハ尤モ正當ノ利益ヲ有スルヲアル可ク是レ當其契約シタル貨幣ノ他ノ貨幣ヨリ高價ナル時ノミナラス又其貨幣他ノ貨幣ヨリ低價ナル時ト雖モ同一ナリトス例ヘハ職工ノ賃銀ヲ支拂フ如キ假令ヒ銅

貨ナリト雖モ小貨ヲ要スルヲアレハナリ○又何人ト雖モ予カ外國ニ支拂ヲ爲スニ必要ナル外國ノ貨幣ヲ以テ金高ノ支拂ヲ得ント契約スルヲニ關シ之ヲ防遏スル者アラサル可シ然ルニ若シ反對説ヲ主張スル時ハ猶ホ之ヲ禁セサル可カラストス

(第六百七十號) 實貨ノ外ニ勘定貨及想像貨ナルモノアリ○勘定貨トハ勘定中ニ貨幣ヲ指示スル所ノ名稱ヲ云フ即チ我佛蘭西ノ「フランク」ノ如キ是ナリ蓋シ實貨ニハ二個ノ本位アリト雖モ勘定貨ニハ一ノ原稱即チ「フランク」ト其大數及小數アルニ止ルコトヲ注意セサル可カラズ故ニ金貨ハ其價ニ應ス可キ「フランク」ノ數ヲ以テ之ヲ稱スルモノトス又英吉利ニ於テハ之ニ反シ實貨ハ金貨單本位ナレトモ勘定貨ニハ三個ノ原稱アリ即チ「リーフル」スタ「ルリング」金「二十」シルリングニ當リ「シルリング」銀「十二」マンスニ當ル及「マンス」銅是レナリ

想像貨トハ他ノ實貨ニ應セザル所ノ精密ナル價格ノ原位ニシテ正貨ノ價格ヲ量カルニ用フルモノトス想像貨ハ殊ニ正貨ノ一般ニ變造ニ係ハル時銀行ヨリ之ヲ發行ス例ニハ「マルク」パンゴノ如キ是レナリ若シ一ノ金高ヲ銀行ニ渡シタル時ハ「マルク」パンゴノ數ヲ以テ其受取タル貨幣ノ價ヲ量リ同一ノ貨幣又ハ他ノ貨幣ヲ以テ其金高ノ價ヲ定ムルモノトス○英吉利ニ於テモ亦實貨ニアラス勘定ニ使用セサル所ノ一ノ想像貨アリ即チ「ギチー」是ナリ「リーフル」ニ「シルリング」ニ價ス「リーフル」ヲ以テ物價ヲ示スニ換ヘ「ギチー」ヲ以テ物價ヲ示ス「往々」之アリ蓋シ是レ買主ヲシテ知ラス高價ヲ拂ハシムルノ方法ニ外ナラザル可シ

(第六百七十一號) 各商人ハ賣買ニ當リ其權利即チ代價ヲ其金函ニ納入爲スモノナリ同地賣買ニ於テハ其授受容易ナリト雖モ隔地賣買ノ

キハ代價領収ノ爲メ手代又ハ出納方ヲ派出シ其地義務者ヨリ權利ノ取立ヲ爲サシメサル可カラズ然ルニ是レ大ニ費用ヲ要ス何トナレハ手代及ヒ出納方等ニ雇料ヲ拂ハサル能ハサレハナリ故ニ商人ハ預金銀行ノ方法ニ隨ヒ此費用ヲ避クルコトヲ得抑モ預金銀行ナル者ハ其得意先ノ爲メロ權利ノ取立義務ノ支拂ヲ爲シ以テ其金銀出納ノ事務一切ヲ擔任シ加フルニ其預リタル期限間ハ其金高ニ付キ若干ノ利子ヲ拂フモノトス且又他ノ場所ニ於テ金高ノ取立ヲ爲ス時ハ其場所ノ銀行ヲシテ其金高ノ取立ヲ爲サシム○佛蘭西銀行ニ於テハ其支店ノ設ケアル場所ニ限リ其得意先ノ爲メニハ其權利ノ取立ヲ爲シ別ニ手數料ヲ受取セズ尤モ其附托トシテ受取タル金高ニ付キ利子ヲ支拂ハサルモノトス○此方法ハ猶ホ一層ノ改良ヲ爲セリ余輩之ヲ後ニ論ス可シ

(第六百七十二號) 支拂ニ付テ其主タル業務ノ外貨幣ハ特別商業ノ目的タリ其商業ニ於ル貨幣ハ眞ニ一ノ商品タリ此商業ハ即チ貨幣ノ交換或ハ手爲換ト云フ是レ兩替商ノ業トスル所ニシテ兩替商ハ各國ノ貨幣又ハ同一國ノ貨幣ヲ彼是交換シ又ハ銀行ノ手形商業手形、公ケノ手形ヲ貨幣ト交換シ又ハ貨幣ヲ此等ノ手形ト交換シ以テ其商業ヲ爲スモノナリ
融通ノ機關ノ事。

(第六百七十三號) 貨幣ニ鑄造シタル金銀ハ交換ヲ容易ナラシムル緊要ノ物タリト雖モ之ヲ一般繁榮ノ爲メニ使用スルヲ能ハス又其貨幣ト成リタル資本ハ之ヲ甚タ有益ナル生財ニ使用スルヲ能ハス故ニ交換ニ必需ナル貨幣ノ高ハ其交換ニ障礙ヲ生セサル限リハ之ヲ減少スルニ利アリ蓋シ十億萬ノ貨幣ヲ以テ二十億萬ノ貨幣ト同一ノ交換ヲ

爲ス時ハ其國ハ猶ホ十億萬ノ富チ有スルモノトス此點ニ付キ佛蘭西ノ進歩セサルハ余輩之ヲ後ニ論ス可シ(第八百五十六號參看)

余輩カ述ヘ來リタル所ノ貨幣ニ代用シ利益ヲ得ルノ方法アリ是レ之ヲ融通ノ機關ト云フ信用ノ機關ニ反スルノ稱トス融通ノ機關ハ現在自由ニ處分スルヲ得可キ金高ヲ顯著シテ毫モ信用ニ頼ラサルモノナリ

此融通ノ機關ヲ左ニ論セン

第一銀行手形若クハ紙幣

(第六百七十四號) 銀行ノ手形トハ何時ニテモ手形持主ニ若干ノ金高ヲ支拂フ爲メ銀行ヨリ發行シタル約束證書ヲ云フ此證書ハ何時ニテモ貨幣ト兌換スルヲ得ルヲ以テ貨幣ト等シク通用スルモノトス此手形ハ之ヲ正金ニ比セハ巨額ノ金高ヲ運送シ及之ヲ計算スルヲ

容易ナラシムルニ付キ一大便利ヲ與フルモノナリ例ヘハ五萬フランクノ金高ハ金貨ナルモ甚タ重量タリ況ヤ銀貨ヲヤ若シ銀貨ヲ以テセハ當ニ一車ヲ要スヘシ又同金額ヲ金貨又ハ銀貨ヲ以テ計算セントスル時ハ多分ノ時間ヲ消費ス可シ然ルニチ「フランク」ノ手形五拾枚ヲ以テスル時ハ之ヲ計算スル丁尤モ容易ナリ

又銀行ノ手形ハ正金ヲ節約シ實際上ノ結果ニ於テハ之ヲ増加ス實ニ實際上手形ヲ以テ顯シタル正金ハ其全部直チニ自由ニ處分スルコトヲ得可キモノナルヲ要セス何トナレハ其總テノ手形持主カ同時ニ手形ノ金高ヲ請求スルカ如キ「アラサレ」ハナリ是ヲ以テ其手形ノ兌換ノ爲メニ備ヘタル正金ノ一部ハ之ヲ流通シ有益ノ生産ニ用フルヲ得尤モ其期限ハ短キヲ要ス而シテ其正金ハ實際上ノ結果即チ一般ノ生財ヲ助成スルノ點ニ付テハ斯ノ如ク二倍スルモノトス○此方法ハ

手形ヲ發行シタル銀行ニ信用ノ機關ヲ與フルヲ疑テ容レスト雖モ其手形ヲ受取ル者ニ在テ銀行手形ハ常ニ自由ニ處分スルヲ得可キ高金タリ何トナレハ銀行ノ手形ハ輒テ之ヲ貨幣ト兌換スルヲ得レハナリ故ニ銀行ノ手形ハ融通ノ機關ナリトス

此條件ニ付キ銀行手形ノ發行ハ佛蘭西ニ於テハ危險トシ且ツ特權ニ屬スルモノト看做セリ故ニ此手形ノ發行ハ佛蘭西銀行ノ特權ニシテ政府ノ監督ヲ受ク可ク法律ノ規則ニ遵フ可キモノトス

(第六百七十五號) 此手形ハ紙幣ト混淆ス可カラズ紙幣ハ兌換所ヲ設ケ以テ兌換スルモノニ非ス是通用ノ力ヲ有セシムルモノナレハナリ紙幣ハ正金ト兌換スルヲ得ズ又毫モ自ラ價格ヲ有セスシテ唯約束上ノ價格即チ法律上ノ價格ヲ有スルニ止マレリ故ニ其占有者ニ十分ノ安堅ヲ付與セサルモノトス蓋シ其以前ニ在テハ政府其自己ノ權力

ニ因リ紙幣ニ價格ヲ與フルヲ得ルモノト妄信シ此便法ヲ濫用シタリ然レモ「アツシニヤ」革命ノ頃ニ發行シタル紙幣ノ下落及其下落ノ結果タル倒産ハ大ニ其誤謬タルヲ知ラシメリ抑モ紙幣ハ之ヲ發行シ又ハ之ヲ發行セシメタル政府ノ信用如ニ管スルナク其發行ノ多寡ニ從ヒ常ニ其價格ヲ失フモノトス且ツ其結果ハ物價ヲ騰貴セシムルニ在リ何トナレハ其以前ニ在テ受取タル價格ニ等シキ代價ヲ得ントスルニハ到底其請求ス可キ代價ヲ高貴ナラシメサル可カラサレハナリ

當時我佛蘭西ニ於テ其銀行ノ手形ハ通用ノ力ヲ有セシム(千八百七十年八月十二日ノ法律)蓋シ此處置ハ戰爭ヨリ生出シ内部ノ困難及償金ノ支拂ニ因リ繼續シタル金融壅塞ヲ以テ假リニ之ヲ定ム然レモ敢テ手形ヲ増發シ銀行ノ準備高ニ應ス可キ割合ヲ超過セス故ニ銀行手形ハ決シテ下落スルヲアラサリシナリ此際ニ在テ金ハ甚ク騰貴スト雖

モ其騰貴タルヤ手形ノ下落ニ管スルヨリハ寧ロ金ノ需用甚タ多キニ管シタルモノトス當時物價ノ騰貴セサリシモノハ之カ徴證ナリ但シ手形ノ下落シタルトキハ必ス物價ノ騰貴ヲ至ス今日ニ在テ金貨ノ打歩ハ殆ント消滅シ白耳義ニ於テ倫敦西銀行ノ手形ハ銀貨ニ對シ打歩ヲ要スルモノトス

(第六百七十六號)「第二銀行預金」私立又ハ公立ノ銀行ハ定マリタル期限通知ヲ受ケタル後何日又ハ通知ヲ受ケタル時直チニ其附托人ニ拂戻ス可キ約束ヲ以テ金高ヲ受取リ且ツ其金高ヲ或期限間預リ置クノ正確ナルト否トニ從テ上下スル利子ヲ支拂フモノトス但シ此金高ハ其附托人カ自ラ之ヲ其金函中ニ藏ムルニ等シ何トナレハ其附托人ハ何時ニテモ其金高ノ入用ナルニ當テハ速カニ之ヲ受取ルヲ得レハナリ又他ノ一方ニ在テハ此金高ハ銀行ノ使用スルヲ得之カ爲メ

ニ益ニアリトス故ニ此金高ハ同時ニ二重ノ働キ爲スモノナリ又之ヲ詳言スルニ附托人其金高ハ近日需要アルカ爲メニ其函中ニ納メ置ク僅少ノ時間ト雖モ之ヲシテ利子ヲ生セシム蓋シ銀行ハ附托人各自ノ使用ニ付益ナキ所ノ小資本ヲ集積シ之ヲ有益ニ使用シ其返還ノ期限アルヲ以テ利益ヲ得且假令ヒ一覽拂ノ金高ナルモ預ケ金ハ其總金高ヲ一時ニ請求スルヲ得ストノ一般ノ法律ニ因リ利益ヲ得ルモノトス(第六百七十七號) 第三振替又銀行ハ振替ノ方法ニ因リ大ニ正貨ヲ儉約ス例ヘハ茲ニ同一ノ銀行ニ勘定ヲ有スル債主ト負債主トアリ其負債主銀行ニ向ク書狀ヲ送り其支拂フ可キ金高ヲ其債主ノ勘定ニ移ストチ依頼シタリトセンニ其銀行ニ於テハ其負債主ヲ其金高ノ負債主ト爲シ其債主ヲ其金高ノ債主ト爲ス可シ而シテ其債主ハ毫モ金高ヲ授受スルヲナク唯帳簿上ノ附替ノミニ因リ其支拂ヲ受クルモノトス

○又假令ヒ其債主及負債主各異ナリタル銀行ニ勘定ヲ有スルモ若シ其二個ノ銀行相互ニ取引勘定ヲ爲スモノナルトハ同一ノ振替ヲ爲スコトヲ得即チ負債主ノ銀行ハ其得意先チ負債主ト爲シ債主ノ銀行チ債主ト爲ス可ク債主ノ銀行ハ他ノ銀行チ負債主ト爲シ其得意先チ債主ト爲ス可シ然シテ其勘定ノ振替ヲ爲スモノトス

又此方法ハ振替ヲ容易ナラシムル預金引出小切手使用及一市街ノ銀行ヲ集會スル所ノ清算院設置ニ因リ大ニ之ヲ改良シタリ預金引出小切手及清算院ノ事ハ余輩之ヲ爲替手形ノ後ニ詳論ス可シ

(第六百七十八號) 第四貨幣引替切手貨幣引替切手トハ貨幣鑄造ノ爲メニ受取タル地金ニ換ヘ造幣所ヨリ渡ス切手ニシテ鑄造ノ後其貨幣ト引替ニ可キモノトス故ニ此切手ハ貨幣鑄造前ト雖モ通用セシムルヲ得 最終貨幣上困難ノ際ニ在テハ或ル銀行ハ此名義ヲ以テ即時持主ニ支拂可キ手形ヲ發行スルノ允許ヲ蒙レリ蓋シ此名義ハ佛蘭西

銀行ノ特權ニ爲ス例外ヲ假飾センカ爲メニ之ヲ使用セリ而シテ其手形ハ佛蘭西銀行ニ於テ五フランノ小手形ヲ發行シ得タル時之ヲ應

第五爲替手形

(第六百七十九號) 爲替手形ハ時ニ在テハ信用ノ方法タリ又時ニ在テハ融通ノ機關タリ爲替手形若シ即時支拂ニシテ豫メ其準備アルトハ融通ノ機關タリ斯ノ如キヤ爲替手形ハ遠隔ノ場所ニ於ル振替ノ機關ニシテ銀行ノ援助ヲ俟タサルナリ例ヘハ予倫敦ニ同一ノ金高ニ付債主ト負債主トチ有スル時予ハ其負債主ニ書狀ヲ送リ予カ債主ニ其金高チ支拂フヘキコトヲ依頼ス此場合ニ於テ予ハ其債主ニ向ケ手形ヲ振出スモノトス然レハ則チ予ハ手形差立人予カ債主ハ手形支拂人ニシテ予カ債主ハ手形受取人又ハ利益人ナリ予ハ此手形ヲ予カ債主ニ送付シ予カ債主ハ予カ負債主ヨリ其支拂ヲ得故ニ再度金高ノ遞送ヲ

避ク即チ予カ負債主ヨリ予ニ爲シ及予ヨリ予カ債主ニ爲ス是ナリ○
 又若シ予倫敦ニ債主ノミチ有シ負債主チ有セサル時ハ予巴里ニ於テ
 倫敦ニ負債主チ有スル者ヲ求メ金高チ支拂ヒ以テ其者ヨリ其債主ノ
 證書ヲ買受ケ之ヲ予カ債主ニ送付ス是予カ債主ハ其負債主ヨリ其支
 拂ヲ得ルトス此場合ニ於テモ亦同地ニ爲ス二個ノ支拂即チ債主權ノ
 證書ヲ買受ケ以テ予カ爲ス所ノ支拂及予ノ債主手形持主カ負債主手
 形支拂人ヨリ受取ル所ノ支拂ニ因リ再度金高ノ遞送ヲ避クルモノナ
 リ又之ニ反シ予ハ債主チ有スルナク唯負債主チ有スル時ハ予ハ其負
 債主ニ向ケ手形ヲ振出シ其手形ヲ買受クル者ヲ求メシム可シ是亦前
 ニ説ク倫敦ニ在ル予ノ債主カ爲シ得タル所ノモノニ同シ
 遠隔ノ地ヘ金高ノ支拂ヲ爲サントスル時ハ或ハ已レニ向テ手形ヲ振
 出スヲ其債主ニ允許シ或ハ其債主ニ手形ノ引渡即チ其支拂ヲ受可

キ爲替手形ヲ其債主ニ送付シ以テ之ヲ爲スヲ得此第二ノ方法ハ一
 般ニ債主ノ好ム所ナリ何トナレハ若シ已レニ向ケ手形ヲ振出シ予其
 支拂ヲ爲サ、ル時ハ其手形ニ付キ拒證書ヲ記セサル可カラス然シテ
 拒證書ハ常ニ商人ノ信用ヲ害スルモノナレハナリ
 是之ヲ稱シ爲替ノ取引ト云フ即チ振出爲替ニシテ手爲替ニ反スルノ
 稱ナリ手爲替トハ余輩上ニ述フル如ク兩替商ノ業務タル貨幣ニ付テ
 ノ商賣ニ在リトス

第二章 信用上ノ流通ノ事

(第六百八十號) 商業ニ付キ信用ノ緊要ナル事ハ余輩既ニ之ヲ論明シ
 タリ○信用(クレヂターム)ハ常ニ明約又ハ黙約ノ貸借ヲ致スモノトス
 即チ若干ノ金高チ或ル期限間負債主ニ貸與シ常ニ其利子ヲ生スルモ
 ノトス

一般ノ注意[賃借ハ貸主ノ爲メニ保證ノ大ナルニ從ヒ之ヲ爲ス]尤容易ナリ而シテ其保證ハ或ハ質物書入質或ハ保證人又或ハ借主ノ正直才知ナルモノトス蓋シ正直ナレハ其借銀ヲ辨濟セント欲スルノ意ヲ有シ才知ナレハ其借銀ヲ返濟スルノ道ヲ知レハナリ但シ其他商業上ニ於テハ殊ニ二個ノ條件アルコトヲ要ス即チ第一期限ノ短キ事期限短キ時ハ其金高ニ付キ損害ヲ受クルコトヲ減スルモノナリ第二正確ナル取引ニ其金高ヲ用フル事貸附タル金高ハ之ヲ貸附タル後速ニ再生スルコトヲ要ス是故ニ商業者ニ貸附ヲ爲スハ農業者ニ貸附ヲ爲スヨリ尤モ容易ナリ何トナレハ商品又ハ未製品ヲ買入ル、カ爲メ商業ニ使_用シタル金高ハ其商品又ハ製造品ノ販賣ニ因リ尤モ速ニ再生スレハナリ然ルニ土地ハ數月ノ後ニ非サレハ之ニ費シタル所ノ資本ヲ再生セス且ツ常ニ多少ノ收穫ヲ得セシムルニ止マルモノトス又假令ヒ同

一ノ商人ニ付テモ其商業ノ爲メニハ其一身ノ消費ニ於ケルヨリ尤モ容易ニ貸附ヲ爲スヲ得又彼是流通シ其金高ヲ再生シ猶ホ利益ヲ生ス可キ多數正確ノ取引ニ管スル信用上ノ手形ニ於テハ甚タ容易ニ貸附ヲ爲シ得ルモノトス是レ商業上信用ヲ開クニ付テノ根源ナリ此信用ハ余輩カ信用ノ機關ト稱スル所ノ數種ノ方法ニ據ル蓋シ信用ノ機關トハ余輩カ説明シタル所ノ流通ノ機關ニ反スルノ稱トス(第六百八十一號) 第二[掛賣掛賣ノ事ハ商業上ノ販賣ヲ論スルニ方リ余輩既ニ之ヲ説明シタリ

(第四百六十號參看) 即チ商品ハ直チニ之ヲ引渡スモ代金ハ或ル期限ノ後ニアラサレハ支拂ハサルモノトス故ニ買主ハ少クモ其商品ノ幾部ヲ賣却シ其代價ヲ以テ商品ノ代金ニ充ツルノ猶豫ヲ有ス可ク賣主ハ其承諾シタル期限間買主ニ金高ヲ貸附シタル者ト看做ス可シ而シ

賣主ハ尤モ容易ニ之ヲ爲スモノトス何トナレハ世ニ行ハル、所ノ慣習ヲ知レハナリ且ツ此慣習ニ從フ時ハ販賣ニ因リ資金ヲ再生ス○期限ハ三ヶ月ヲ超ユルヲ稀ナリ

割引ハ通常ノ貸借ニ於ケルカ如ク賣主直チニ支拂ヲ得ンカ爲メ期限ニ至ル迄ノ利子ヲ拋棄シタル時之レアルモノトス賣買ノ期限及割引ノ高各地ノ慣習區々一定セサルヲハ余輩既ニ之ヲ論述シタリ(第四百八十三號)但シ未製品ハ港内ニ於テノミ一定ノ規則アリ未製品ハ現場取引ニ付テハ百分ノ二ノ割ヲ以テ之ヲ賣買ス又定期取引ニ在テ賣主割引ノ引直シヲ承諾シタル時ハ一ヶ月百フランクニ付キ五十サンチ一ムノ割合ヲ以テ爲スモノトス(千八百六十六年六月十三日ノ法律第九)

第二約束手形

(第六百八十二號) 掛賣ヲ爲シタル賣主ハ期限ニ至ル迄其代金ヲ請求スルヲ得ス若シ賣主ヲシテ此不都合ヲ避ケシメ其許セル信用ヲ他ヨリ得セシメント欲スル時ハ買主ハ其賣主ニ約束手形ヲ渡シ之ヲ以テ其買ハントスル所ノ物ヲ買ヒ又ハ其金高ヲ受取ル可キ爲メ其約束手形ヲ賣ルヲ得セシム○此手形ハ何月何日利益人又ハ其命令人ニ若干ノ金高ヲ渡ス可シトノ約束ナリ此手形ハ貨幣ノ如ク通用シ之レヲ受取タル者ハ完全ナル支拂ヲ受取タル者ト看做サル可シ

約束手形ニハ原由即チ其手形ヲ發行シタルニ付テノ取引ヲ明記ス可シ此明記アル時ハ手形ヲ受取ラントスル者ハ其取引ノ確實ナルヤ且ツ容易ニ資本ヲ再生スルノ性質ナルヤヲ詳知爲ルヲ要ス又若シ手形此者ヨリ彼者ニ移ル時ハ手形ノ所有權ヲ移サント欲スル各裏書人モ亦其原由ヲ明記シ其所有權ヲ移スニ付テノ取引何如ト其取引ハ均シク

確實ノモノタルハ否トチ明覺スルヲ得セシメサル可カラズ故ニ其手形ハ移轉アル毎ニ信用ヲ増スモノトス何トナレハ余輩之ヲ後ニ觀察スル如ク其手形最終ノ持主ハ其従前ノ持主ト之カ爲シタル總テノ取引トチ保證トシテ有スレハナリ是故ニ佛蘭西銀行ニ於テハ三人ノ記名人アル手形又「コントワール」デスコント「割引」ニ於テハ二人ノ記名人アル手形ニ非サレハ取引セサルモノトス

(第六百八十三號) 第三爲替手形爲替手形ハ期限拂ニテ之ヲ振出シ又ハ豫メ準備ナク之ヲ振出タル時ハ信用ノ機關タリ
 「期限拂」ニテ之ヲ振出タリ、今茲ニ一例ヲ擧ケンニ若シ予期限アル負債主現金又ハ約束手形ヲ以テ支拂ヲ爲サ、ル負債主ヲ有シ予カ債主中ノ一人ヨリ同期限ニシテ同一ノ信用ヲ得タルトキハ予カ債主ノ爲メニ負債主ニ向ケ手形ヲ振出スヲ得即チ其二者ヨリ承諾シタル期限

ニ予カ債主ニ支拂ヲ爲スノ命令ヲ予カ負債主ニ與フルヲ得可シ此方法ニ因リ予ハ予カ債主ニ對シ義務ヲ免カレ予カ債主ハ支拂ヲ受ケタルモノト看做サル若シ拂期限ニ至リ手形ノ支拂ヲ受サル時ハ予ニ向ヒ訴ヲ起スヲ得且ツ予カ負債主モ亦手形ノ支拂ヲ爲シ以テ予ニ對シ義務ヲ免カル可シ
 豫メ準備ナク之ヲ振出タリ予ハ予カ負債主ニ非サル者ニ向ケ手形ヲ振出ヲ得若シ期限拂ニテ之ヲ振出タル時ハ拂期限ニ至ルヲ待テ其金高チ手形支拂人ニ送達スルヲ得又其拂期限ニ至ル迄ハ其爲替手形ヲ賣却シ或ハ之ヲ支拂トシテ與フルヲ得是ニ於テ予ハ其金高チ使用シ而シテ後ニ之ヲ與フルヲ以テ十分ナリトス故ニ予ハ立替金ヲ受ルカ如ク且ツ全ク信用ヲ得タルモノナリ○又予ハ予カ負債主ニ非スト雖モ予ノ爲メニ立替金ヲ爲スヲ約諾シタル者又ハ爲替手形ノ支

拂ヲ爲シ以テ立替金ヲ爲ス可キ者ニ向ケ一覽拂ノ手形ヲ振出スヲ得其者例ヘハ銀行ヨリ予ニ立替金ヲ爲スヲ付キ豫メ爲シタル契約ハ之ヲ稱シテ「ウーヴェルチユール、ド、クレヂー」ノ契約ト云フ余輩之ヲ後ニ詳論ス可シ

(第六百八十四號) 以上述ヘ來リタル三種信用ノ機關ニ付テハ常ニ利子ヲ契約ス蓋シ其利子ハ拂期限ニ至ル迄元金ヲ使用スルノ代價ナリ約束手形又ハ爲替手形ニ於テハ其利子常ニ手形ノ金高中ニ包含ス例ヘハ千フランクノ金高ニ付キ九十日ノ期限ニ於ケル手形ニハ千十五「フランク」ト記載ス又或ハ千「フランク」トノミ記載シ六分利附ト定ムルヲ得ルモノトス此利子ハ利息ノ制限ニ管スル千八百七年九月三日ノ法律ニ從フ可シ故ニ百分ノ六ヲ超ユ可ラス然レモ外國ニ於テ爲シタル契約ニ付テハ其國ノ慣習ニ循ヒ佛蘭西法

律ノ制限ニ超エタル利子ヲ契約スルヲ得何トナレハ其外國ニ於テハ此利子ノ騰貴ヲ致ス別段ノ理由アリテ佛蘭西立法官ノ想像シ得サリシ所ノモノ往々之レアレハナリ○又佛蘭西ニ於テモ外國ニ在テ執行ス可キ契約ニ付テハ同一ナリトス

第四割引

(第六百八十五號) 信用ニ因リ約束手形又ハ爲替手形ヲ有スト雖モ其手形ヲ以テ其拂フ可キ金高ヲ支拂フヲ得サルヲアリトス何トナレハ多數ノ小負債ヲ有スルヲアリ然ルニ商業手形ハ貨幣ノ如ク之ヲ小分スルヲ得サレハナリ此場合ニ在テハ其商業手形ヲ銀行ニ與ヘ以テ其金高ヲ受取ルヲ得但シ其銀行ニ於テハ割引ヲ爲スモハトス是其金高ノ手形拂期限ニ至ル迄ノ利子ヲ引去リ以テ其金高ヲ支拂フモノナリ實ニ手形ノ拂期限ヲ俟ツヲナク直チニ其金高ヲ得ルハ甚ク利益アリ

リ故ニ恰モ其金高ヲ借入タルカ如ク其利子ヲ支拂フモノトス何トナレハ他ノ一方ニ在テハ手形ノ拂期限ニ至ル迄其金高ノ使用權ヲ失フタル銀行ハ其利子ヲ得サル可カラサレハナリ

此割引ニ付キ引去リタル利子ハ之ヲ稱シテ割引料ト云フ佛蘭西銀行ハ其割引料ヲ百分ノ五又ハ百分ノ六ト爲シタリ

銀行ノ爲ス割引ヨリ生スル種々ノ問題ハ余輩之ヲ後ニ論ス可シ(第六百九十五號以下)

(第六百八十六號) 第五質物ニ付テノ立替金質物立替ノ義ハ質入ノ事ヲ論スルニ方リ余輩既ニ之ヲ説明シタリ(第六卷第一章參看)

(第六百八十七號) 第六即時持主拂ニ於ケル銀行手形ノ發行

銀行ヨリ發行シタル手形其金函中ニ存在スル金高ヲ示スニ止マル時ハ其手形ハ流通ノ機關タリ然レモ若シ其手形ノ發行高銀行ノ準備ヲ

超ユレハ其手形始メテ流通ノ機關ト成リ且ツ其銀行ノ爲メニ信用ノ方法ト成リ又政府ノ爲メニ信ヲ得ルノ方法ト成ル可シ蓋シ政府ハ此方法ト銀行ニ與ヘタル特權トニ因リ其銀行ヨリ尤モ廉價ニ金高ヲ借入ル、コトヲ得ルモノトス

銀行ヨリ發行スヘキ手形其準備高ヲ超ユルコトヲ得ルニ付テ實際上ノ理由如何ハ余輩既ニ之ヲ説明シタリ後復之ヲ論ス可シ(第七百號以下參看)

第三章 銀行ノ事

(第六百八十八號) 銀行即チ銀行人ナル者ハ貨幣上及信用上流通ニ付テノ樞機ナリ蓋シ銀行ノ商業タル其範圍内ニ貨幣ト貨幣ニ代ル可キ手形ニ係ル商業ヲ包括ス故ニ此廣汎ノ意旨ニ於ル銀行ノ商業ハ貴重金屬ノ商業○貨幣ノ交換即チ手爲替○預金○振替○金高ノ取立及商

人ノ爲メニ金銀出納ノ事務ヲ司トル事○商業手形ノ授受賣買○商業手形ニ管スル爲替即チ振出爲替○割引○持主拂ノ手形發行○質物又ハ賣ル爲メ預リタル品物ノ貸金○書入質ノ貸金及土地抵當貸附○公クノ手形取引等ヲ包括ス

然レモ金銀物ノ商業ハ常ニ之ヲ別種ノ商人ニ委テ小間物美品寶玉等ノ商業ニ附屬セシムルモノトス貨幣ノ交換即チ手爲替モ亦別種ノ商業即チ兩替商業ノ目的ナリ○又他ノ一方ニ在テハ書入質ノ貸金及土地抵當貸附ノ業ハ往々特別ノ銀行即チ書入質銀行ト稱スル者ニ屬ス此銀行ハ余輩カ今論スル所ノ論題中ニ入ラサルモノナリ
其他ノ諸事ハ三種ノ銀行ノ間ニ之ヲ分附ス曰ク第一通商銀行即チ預金銀行曰ク第二發行銀行即チ流通銀行曰ク第三專利銀行即チ高等銀行是ナリ○此三種ノ銀行ハ余輩之チハ三款ニ論スヘシ

(第六百八十九號) 第一款ノ説明ヲ爲スノ前余輩ハ先ツ茲ニ總論二題ヲ揭示ス可シ

第一 銀行ノ業ハ商業タリ故ニ利益ナカル可カラス利益ハ何レヨリ生スルヤ曰ク二個ノ根源アリ第一銀行ヨリ貸附タル元金ノ利子之ヲ詳言セハ(一般ニ銀行ハ其貸附シ可キ元金ヲ他ニ求ム)其元金ヲ得ルニ付キ支拂ンヘキ利子ト之ヲ貸附以テ其受取ル可キ利子トノ間ニ在ル差異ヨリ生ス可シ第二其爲セル周旋ニ付テ直接ノ報酬タル手数料ヨリ生ス可シ其手数料ハ常ニ諸種ノ取引ニ因リ契約シタル金高百ニ付キ若干ト定マリタルモノトス(下第六百九十號參看)

第二 銀行ノ取引ハ其得意先ニ對スル銀行ノ景狀ノ間斷ナキ變化ヲ明示シ且ツ其變化ニ從テ利子ノ計算ヲ爲スニ適當ナル特別ノ帳合法ヲ用フルモノトス此帳合法ハ之ヲ交互計算ト云フ○此帳合法ハ交互

計算ノ約束ヲ組成スル所ノ特別ノ契約ニ由テ之ヲ用ウルヲ往々之レアリ交互計算ニ付テノ法律上ノ効ハ爲替手形及預金引出小切手ノ後ニ之ヲ講究ス可シ(第八百七十五號以下參看)

第一款 通商銀行

(第六百九十號) 通商銀行或ハ之ヲ預金銀行ト云フ何トナレハ其資本大抵預金ヲ以テ成レハナリ
是レ銀行ノ尤モ古キ依據タリ往時希臘ニモ此種ノ銀行アリシ希臘ニ在テハ銀行人(例ヘハデモステイムカ云フ所ノバシチン)ハ預金ヲ受ケ振替ヲ爲シ往々自己ノ元金ナシ之ヲ行ヒ又世人ノ爲メニ其授受ス可キ貨幣ノ性質ヲ照査シ之ヲ保證スルノ便宜ヲ與ヘタリ是ヲ以テ世人ハ專ラ其銀行人ノ手ヲ經由シテ金高ノ支拂ヲ受取ラント欲スルニ至レリ(アルシアンタリー)ノ羅馬ニ於ケルモ同シ○ウエニーズジェーヌ

アムステルダムアンブール等ノ地中世及近世大銀行ノ業務モ亦同一ナリトス此等ノ大銀行ハ嘗テ正貨ノ一般ニ變造ニ係リ銀行貨幣ノミ確實ナル價格ヲ有シタル時非常ノ大功ヲ奏シタリ故ニ貨幣ノ交換ハ必ス預金及振替ニ混淆シタルモノトス又此等ノ大銀行ハ自己ノ資本ヲ有セサリキ而シテ其支配ニ付テノ費用ハ(アジチ)即チ正貨ニ對シ銀行ノ貨幣ニ要スル打歩及其他銀行ノ受取ル可キ些少ノ手数料ヲ以テ之ヲ充ツ

其始メニ在ルヤ預金ハ必ス之ヲ確實ニ保存シ置キ苟モ之ニ着手スルトアラサリシナリ然ルニ爾來ハ一時ニ其總高ノ請求ヲ受クルトナキヲ知り之ヲ使用シ初メタリ例ヘハ國債ノ募集ニ應シ又ハ飢饉ノ際ニ穀物ノ買入ヲ爲ス等ノ如キ正確ニ且ツ公益ニ管スル事業トス
現今ニ在テハ次第ニ經驗ヲ積ミ毫モ危險ヲ冒スヲナク善ク諸種ノ貸

附ニ預金ヲ使用スルコトヲ爲セリ此種ノ銀行ニ付モ有用ナル業務タリ蓋シ此種ノ銀行ハ資本ニ因テ爲ス可キ事業ヲ増加シ大ニ信用ヲ擴張スルモノトス

(第六百九十一號) 此等ノ取引ハ真正ノ商業ニシテ即チ資本ノ買入ナリ猶ホ之ヲ詳言セハ賣ル爲メニ資本ノ使用權ヲ買入ル、者トシ又銀行人ハ貸ス爲メニ資本ヲ借入ル、者ト云フモ可ナリ然リ而シテ買入即チ貸借ノ事ハ總テ借入即チ諸種ノ預金中ニ又賣却即チ貸借ノ事ハ總テ貸附即チ諸種ノ貸附中ニ之ヲ略記ス可シ○此商業ハ一般ニ多ク自己ノ資本ヲ要セサルモノトス是銀行人ハ重モニ他人ノ資本ヲ運轉スレハナリ又銀行人自己ノ財産或ハ銀行ヲ爲ス會社ノ資本ハ殊ニ其銀行ト契約ヲ結フ他人ノ爲メニ保證トナリ緊要トス故ニ我佛蘭西ニ於ケル各種ノ信用會社ハ殆ント皆其資本ノ全額ヲ募集セス概テ其

半額ニ止マレリ又二三ノ銀行即チ其預金及商業手形ノ割引ヲ爲スノミノ銀行ニ至テハ唯千八百六十七年七月二十四日ノ法律ニ循フニ必要ナル四分ノ一ノ拂込ヲ爲スニ止マリ其募集ニ得可キ資本ノ殘額ニ至テハ得意先ノ爲メ非常ノ場合ニ於テノ保證トシテ之ヲ備フルモノトス

銀行人ノ業務タル一大原則ハ其受ケケタル預金ノ性質ニ從ヒ其貸附口ヲ選ムニ在リ例ヘハ即時拂又ハ最モ短キ期限ニ於ケル預金ニ付テハ短期ノ割引又ハ「ポール」第六百二十七號及第六百三十四號ヲ看ヨノ如キ短期ニシテ取立ニ容易ナル貸附ヲ爲サ、ル可カラス此等ノ貸附ハ頗ル薄利ナルモノナリ故ニ銀行人ノ利益ハ專ラ手數料ニ在リ又中等ノ期限ニ於ケル預金即時拂ノ預金ニシテ近日請求ヲ受ケサルヲ知得正確ナルモノモ亦此中ニ在リニ付テハ中等ノ期限ナル貸附殊

ニ一ヶ月ヨリ二三ヶ月ニ於ケル割引ヲ爲テ得此場合ニ在テハ銀行
 人ノ利益ハ利子ト手数料トニ在リ又長期ノ預金ハ長期貸附ヲ爲ス可
 シ或ハ商業工業或ハ書入質ノ貸附等ニ之ヲ使用ス可シ此等ノ貸附ハ
 民法上尤モ正確ナルモノ、如ク看做スト雖モ金高ニ付テノ商業ニ於
 テハ大ニ危険ナルモノトス何トナレハ此等ノ貸附ハ未來ヲ約束スル
 モノニシテ假令拂期限ニ至ルモ容易ニ金高ト爲スヲ得サレハナリ
 又此場合ニ在テハ利益ハ單ニ利子ヲ以テ成ルモノトス
 第一〇預金ノ方法及條件

(第六百九十二號) 銀行ニ於テノ預金ハ或ハ金高ノ引渡ニ因テ之ヲ爲
 シ或ハ其金高ヲ取立ツ可キ手形ノ引渡ニ因テ之ヲ爲スモノトス
 其條件即チ銀行ヨリ預ケ人ニ與フル利益タル先ツ銀行ハ其花主ノ爲
 メニ金銀出納ノ事務ヲ司トリ其花主ヲシテ正金ノ運搬盜難火災及金

高ノ取立ニ任ス可キ出納方其他ノ役員ニ付テノ諸入費ヲ避ケシムル
 ニ在リ〇又銀行ハ花主ノ爲メニ其場所及遠隔ノ地ニ於テ金高ノ支拂
 ヲ爲シ金高ノ取立ヲ爲スモノナリ〇又銀行ノ利子ヲ支拂フハ預リタ
 ル金高ノ預リ期限ノ確實ナルト否トニ從テ増減シ且ツ即時拂ノ預金
 ハ往々百分ノ三ニ至ル

此等ノ預金ハ各銀行ノ帳簿中ニハ負債義務ノ部預金引出小切手ニ付
 テノ預金勘定即時拂ノ預金手形ノ呈示ヨリ或期限拂ニ於ケル預金勘
 定或ル期限ノ後ニ引出ス其期限ハ銀行ニ通知ヲ爲シタルヨリ七日ナ
 リトス又ハ貸方交互計算定期又ハ或ル條件ニ於ケル預金等ノ別ヲ立
 テ之ヲ記載ス余輩カ細示スル種々ノ取引ヲ此等ノ帳簿中ニ記載スル
 緊要ト其關係トヲ知ルヲ得セシムル又ハ其銀行ノ株券ヲ有スル者ニ於
 テ銀行ノ預金ヲ爲シタル者又ハ其銀行ノ株券ヲ有スル者ニ於テ甚タ必
 需ナルカ故ニ其者ヲシテ之ヲ知
 ルヲ得セシムルカ爲メナリ

第二〇貨附方法及條件

(第六百九十三號) 貨附ヲ爲スニ付テノ方法ハ第一商業手形ノ割引ヲ爲スニ在リ帳簿中ニハ書類入ノ部ニ之ヲ記載ス〇第二質貸帳簿中ニハ何種ノ保證ニ付テノ立替金ノ部ニ之ヲ記載ス〇第三ウーヴェルチュール、ド、クレヂー(第八百八十八號ヲ看ヨ)借方交互計算ノ部ニ之ヲ記載ス〇第四商業ニ使用ス(バルチシバシヨソ、エンヂュストリエール)工業上ノ共分)ノ名ヲ以テ之ヲ指示スルヲ往々之レアリ〇第五公ケノ手形ニ付テノ諸取引即チ(バルチンバシヨソ、ヒナンシエール)銀行所爲上ノ共分)ニ使用ス〇第六其他書入質ニ付テノ貨附ヲ爲スニ在リ〇此等ノ諸取引ハ銀行ヲシテ債主タラシムルカ故ニ常ニ其帳簿ノ貸方ノ部ニ之ヲ記載ス

此貨附ノ條件質貸ニ管スルヲニ付テハ既ニ之ヲ説明セリ(第六卷第一

章第四百八十九號以下參看)又(ウーヴェルチュール、ド、クレヂー)ノ條件ハ後ニ交互計算ノヲ論スルニ當リ之ヲ講究ス可ク(第八百八十八號以下參看)他ハ別ニ辨解ヲ要セサルモノトス故ニ此所ニ在テハ唯割引ノヲ論ス可シ

(第六百九十四號) 割引ハ其割引セントスル手形ニ數多ノ姓名手署名アル時ハ尤モ容易ナリ何トナレハ手形ノ讓受人ト成リタル割引人ハ總テ其前ノ姓名手署名ノ資力ヲ保證トシテ有スレハナリ且ツ姓名手署名ハ手形ノ讓渡ニ價位ヲ付スルヲ以テ姓名手署名ノ手ニ手形ノ金高ヲ生ゼシメタル取引ニ均シキモノトス〇故ニ唯一人ノ姓名手署名ニ於ケル約束手形即チ割引依頼人ヨリ割引人ノ爲メニ發行シタル約束手形ハ毫モ保證ヲ得サル可ク所謂既成ノ價格ヲ有セサルモノトス是レ割引依頼人ヨリ割引人ニ向ケタル一身上ノ義務ニ止マリ而シテ又斯

ノ如キ割引ハ全ク一身上ノ信用ニ付テノ所爲タル可シ蓋シ此割引ハ極メテ稀レナルモノナリ然ルニ若シ一度裏書シタル時ハ其約束手形ハ少ク其記名人ト裏書人トノ間ニ爲シタル取引ヲ顯シ且ツ保證トシテ其二人ノ資力ヲ有ス可シ該切手ハ常ニ之ヲ割引スルモノトス○爲替手形ニ付テハ手形正確ナルニ於テハ其第一ノ姓名手署即チ手形差立人ノ姓名手署ハ茲ニ既成ノ價格ヲ有ス何トナレハ手形振出人其支拂人ニ向ケ之ヲ差立ツルヲ得タル時ハ手形振出人ハ豫メ爲シタ取引ニ因リ既ニ其債主タルヤ復タ疑ヲ容レサレハナリ加之手形持主ハ其ノ手形支拂人ノ承諾ヲ受ケ以テ直チニ其支拂人一身上ノ義務ヲ正確ニスルヲ得故ニ爲替手形ハ假令ヒ一人ノ姓名手署アルニ止マルモ既成ノ取引一ノ正確ナル一身上ノ保證ト一ノ他ノ隨意ノ保證トナ有スルヲ以テ其手形ハ唯一人ノミノ姓名手署アル約束手形ニ比セ

ハ之ヲ割引スルヲ尤モ容易ナリト雖モ猶ホ未ダ警戒ヲ加ヘ授受スルヲ免カレス然ルニ若シ一度裏書シ二人ノ姓名手署人ナ有スルニ至テハ其爲替手形ハ尤モ容易ニ通用爲スモノナリ

佛蘭西銀行ノ規則ハ殊ニ鄭重タリ此銀行ニ於テハ三人以上ノ姓名手署人アル手形ニ非サレハ割引セズ又其他ニ割引銀行ナルモノアリ其銀行ハ二人以上ノ姓名手署人アル手形ヲ割引シ之ニ其自己ノ姓名ヲ手署シ以テ之ヲ佛蘭西銀行ニ割引セシム是レ即チ割引銀行及下割引銀行ノ主タル業務ナリ

又拂期限ノ長短ニ從ヒ割引ニ難易アリ拂期限ノ短キ手形ハ割引キ爲スヲ容易トシ又三ヶ月ヲ超ユル手形ハ常ニ割引ヲ爲サストス是レ三ヶ月ノ期限ハ佛蘭西銀行ニ於テノ法律上ノ最長期限ナリ
該條件ニ從テ行フ割引ハ之ヲ爲シタル金高ニ尤モ正確ナル保證ヲ有

セシム此取引ノミヨ從事スル銀行ハ其資本人ニ甚タ大ナル安堅ヲ與
フルモノナリ又其社規則中ニ總テ他ノ取引ヲ禁スル所ノ銀行アリ即
チ之ヲ預金銀行ト稱スルヲ適當トス

(第六百九十五號) 約束手形ヲ割引スル時銀行其拂期限ニ至ル迄ノ利
子ヲ引去ルハ當然ノコトナリ(上第六百八十五號參看)然レモ此件ニ付テ
ハ法律上二三ノ問題アリ

(論)割引ハ、利子ノ、最高點ニ、從フ可キヤ、○第一說曰ク否ヤ割引ハ貸借ニ
アラスシテ債主權ノ賣買タリ是ヲ以テ民法ニ於テハ「千フランク」ノ債
主權ヲ九百五十「フランク」ニ賣買スルモ決シテ之ヲ禁ス可キ規則アラ
サルモノトス○第二說曰ク然リ(可)割引ハ決シテ賣買ニアラス何トナ
レハ債主權ノ賣買ニ於テハ賣主ハ決シテ拂期限ニ於テ支拂ノ擔保人
タラサレハナリ且ツ之カ爲メ債主權ハ義務者ノ無資力ニ由リ損害ヲ

避ケンカ爲メニ其金高ヨリ低價ニ賣買スルコトアリ然ルニ割引ニ於テ
ハ決シテ此種ノ僥倖アルニアラス何トナレハ賣主ハ余輩之ヲ後ニ詳論
スル如ク支拂ニ付テノ擔保人タレハナリ○又契約者雙方ノ思想及實
際上ノ結果ニ於テモ利附ノ貸借タリ唯銀行ハ借主ニ非サル他人ヨリ
其返済ヲ受ク即銀行ハ現手形持主ニ金高ヲ渡シ其手形ノ拂期限ニ至
リ手形ノ義務者ヨリ其金高ノ支拂ヲ受クルコトヲ承諾シタルモノナリ
○又此場合ニ在テハ總テノ姓名手署人違帶ノ保證アルカ故ニ割引ハ
ハ通常ノ貸借ヨリ幾分ノ安固ヲ有ストス○又此問題ハ佛蘭西銀行ニ
其割引料ヲ百分ノ六以上ニ爲スコトヲ許ス千八百五十七年六月九日ノ
法律ニ據リ之ヲ決定シタルモノ、如シ蓋シ立法官原則ニ於テ此割引
料ノ制限ヲ超ユルコトヲ禁シタルモノトスルニ非サレハ此法律ハ更ニ
其意味ヲ有セサル可シ

(論)若シ商人ニ非サル者ヨリ銀行ニ割引ヲ求メタル時ハ其利子ノ最高點ハ如何○第一説曰ク百分ハ五トス○千八百七年ノ法律ハ殊ニ借主ヲ保護セント欲スルニ出ルモノナリ故ニ利子ノ高ハ其借主ノ身分ニ從テ之ヲ定メサル可カラス○第二説曰ク百分ハ六トス(可)○銀行ハ金高ノ商業ヲ爲ス者ニシテ其金高ハ他人ニ於ルヨリ尤モ價格ヲ有ス可シ故ニ銀行ハ百分ノ六ノ利子ヲ以テ他ニ之ヲ使用スルヲ得○又商業手形ノ割引ヲ爲ス商人ニ非サル者ハ其商業手形ニ裏書スルモノナリ而シテ其裏書爲替手形ニ關スル時ハ法律上ニ在テハ商事上ノモノタル可ク又約束手形ニ關スル時ハ少クモ商事裁判所ノ管轄タル可シ乃チ其約束手形ニ商人ノ姓名手署アル時ハ商事裁判所ノ管轄トス蓋シ是レ必ス然ラン(第六百三十六條)何トナレハ銀行人ハ必ス自ラ其手形ニ裏書ヲ爲ス可ケレハナリ且ツ其手形ハ必ス割引依頼人ニ付テモ商

事上ノモノト看做スヲ得○又何レノ場合ヲ問ハス商人ニ非サル者ト雖モ商事上信用ノ方法ヲ用フ可シ又千八百七十年ノ法律ニ曰ク(商事上ノ事件ニ付テハ)云々ト故ニ貸借ハ必シモ商業タルヲ要セス然レモ其法文ヲ適用セントスルニ商事上ノ事件ノ範圍内ニ在ルヲ以テ十分ナリトス

(第六百九十六號) 銀行人ハ割引料ノ外猶ホ手数料ヲ受ク其手数料ハ百分ノ四分ノ一(0.25)ヨリ百分ノ十分ノ一(0.10)ノ間ヲ上下シ且ツ一般ニ百分ノ八分ノ一(0.125)トス(論)若シ割引料既ニ百分ノ六ノ最高點ヲ超エタル時ハ此手数料ヲ受クルモノハ高利貸ノ所爲ニ非スヤ曰ク否ナ何トナレハ銀行人ハ其自己ノ資本ヲ貸附ル者ニ非ス金高ノ商業ヲ爲シ借主ヲシテ貸主ヲ得セシメ貸主ヲシテ借主ヲ得セシムルノ媒介ヲ爲ス者トス然ルニ此媒介ノ所爲ハ固ヨリ報酬ナカル可カラス是レ即

ナ其資本人ニ支拂フ可キ利子ヲ受ケ自ラ充分ナリトスルヲ得サル
 ナ以テナリ○又此媒介ノ所爲ハ其銀行ノ爲メニ店及往後等ノ如キ特
 別ノ費用又ハ其職業ニ必需ナル特別ノ知識ヲ得ルニ付テノ費用又ハ
 取引上ノ關係ヲ制定スルニ付テノ費用ノ如キ諸種ヲ要ス可シ○又其
 商業或ハ銀行人ヲシテ損失ヲ被ラシムルヲアリ例ヘハ資本ヲ集合シ
 之ヲ有益ノ事業ニ使用スルヲ得サル時ト雖モ其利子ヲ支拂ハサル
 可カラス

大審院ハ原則トシテ之ヲ許シ其適用ニ付テハ先ツ事實ヲ推究シ而シ
 テ後チ之ヲ爲ス先ツ銀行人ハ其花主ニ特別ナル周旋ヲ行ヒタルカ又
 其契約シタル報酬金ハ慣習ニ循ヒ其行ヒタル周旋ニ應シタルカヲ推
 究ス控訴院ニ於テモ亦同一ナリ

(第六百九十七號) (論)若シ佛蘭西銀行ニ於テ其割引料ノ高チ百分ノ六

以上ト爲スヲ得ル時ハ他ノ銀行人モ亦其割引料チ百分ノ六以上
 ト爲スヲ得可キヤ○第一説曰ク然リ佛蘭西銀行ハ他ノ銀行カ茲ニ
 汲ムヲ得ル所ノ一ノ大源ナリ然リ而シテ他ノ銀行ハ其自ラ拂フ所ノ
 利子ヲ其依頼人ニ支拂ハシム可ク且ツ猶ホ幾何カ之ニ超エタル利子
 ナ支拂ハシムルヲ得又佛蘭西銀行ニ於テ割引料ノ高價ナルハ金高
 ノ拂底ナルヲ證ス可ク此時ニ在テハ他ニ其金高ヲ得ルニ由シナキ
 モノトス

第二説曰ク否ナ可キ千八百七年ノ法律ニハ明文アリ唯佛蘭西銀行ノ爲
 メコーノ取除アルノミ千八百五十七年六月九日ノ法律故ニ其他ノ銀
 行ハ普通法ニ遵ハサル可カラス○又佛蘭西銀行獨リニ資本ノ泉源ニ非
 ス他ノ銀行ト雖モ其花主ヨリ預リタル金高チ有ス可シ若シ有益ニ割
 引ヲ爲ス能ハサル時ハ其割引ヲ爲スヲナキニ若カス斯ノ如キカ其商

業ノ爲メニ休業タルニ至ラン然レモ他ニ休業アラサル所ノ商業アリヤ
 是レ決シテアルコトナル可カラサルナリ○裁判例規ハ此説ニ改良ヲ加
 ヘタリ蓋シ裁判例規ニ於テハ銀行人ハ豫メ其依頼人ニ通知ヲ爲スニ
 非サレハ其割引料ヲ高價ナラシムルノ權ナシトノ意味ニ之ヲ取リ銀
 行人ハ其名前チ以テ割引チ爲スコトヲ辭シ佛蘭西銀行ヨリ金高チ出サ
 シム可キ周旋チ爲スコトヲ得可シト言フチ以テ之ヲ斟酌ス此場合ニ於
 テハ中間手数料（此語ハ法律語ト成レリ）ノ名義チ以テ法律上ニ超エタル
 利子チ契約スルコトヲ得而シテ常ニ之チ契約セリ何トレハ此手数料ハ
 全ク其依頼人ノ爲メニ行ヒタル周旋ノ報酬ナレハナリ然ルモ唯タ
 明約アルコトヲ必要トス然レモ裁判所ニ於テハ高利貸ノ所爲アラサル
 カチ推究シ若シ此明約アルモ其實之アル時ハ常ニ其罰チ免レサルモ
 ノトス

〔第六百九十八號〕 割引料計算ノ方法割引料チ計算スル方法二種アリ
 第一手形金高計算法是レ尤モ簡單ナル方法ニシテ佛蘭西ニ於テノミ
 之ヲ用フルモノナリ○例ヘハ一年ノ割引料チ計算セントスル時ハ先
 ツ百チ以テ其金高チ割リ六チ乗スルモノトス何トナレハ其割合百分
 ノ六ナルカ故ニ其金高百毎ニ之チ包含ス可ク又銀行人ハ百毎ニ六ノ
 利子チ求ムルノ權チ有スレハナリ例ヘハ千フランクノ手形ニ付テハ

$$\frac{1000 \times 6}{100} = 10 \times 6 = 60$$
 ナル様式チ以テ之チ示ス即チ銀行人ハ其手形ニ九
 百四十フランクチ支拂フモノトナリ○又一年未滿ノ割引チ爲ス時ハ數
 月或ハ日數ニ從テ其割引料チ割ルチ常トス
 此計算法ハ算學ニ於テ外部割引ト云ヒ法學ニ於テ内部割引ト云フ故
 ニ此語ハ之チ避ケサル可カラス蓋シ其意味疑シキチ以テナリ
 此第一方法ニ向ヒ非難チ爲ス者アリ曰ク此法ニ因ル時ハ銀行人ハ其

實百分ノ六以上ノ利子ヲ受ク可ク隨テ千八百七年ノ法律ニ反ス是銀行人ハ九百四十「フランク」ノミチ渡シ六士「フランク」ノ金高チ年利トシテ引去ルモノナリ故ニ其銀行人ハ其實百分ノ六ノ利子ヲ受クルニ非スシテ九十四分ノ六即チ殆ント百ニ付キ六四九ノ利子ヲ受取ルモノトスト○然ラハ則チ第二ノ方法ヲ使用セサル可カラス

第二銀行人ヨリ渡シタル金高ノ計算法此計算法ハ算學及法學ニ於テハ前ノ反對ノ名稱ヲ有ス之ヲ爲ス「次」ノ如シ銀行人カ六ノ利子ヲ取ルノ權ヲ有スル金高如何ト云フニ即チ百六タル可シ何トナレハ若シ六チ引去リタル時ハ百チ支拂フ可ケレハナリ故ニ六ノ利子ハ全ク法律ニ適スルモノトス是ニ由テ實際上ノ規則ハ百六チ以テ(百ニ換ヘ)手形ノ金高チ割り六チ乘スルニ在リ(若シ利子百分ノ五又ハ百分ノ四ナル時ハ百五又ハ百四チ以テ手形ノ金高チ割ル可シ)

此方法ハ尤モ精密ニシテ殊ニ千八百七年ノ法律ニ適合ス然レモ是レ實際ニ用ヒラレサルモノナリ何トナレハ百六又ハ百五チ以テ割算チ爲スハ百チ以テ割算チ爲スヨリ甚タ繁雜ナレハナリ余輩若シ其取引ノ正直ナル上ハ簡便ナル第一方法ニ從フ「チ」得可キモノト決定ス蓋シ千八百七年ノ法律第三條ニハ第一條ニ定メタル利子ノ制限チ超ユルチ目的トスル一般ノ所爲チ禁シ且ツ之ヲ無効ト爲スモノ、如シ此法律ハ其利子ノ制限チ超ユル「チ」假飾セントスル一般ノ所爲ニ之チ適用ス可シト雖モ間接ニ雙方ノ者カ欲セサル所ノ効ニ及ヒ微シク利子ノ制限チ超ユルニ至ル可キ所爲ニハ之チ適用ス可カラサルモノ、如シ○然ルニ實際ニ於テハ分母チ百ト爲ス「チ」決シテ利子ノ制限チ超エシメントスルノ意ニ非ス即チ計算ノ簡便ナラン「チ」欲シタルヤ論チ俟タサルナリ○抑モ其理由チ證センニ銀行人ハ當ニ其已レノ利

子ヲ計算スルニ當リ百ノ數ヲ使用スルノミナラス其花主ノ爲メニス
 ル時ト雖モ亦此數ヲ以テス又例ハ預金引小切手勘定ノ如キ若クハ
 其殘金及利子常ニ其花主ノ利益ノ爲メニ於ルモ同一ナリトフ○是レ
 實ニ「ミニミリス」ノ「ノンキユラト」プレトール「貸主ハ小事ヲ願ミス」ナル格言
 ナ適用ス可キ場合ナリ○然レモ事實ニ付裁判官ハ其景狀ニ循ヒ高利
 貸ノ所爲ヲ假飾スルノ故意アルカヲ推究シ其所爲アレハ之ヲ罰スル
 モノトス

(第六百九十九號) 一ノ他ノ實際モ亦同一ノ疑惑ヲ生ス玆ニ日ニ付テ
 ノ利子計算ハ三百六十日ヲ以テ年ヲ割リ三百六十五日ヲ以テ之ヲ割
 ラサルモノトス何トナレハ三百六十八其數簡單ナル分母タレハナリ
 分母トシテ百ノ數及一年ノ日數トシテ三百六十ノ數ヲ用フル時ハ利
 子或ハ割引ノ計算ヲ大ニ簡便ナラシム一年ノ利子ヲ計算セントスル
 ニハ $\frac{1}{100}$ 又ハ $\frac{1}{100}$ 又ハ $\frac{1}{100}$ 等ニ因リ其金高ヲ乘シ又一日ノ利子ヲ計算
 セントスルニハ其數ヲ三百六十ニ割ル其様式即チ是ナリ $\frac{00000}{360} \times \frac{00000}{360}$

又ハ $\frac{00000}{360}$ 此ノ三萬六千ナル數ハ通常用ノ別子六、五、四、三、等ノ數ヲ以テ
 割ルヲ得ルカ故ニ其分數ヲ次ノ分數ニ換ユルヲ得可ク且ツ其分數
 ハ簡單ナルカ故ニ日用便宜ノ爲メ之ヲ記憶スルヲ善シトス百分ノ六
 ノ利子ハ $\frac{00000}{360}$ ニ因リ其元金ヲ乘ス可ク又百分ノ五ノ利子ハ $\frac{00000}{720}$
 ハ $\frac{00000}{720}$ ニ因リ又百分ノ四ノ利子ハ $\frac{00000}{900}$ ニ因リ又百分
 ノ三ノ利子ハ $\frac{00000}{1080}$ ニ因リ其元金ヲ乘スルモノトス此方法ニ因
 ル時ハ銀行ハ法律上ノ利子ニ五日分ノ利子ヲ増加ス故ニ嚴ニ論スレ
 ハ法律ノ文面ニ反スト雖モ余輩ハ前問ニ付チノ理由ト同一ノ理由タ
 ルニ據リ此方法ヲ用フルヲ得ルモノト決定セン但シ若シ其場合ニ
 因リ裁判所ニ於テ高利ヲ貪ホルノ所爲アリト看認メタル時ハ別段ナリ

第二款 發行銀行即チ流通銀行

(第七百號) 佛蘭西ニ於テハ即時持主拂ノ銀行手形發行ハ佛蘭西銀行
 ニ附與シタル特權ノ目的タリ(共和曆第十一年)シユルミナール二十四日
 ノ法律故ニ余輩カ玆ニ講究スル所ノ銀行ハ佛蘭西銀行ナリトス

佛蘭西銀行ハ通商銀行ト同一ノ事務ヲ爲スモノナリト雖モ手形發行ノ特權ヲ有スルヲ以テ預金ニ付テ一ノ他ノ根源ヲ得タリトモ抑モ手形ハ銀行ニ信用アルモノニシテ正金ヨリ手形ヲ便利トスル者殊ニ金高ヲ遞送シ又ハ大金ノ支拂ヲ爲サントスル者ニ正金ト交換シ與フルモノナリ

此種ハ預金ハ他ノ銀行及佛蘭西モ亦齊シク受ク可キ他ノ預金ニ付テノ法律ト異ナル法律ニ準據ス

第一 他ノ預金ハ預ケ人其金高ノ要用ナル時之ヲ引出スヲ得ルト雖モ手形ノ交換トシテ爲シタル預金ハ則チ然ラス何トナレハ手形ハ渾テ貨幣ノ如ク通用シ且ツ貨幣ト同シク消費及生財ニ付テノ諸般ノ必要ニ供スルヲ得レハナリ故ニ此種ノ預金ハ他ノ預金ヨリ其期限尤モ長カシ此預金ハ小貨ヲ得ルカ爲メカ或ハ非常ノ原由即チ手形ノ流

通セサル國へ金高支拂ノ爲メカ貨幣ヲシテ其價格ヲ失ハシムルカ爲メカ或ハ佛蘭西銀行ノ信用ヲ失フタルカ爲メニ因ルニ非サレハ一般ニ之ヲ引出スコトナキモノトス

第二 此種ノ預金ノ運轉ハ他ノ預金ノ運轉ト全ク相反スルモノトス是ヲ以テ發行銀行ノ金融ヲ害セントスル所ノ同一ノ原由ハ一般ニ其金融ヲ醫スルモノトス例へハ商業ノ景氣好ク預金ヲ引出ス者多シトスル時ハ手形ノ景氣好ク之ヲ求ムル者モ亦多カル可シ何トナレハ支拂フ所ノ金高少カラス遞送スル資本多ケレハナリ又例へハ商業極メテ不景氣ナリトセンカ此場合ニハ手形ハ銀行へ戻ル可シ何トナレハ之ヲ使用スルノ途多カラサレハナリ然レトモ此際預リ金ハ増加ス可シ何トナレハ資本ヲ有益ニ使用スルノ途寡ケレハナリ故ニ花主ヨリ正金ヲ聚積セシムルヲ得但シ政治上ノ困難ノ場合ハ別段ナリトス

此種ノ預金ハ引換所ヲ設ケ即時ニ交換爲スヲ以テ尤モ不確定ニ尤モ變更ス可キモノ、如シト雖モ其實甚タ堅固ナリトス又銀行ハ割引或ハ質物ニ付テ立替金ノ方法ニ因リ商業ニ信用ヲ與ヘ其金函ニ在ル資本ノ用途ヲ増加センカ爲メ廣ク之ヲ用フルヲ得蓋シ銀行ハ或ハ其受取タル金高ヲ使用シ其流通即チ自ラ負債主タル可キ手形ニ從テ其有金ヲ減少ス可キ方法ニ因リ之ヲ爲スヲ得ヘク○或ハ新手形ヲ發行シ其有金ニ從テ其流通ヲ増加ス可キ方法ニ固リ之ヲ爲スヲ得可シ此二様ノ方法ニ付テノ結果ハ同一ナリ其結果ハ流通ヲシテ有金ノ高ヲ超エシムルニ在リ

(第七百一號) 然レモ此方法ヲ濫用スルニ至ル可カラス何トナレハ銀行ノ爲シタル此種預金ハ甚ダ堅固ナリト雖モ決シテ不變ノモノニアラサレハナリ是ヲ以テ其支拂ノ求メニ應スルニ必要ナル金高ヲ備ヘ

サルヲ得ス抑モ此必要ナル金高ノ割合如何ハ一ノ問題タリ其割合ハ其場合ト均シク千差萬異ニシテ同一ナラス又各銀行ニ在テハ是レ經驗上ノ所爲トス又舊來佛蘭西及英吉利ニ於ル其故如何ヲ知ルヲナク有金ハ流通高ノ三分ノ一即チ百ニ付キ三十三ト定メタリ○實際ニ於テハ流通高ノ其割合ヲ超エタルヲ往々之アリ但シ輒近非常并ニ立法官ヨリ允許シタル場合ニ止マレリ(千八百七十一年十二月二十二日ノ法律及千八百七十二年七月十五日ノ法律)然レモ現今ニ在テハ流通高ハ全ク其割合ヲ超エサルモノトス

如何ナル方法ニ因リ佛蘭西銀行ハ其手形ノ流通高ヲ制限スルヤ佛蘭西銀行ハ公益ノ爲メニ設置シタルモノナリ且ツ特權ヲ有スルモノナリ故ニ公衆ノ便宜ヲ謀ル可ク取引ヲ爲スヲ拒ムヲ得ス殊ニ法律ノ上ノ條件ニ隨ヒ請求ヲ受ル割引ヲ拒止スルヲ能ハスト爲スモノハ是

レ一ノ原則ナリ故ニ佛蘭西銀行ハ其金函ヲ空虚ニシ又ハ其手形ノ發行ヲ増加スルヲ避ケンカ爲メ割引ニ關スル一般條件ヲ尤モ嚴ナラシメ且ツ其割引料ヲ高價ナラシメテ以テ其請求ヲ減少シ得是故ニ佛蘭西銀行其割引料ヲ百分ノ六以上ト爲スノ特許アルモノトス(千八百五十七年六月九日ノ法律)

(第七百二號) 非常ノ場合ニ於テ佛蘭西銀行ノ有金ヲ保護スル爲メ特別ナル方法トシテ其手形ノ通用ヲ制定シタリ(上第六百七十七號參看) 該銀行ハ引換所ヲ設ケ以テ之ヲ引換ユルノ義務ナク人民ハ佛蘭西ノ法律上ノ貨幣ト同一ノ名義ニ因リ支拂トシテ之ヲ受取ルノ義務アルモノト定メタリ(上第六百六十九號參看) 此方法ハ千七百九十年、千八百四十八年及千八百七十年ニ於テ三度之ヲ制定シ其近年ニ係ル千八百七十年八月十二日ノ法律ハ猶ホ未タ廢セラレス常ニ行ハル然レモ唯

政府カ銀行ヨリ借入タル金高ヲ拂戻スヲ得サル時ノ用意ノ方法トシテ之ヲ保存スルニ過キス實際ニ於テ銀行ハ引換所ヲ設ケ以テ其手形ノ金高ヲ支拂フモノトス

此通用ニ關スルノ法ハ一ノ至難ナル問題ヲ生セシメタリ(論銀行手形ハ通用ニ管スル法律ノ現存ニ係ラス金貨又ハ銀貨ヲ以テ支拂ヲ爲ス可シト契約スルトヲ得可キヤ) ○第一説曰ク否ナ若シ此契約ヲ爲スヲ得ルモノトスル時ハ通用ナル文字ノ意味ヲ解スル能ハサル可シ○通用ノ制定ハ公ケノ秩序ニ管スルモノニシテ私ノ契約ヲ以テ之ニ違フヲ得ス(民法典第六條) ○此文言ハ契約書ヲ記スルノ例文トナル可シ ○第二説曰ク然リ(可) 千八百七十年八月十二日ノ法律ハ決シテ此契約ヲ禁シタルモノニ非ス更ニ之カ爲メ著名ヲ得何トナレハ巽ニアシニアノ通用ヲ制定シタル千七百九十年九月十二日ノ勅令ハ之ヲ禁シ

タレハナリ(第四條)○此通用ナル文字ハ法律上ノ貨幣ニ付テノ通用ナル文字ト同一ノ意味ニ之ヲ解セサル可カラス然ルニ一般ノ定説ニ循フ時ハ一種ノ貨幣ヲ以テセス他ノ貨幣ヲ以テ金高ノ支拂ヲ爲ス可シト契約スルヲ得ルモノトス(上第六百六十九號參看)○又金貨ヲ以テセズ手形ヲ以テ支拂ヲ爲ス可シトノ契約ヲ許サ、ルヤ金貨モ亦通用ノ力ヲ有スルモノタリ(刑法典第四百七十五條)○又疑ノ場合ニ在テハ常ニ自由ノ意味ニ決定セサル可カラス(民法典第一千二百四十三條)及商法典第四百十三條)○此契約ハ第一說ニ云フカ如ク決シテ増殖スルモノニアラサル可シ以下佛蘭西銀行ノ事務ヲ略論ス可シ

(第七百三號) 佛蘭西銀行ハ次ノ方法ニ因リ預金ヲ受クルモノトス○持主拂ノ手形ノ發行ニ因リ帳簿ニハ負債義務ノ部流通ニ於ケル持主拂ノ手形ト題スル別區ニ之ヲ記載ス○約束手形又ハ受取手形ノ發行

ニ因リ帳簿ニハ約束手形又ハ受取手形ト題スル別區ニ之ヲ記載ス○又ハコント、クローランニ因リコント、クローラントト題スル別區ニ之ヲ記載ス○佛蘭西銀行ハ其支店アル場所ニ於テハ別ニ手数料ヲ受クルトナク金高ヲ預リ又其預金ノ高ニ至ル迄ハ已レニ向ケタル手形ノ支拂ヲ爲シ以テ其預金ヲ引導ス然レモ佛蘭西銀行ハ其預リタル金高ニ付キ利子ヲ支拂ハス又巴里ヨリ其支店ニ向ケ其支店ヨリ巴里ニ向ケタル依頼手形ヲ付與スルヲ爲ス

其他佛蘭西銀行ハ好意ノ附托トシテ手形、地金、金貨、銀貨ヲ受取ルヲ爲ス
又他ノ一方ニ在テハ佛蘭西銀行ハ二個ノ方法ニ於テ金高ノ立替ヲ爲ス

第一 割引ノ方法ニ因リ佛蘭西銀行ニ於テハ法律上ノ法式及姓名ノ

手署等殊ニ正シキ手形ニシテ少クモ三人ノ姓名手署又ハ二人ノ姓名手署ト一ノ質物アル手形ニ非サレハ割引セサルモノトス(千八百五十八年五月二十八日ノ法律第十一條參看)又其期限ハ佛蘭西銀行會議ニ於テ定メタル所ニ從ヒ何レノ場合ヲ問ハス九十日ヲ超ユルヲ得ス○其割引ノ利子ハ百分ノ六ヲ越ユルヲ得(千八百五十七年六月九日ノ法律佛蘭西銀行會議ニ於テ之ヲ定メ且ツ之ヲ變更ス可シ○此取引ハ帳簿中書類入ト題スル別區ニ記載ス

第二 附托物ニ付テハ立替金即チ質貸ノ方法ニ因リ是レ割引ノ利子ト異ナリタル利子ニ於ケル立替金クリ例ハ割引ノ利子百分ノ五ナレハ此立替金ノ利子ハ百分ノ六トス又該種ノ貸附ハ決シテ三ヶ月ノ期限ヲ超エサル可シ然レモ若シ借主正シク其利子ヲ支拂フ時ハ其期限ヲ延フルヲ得○帳簿中地金及貨幣ニ付テハ立替金佛蘭西ノ公ケ

ハ手形ニ付テハ立替金鐵道會社ノ株券及義務券ニ付テハ立替金土地抵當貸附會社ノ義務券ニ付テハ立替金等ノ別ヲ立テ之ヲ記載ス
又佛蘭西銀行ハ或ハ無抵當或ハ政府ノ引換切手ヲ割引シ以テ政府ニ立替金ヲ爲スモノトス○書類入又ハ政府ノ引換切手ノ別區ニ之ヲ記載ス

(第七百四號) 佛蘭西銀行ハ諸州ニ其支店ヲ有ス其支店ハ千八百四十八年佛蘭西銀行ヲ以テ地方銀行ヲ廢止シタル後之ヲ設置シ始メタリ又千八百五十七年六月九日ノ法律ニ循フ時ハ政府ハ佛蘭西銀行ヲシテ諸州ニ支店ヲ設置セシムルノ權アリ蓋シ此權利ハ千八百六十七年ノ終リニ至ル迄佛蘭西銀行ノ特權ヲ延期シ及其割引料ヲ高價ナラシムルヲ付キ佛蘭西銀行ニ付與シタル自由ノ交換トシテ之ヲ契約セラルモノナリ又近來此方法ハ大ニ進歩セリ

第三款 貸附銀行又ハ專利銀行

(第七百五號) 此種ノ銀行ハ重モニ商人集會所ニ於テ授受賣買ス可キ公ケノ手形取引ヲ爲スモノトス
 貸附銀行ハ仲買人ノ身分ヲ以テ其花主ノ爲メニ商人集會所ニ於テノ取引ヲ爲スヲ任ス又其銀行ヲシテ往々貸附口ヲ選定シ及其利益ヲ計リ善ク賣買ヲ爲スヲ任シタル其花主ノ信用ヲ有スルモノトス○
 又此種ノ銀行ハ時トシテハ手形賣買世話人ノ媒介ナク此等ノ取引ヲ爲スヲアリ即チ同時ニ二人ノ者ヨリ同一ノ條件ニ於ケル賣買ノ任ヲ受クル是ナリ然レモ斯ノ如キハ手形賣買世話人ノ特權ヲ害ストス(第六百三十三號參看)○又此種ノ銀行ハ甚タ重大ナラサル工業場ノ手形ニシテ商人集會所ニ於テ之カ相庭ヲ立テサルモノヲ取引ス曰ク此種ノ手形ハ銀行ニ於テ取引スト蓋シ此場合ニ在テハ手形賣買世話人ハ

苦情ヲ述フルヲ得ス何トナレハ此等ノ取引ヲ蔑視シ爲サ、ル者ハ其手形賣買世話人ナレハナリ又此實際ノ商法典第七十六條ノ文面ト異同ナキハ余輩既ニ之ヲ譚視セリ(第六百三十三號第五註參看)
 專利銀行即チ高等銀行ナルモノハ理財上ノ大事業ヲ爲シ國債ヲ起シ又ハ政府、助村、商社、工社ノ株券又ハ義務券發行ノ任ヲ負フ此種ノ銀行ハ多少ノ手数料ヲ受ケ手形ヲ賣買シ又ハ自ラ時價ヲ以テ其手形ヲ買入レ余人ニ之ヲ賣却爲スモノトス但シ其以前ニ在テハ此種ノ銀行ノ媒介ヲ要スルナク右等ノ諸事ヲ爲シ得ルヲ思ハサリシナリ然ルニ近來政府ハ此種ノ銀行ニ依頼セス公衆ニ向テ直チニ國債ヲ起シ且ツ善ク其事ヲ遂ケシム
 又種ノ此銀行ハ廣大ニ商人集會所ニ於テノ取引ヲ爲シ且ツ其資本饒多ナルヲ以テ其利益ニ從ヒ隨意ニ市場ノ相庭ヲ高下シ小取引人ヲ害

スルヲ甚シトス然リト雖モ市場ヲシテ經濟上又ハ政治上ノ景況ニ從
ハシムルモノ此小取引人ニ職由ス

第八卷 爲替手形ノ事約束手形ノ事及ヒ期滿免除ノ事

余輩ハ先ツ此前加章ニ於テ少シク爲替ノ實況ヲ論ス可シ

前加章 爲替ノ實況

(第七百六號) 余輩ハ振出爲替ト稱スル所ノ爲替ヲ深ク講究スル所ア
ラントス蓋シ振出爲替トハ手爲替又ハ所爲替ニ反スルノ稱ニシテ手
爲替又ハ所爲替トハ貨幣ノ更換タリ爲替商ノ業務トスル所タリ此振
出爲替ハ近世ノ羅句語ニテ之ヲカムビラムトラジエシチラムト云エ
リ此カムビラムナル實名詞ハ則チカムビストナル形容詞ノ本源タリ
曰ク「ラードールカムビスト」ト爲替ノ事ヲ著論スル學者チ云フノ謂ク
リ曰ク「プラスカムビスト」ト大ニ爲替ノ行ハル、商業地ヲ指言スルノ

謂タリ

余輩既ニ之ヲ觀察シタル如ク(第六百七十九號)他國例ニハ倫敦ニ金高
ノ拂ヲ爲サントスル者若シ金高ノ遞送ヲ避ケント欲スル時ハ其地ニ
在テ倫敦ヨリ同一ノ金額ヲ受取ル可キ者ヲ探求シ之ニ托スルニ其債
債主ニ向ケ爲替手形ヲ振出スヲ以テシ由テ其爲替手形ヲ其債主ニ
送與シ債主チシテ爲替手形ノ振出ヲ受ケタル負債主ヨリ其支拂ヲ受
取シムルヲアリ○商人多クハ自カラ此探求ヲ爲スニ非スシテ之ヲ銀
行者ニ依托ス蓋シ銀行者ハ之ヲ以テ其商業ト爲シ手形ノ需用ト供給
トチ一集シ甲ニ買ヒ乙ニ賣リ買主及ヒ賣主ヨリ常ニ手形ノ金高百分
ノ四分ノ一ニ充ツ可キ手数料ヲ受ケ之ヲ其利益ト爲スモノトス
銀行者ノ手数料ハ之ヲ別ニシ爲替手形ノ價格如何ト云フニ其手形面
ノ金高ト同一ナルヲ殆ント稀レナリ蓋シ三種ノ原由アリテ然ルモ

第一〇手形ノ支拂ヲ爲ス可キ場所ニ於テ貨幣ノ其價格ヲ失ヘルト是實ニ手形ノ金高ヨリ小ナル金高ヲ受取ラシムルナリ此事タルヤ殊ニ紙幣ノ現行スル國ニ對シテ發生ス現ニ伊太利ニ向ケタル手形(即チ爲替手形)ノ大凡ソ其金高ノ百分ノ八ヲ失ヒ且ツ其以前ニ在テハ百分ノ十二ヨリ十五ヲ失フタルモノハ即チ之カ一例ナリ

第二〇インテリユーシユーリナム(即チ拂期限ニ至ル迄利子ヲ失フ)是割引勘定ヲ爲サシムルナリ割引勘定ヲ爲サントスルニハ手形ノ支拂ヲ爲ス可キ場所ノ金利ニ因ラサル可カラス何トナレハ若シ手形受取人既ニ拂期限ニ至リタル負債ノ支拂トシテ其手形ヲ送致シタル時ハ債主ハ其所在ノ地ニ在テ現ニ之カ割引ヲ爲シ其得可キ金高ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ受取ルヲ欲セサル可ケレハナリ故ニ其地ノ金利

ニ因ラサル可カラス是レ實ニ其地ニ在テノ手形ノ現價ナレハナリ
第三〇需用及ヒ供給是レ即チ一ノ地ヨリ他ノ地ニ向ケタル總テノ手形ニ普通ナル緊要ノ元素タリ之ヲ左ニ論述セシ

(第七百七號) 手形ノ需用ハ兩地ノ間他ノ一地へ支拂ヲ爲スヲ多カル可キ一地ノ爲メニ増加シ其供給ハ他ノ一地ヨリ支拂ヲ受クルヲ多カル可キ一地ノ爲メニ増加ス然ルニ此相互ノ債主權ハ種々ノ原由ヨリ來レルモノトス〇第一兩國ノ間ニ爲ス通商ハ平均他國ニ向ケ多ク輸出ヲ爲シタル國ハ夥多ノ金高ニ付テノ債主タリ多ク輸入ヲ仰キタル國ハ負債主タリ〇第二船賃即チ運送料運送料ハ他ノ國民ノ爲メニ運送ノ業ヲ爲シタル國民ノ利潤タリ〇第三外國貸附佛蘭西ニ於テハ嘗テ之ヲ行ヒタリ其貸附ノ際ニ在テハ大ナル金額ヲ外國ニ出シタリト雖モ外國政府ヨリ利札ノ支拂ヲ爲ス時ニ際シテハ著大ノ返還ヲ受ケ

スリ○第四外、國旅客ノ費用、外國ノ旅客ハ豫テ銀行者ニ金額ヲ渡シ置
 キ外國ニ於テ其金額ヲ受クルモノトス
 需用及ヒ供給ヲ爲スヲ如何茲ニ兩地ノ商人ヲ一括シ巴里ヨリ倫敦へ
 拂フ可キ金高及ヒ倫敦ヨリ巴里へ拂フ可キ金高共ニ百ナリトセンニ
 此場合ニ於テハ需用ハ供給ト平均シ巴里ニ於テ倫敦ニ向ケタル手形
 ヲ需ム可キ負債主ハ其需用ニ應スヘキ手形ヲ得ヘク且ツ之ヲ得ルカ
 爲メ別ニ打歩ヲ拂フニ及ハサル可シ此處ニ在テハ爲換ハ平均ナリ一
 リーフル、ステルリングノ爲換手形ハ二十五フランク三十二サンチー
 ムニテ之ヲ賣買ス可シ○然レモ若シ巴里ヨリ倫敦へ拂フ可キ金高百
 五十ニシテ倫敦ヨリ巴里へ拂フ可キ金高百ナル時ハ巴里ニ在ル負債
 主ハ百五十ヲ需メ巴里ニ在ル債主ハ百ヲ給スルノミ故ニ手形ノ代價
 ハ騰貴ス可ク二リーフル、ステルリングノ爲換手形ハ二十五フラトク

廿五サンチームヨリ廿五フランク卅サンチーム廿五フランク卅五
 サンチームニ至ル可シ此處ニ在テハ巴里ヨリ倫敦ニ向ケタル爲替ハ
 昂シ又ハ巴里ノ爲メニ不利ナリト云フ眞ニ巴里ニ在ル負債主ハ最モ
 高キ代價ヲ拂フニ非サレハ其義務ヲ免カル、トヲ得サレハナリ乃チ
 例へハ常時ニ在テハ二リーフル、ステルリングニ付キ二十五フランク
 二十一サンチームヲ拂フ可キモ此時ニ在テハ二十五フランク卅サン
 チームヲ拂フニ非サレハ其義務ヲ免カル、トヲ得サルナリ○然レモ
 又此手形ノ騰貴ニハ自然ノ定限アリ即チ手形ヲ得ルニ付テノ打歩ト
 正金ノ遞送料ト平均スルニ至テ止ム即チ之ヲ算定スルニ大抵二十五
 「フランク」三十五サンチームヲ以テ此定限ナリトス何トナレハ二リー
 フル、ステルリングヲ巴里ヨリ倫敦へ遞送スルノ費用ハ大抵十四サン
 チームヲ越ユルコトアラサレハナリ但シ此定限ヲ越ユルコトアル可キ非

常ノ場合ナキニシモアラサル可シ例ハハ義務者タルノ地ニ正金ノ拂底ナル時是レ先年貨幣上ノ困難ニ因リ佛蘭西ニ顯出シタル所タリ其際倫敦ニ向ケタル爲換ハ二十六フランク以上ニ騰貴シタリ

(第七百八號) 又手形ヲ以テ相殺スルコト能ハサル所ノ金高五十八如何シテ之ヲ拂フヘキヤ此金高ニ至テハ貨幣ヲ遞送シテ之ヲ拂ハサルヲ得サルモノ、如シ然レモ金高ヲ遞送スルコトハ萬一止ムヲ得サルニ非サレハ爲ストヲ欲セサル所ノ最末ノ方法ニシテ商人ノ尤モ爲スニ忍ヒサル所ナリ故ニ或ハ次ノ方法ニ因リ之ヲ避クルコトヲ得○代價ヲ引下ケ新タニ商品ヲ賣込ミ權利ヲ得テ義務ヲ相殺スルコトヲ得之カ爲メ佛蘭西ノ商人ハ商品ノ代價ニ付キ些少ノ損失ヲ爲ストアリト雖モ貨幣ノ遞送ニ付キ要ス可キ大ナル費用ヲ避クルヲ便益アリ且ツ他ノ一方ニ在テハ英吉利ノ商人ハ安價ニ商品ヲ買入ル、ノ利益アリ何トナ

レハ爲換相場ノ已レニ利ナルヲ爲シ例ハハ二リトシタルリ
 ○付キ當時ハ廿五フランク[廿一サンチム]ヲ支拂フテ以テ
 ハ唯々二十五フランク[十サンチム]ヲ支拂フテ以テ
 ハコトヲ得レハナリ○又間接爲換ニ因ルコトヲ得例ハハ相殺ル
 後巴里ヨリ倫敦ヘ支拂フ可キ金高猶ホ五十アリ然ルニ又倫敦ヨリ紐
 育ヘ拂フ可キ金高五十紐育ヨリ巴里ヘ拂フ可キ金高五十アリトセン
 ○此處ニ在テハ巴里ハ紐育ヨリ倫敦ニ向ケタル手形ヲ購買シ之ヲ以
 テ其負債ヲ拂フコトヲ得可シ此仕方タルヤ往々之レアリ蓋シ各國其輸
 入ニ均シキ輸出ヲ爲スト云フ者ハ常ニ一國ト一國トノ輸出入ニ付テ
 云フニ非ス殊ニ一時ノ輸出入ニ付テ云フニ非サレハナリ○又最終ノ
 方法ハ兩地ノ銀行ノ間ニ在ル交互計算第八百七十五號參看ニ因ルニ
 在リ例ハハ巴里ノ銀行ハ倫敦ノ銀行ニ向ケ手形ヲ振出シ之ヲ巴里ノ

負債主ニ渡ス可シ之カ爲メ巴里ノ銀行ハ倫敦ノ銀行ノ義務者ト成リ一時商事上ノ義務ヲ負フト雖モ又之カ爲メ爲換相場ノ變更ヲ待チ倫敦ノ銀行ヨリ手形ヲ振出スチ俟テ其相殺ヲ爲スヲ得可シ此方法ハ殊ニチデツサノ如キ輸出ヲ爲スニ定マリタル時期ヲ有スル地ノ爲メニ必要タリ蓋シチデツサノ地タル麥チ輸出スルニ止マルカ故ニ収獲ノ後ハ汎ク外國ノ債主ト成リ外國ニ對スル負債ニ消却ス然ルニ此際義務ヲ負フタル外國ハ之ニ反シ年中ノ其他ノ日月其地へ輸出スル貨物ヲ以テ漸々其義務ヲ消却スルモノトス爲換相場表説解

(第七百九號) 巴里、倫敦、アムステルダム、アンブール等及ヒ歐羅巴外ニ在テハ紐育、カルキユタ、上海、廣東ノ如キ萬國普通ノ爲換地タル實ニ其數寥寥タリ

爲換相場ヲ指定スル方法ニ至テハ我ト貨幣ヲ同フスル國ト又タ我ト貨幣ヲ異ニスル國トヲ區別セサル可カラス

第一我ト貨幣ヲ同フスル國伊太利、白耳義、瑞西ニ付テハ百フランクニ目安ト爲シ百フランクノ手形ニ付キ爲換ノ損益ヲ示スモノトス例ヘハ損トハ百分ノ四分ノ一ノ損失アルチ示スノ謂ニシテ即チ百フランクノ手形ハ九十九フランク七十五サンチムニテ之チ賣買ス又益トハ百分ノ二分ノ一ノ増益アルチ示スノ謂ニシテ即チ百フランクノ手形ハ百フランク五十サンチムニテ之チ賣買ス又若シ手形平均相場ナル時ハ平均ノ二字ヲ以テ之チ示スモノトス

第二我ト貨幣ヲ異ニスル國ニ付テハ目安ト定メタル金高ニ付キ拂フ可キ代價ヲ直チニ示スモノトス故ニ復々上ニ爲シタル如キ計算ヲ爲スチ要セス其目安ト定メタル金高ハ其國々ノ間ニ自然異ナラサルチ

得ス蓋シ彼是相比較シテ爲換相場ノ昂低如何ヲ知ラントスルコハ須
ラク先ツ目安トシテ定メタル金高ノ平均相場如何ヲ知ラサル可カラ
ス今茲ニ其二三ヲ示スヲ左ノ如シ

倫敦

一「リリフルステルレク」平均二十五「フラン
ク」三十一「サンチム」

阿姆斯特アルダム

百「フロレン」

平均二百十四「フランク」

アンブル及ヒ日耳曼全國

百「マルク」
平均百二十三「フランク」

聖彼得堡

百「ルウブル」

平均四百「フランク」

以上述フル所ノ如ク定マリタル金高ノ目安ハ外國ノ貨幣ヲ以テ之ヲ
示シ變ス可キ代價ハ佛蘭西ノ貨幣ヲ以テ之ヲ示ス人曰ク外國ハ安固
ナリ巴里ハ不安固ナリト一般ニ貨幣ノ大ナルモノニ安固ヲ取ル其然
ル以所ノモノハ尤モ簡明ナル數字ヲ以テ其金高ヲ示セハナリ

茲ニ爲換相場表ノ一例ヲ舉フニ即チ左ノ如シ但シ此表ハ千八百七十
七年二月十一日之ヲ製シタルモノトス

外國ニ於テノ割引		各地へノ爲換相場	
地名	長紙	短紙	紙
三ヶ月	取	引	ノ手形
阿姆斯特アルダム	自二〇七%至二〇八%	自二〇六%至二〇七%	加四%
四日耳曼	一一一% 一二二%	一一一% 一二一%	四%
五トリエスト	一九八% 一九九%	一九九% 二〇〇%	四%
五維納	一九八% 一九九%	一九九% 五	四%
六ハルスロト	五〇四% 五〇六%	五〇五% 五〇七%	四%

六マドリット	四九一%	四九三%	四九二%	四九四%	四%
六リスボース	五四五%	五四七%	五四六%	五四八%	四%
七聖彼得堡	自三〇四%至三〇七%	自三〇五%至三〇八%	加四%		
紐育	四四五%	四五五%	四四五%	四五五%	五%
現場取引ノ手形					
二%倫敦	自二五一三%至二五一八%	自二五二〇%至二五二五%	減二%		
二%白耳義	自八%損至平均	自八%損至七%損減五%			
五伊太利	自百分ノ七%損至七%損	自百分ノ七%損至七%損			
五伊太利(金貨)	自八%損至平均	自八%損至七%損減五%			
六羅馬	自百分ノ七%損至七%損	自八%損至七%損減五%			
四瑞西	自八%損至平均	自八%損至七%損減五%			

(第七百十號) 表中ニハ各手形ノ千種萬様ニ異ナリタル拂期限チ一々詳細ニ記スルヲ得ス假リニ其手形ハ同一ノ期限チ有スル者トシ眞ノ拂期限ノ長短ニ從ヒ加減ス可キ利子ノ計算ハ之チ各人ノ爲スニ任シタリ此拂期限ハ何レノ地ニ付テモ同一ナルニ非ス習慣ニ因リ之チ二段ニ區分ス〇其一ニ付テハ表中ニ手形カ即時拂ナル時ノ代價ヲ示シタリ此等ノ地ハ現場取引ノ手形ト題スル部内ニ列記ス即チ倫敦白耳義伊太利端西等はナリ此處ニ在テハ若シ手形ノ期限表中ニ示ス所ヨリ長キ時ハ宛モ割引ヲ爲ス時ノ如ク表中ニ示シタル代價ヨリ其期限ニ至ル迄ノ利子ヲ引去ラザル可カラス又ハ減六%等トアル者ハ割引ノ高チ示スナリ蓋シ減ナル文字ハ此〇其他ノ地ニ付テハ表中ニ三ヶ月ノ期限チ有スル手形ノ代價ヲ示シタリ即チ三ヶ月取引ノ手形ト題スル部内ニ之チ列記シタリ此所ニ在テハ若シ手形ノ期限短キ時ハ

表中ニ示シタル代價ニ加フルニ眞ノ拂期限ト三ヶ月ノ期限トノ間ニ在ル割引料ヲ以テセサル可カラス何トナレハ此割引料ハ表中之ヲ過引シタレハナリ例ヘハ若シ手形ノ期限六十日ナル時ハ之ニ加フルニ三十日分ノ割引料ヲ以テシ又若シ二十日ナル時ハ七十日分ノ割引料ヲ以テス可キモノトス 表中爲換相場ノ下ニ加三%又ハ加四%等トアルモノハ割引ノ高チ示スナリ蓋シ加ナル文字ハ此割引料ヲ増加スル 各部長紙短紙ノ二行ヲ區分ス然レモ常ニ手形ノ意ヲ示スモノトス 各部ニ示シタル同一ノ期限ノモノト看做シタルヲ記認セサル可カラス且ツ常ニ割引料ヲ算セサルモノトス然ラハ則チ何ニ縁テ此二種ノ手形ノ間ニ代價ノ差異アルヲ得可キヤ曰ク需用供給ナリ乃チ短紙ハ常ニ氣配好ク隨テ其價格モ昂等ナリ何トナレハ短紙ハ債主善ク之ヲ承諾シ且ツ常ニ之ヲ割引スルヲ尤モ容易ナレハナリ然レモ又銀行ニ於テ後ノ需用ニ充テンカ爲メ長紙ヲ貯ヘシ時ノ如キハ其代價

騰貴シ反テ短紙ノ低價ナルヲアリトス
内國爲換

(第七百十一號) 此種ノ爲換ニ付テハ相場ヲ要スルカ如キ緊要ナルカ取引アルニアラス

如何シテ他ノ地ニ向ケタル爲換手形ヲ賣買スルヲ得可キヤ今茲ニ之ヲ示サン若シ其地ニ佛蘭西銀行ノ支店アリ而シテ其手形バンクローアル(即チ姓名手署人ノ員數及ヒ拂期限等手形ノ適法タルニ必要ナル條件ヲ備ヘタルモノニシテ且ツ其手形ノ持主佛蘭西銀行ニ交互計算(第八百七十五號以下參看)ヲ有スル者ナル時ハ銀行ハ唯々割引シテ其手形ヲ受取ル可シ此場合ノ外ニ在テハ手形持主ハ他ノ銀行ニ依頼スルヲ得可ク其銀行ニ於テハ割引ノ外百分ノ四分ノ一ヨリ十分ノ一ニ充ル可キ手数料及ヒ他ノ銀行ヲ手数料及ヒ金高ノ運送料タル可

キ取立手数料又ハ爲換料ヲ受取ル可シ此取立手数料ハ需用供給ノ度ニ因テ定マルモノニ非ス各銀行ノ間ニ一定シタル規約ニ從テ之ヲ受クルモノトス

他ノ地へ金高ヲ送ラント欲スル者若シ其地ニ佛蘭西銀行ノ支店アル時ハ其銀行ヨリ支店ニ向ケタル命令手形ヲ受取リ之ヲ以テスルヲ得○又若シ其地州ノ首府ナル時ハ收稅役所ヨリ其地ノ收稅役所ニ向ケタル命令手形ヲ受取リ之ヲ以テスルヲ得○又或ハ銀行ノ手形ヲ郵送スルヲ得或ハ費用ヲ要スルヲ少シク多シト雖モ銀行ニ依頼シ其地ノ銀行又ハ最近地ノ同盟ニ向ケ爲換手形ヲ振出サシムルヲ得又或ハ其銀行ヨリ他ノ銀行ニ向ケタル預金引出小切手ヲ受取ルヲ得可シ

第一章 爲換手形ノ事

(第七百十二号) 爲換手形ハ爲替契約執行ノ方法ニシテ爲替契約ヨリ成レルモノトス

爲替契約トハ一方ノ者ヨリ他ノ一方ノ者ニ一ハ場所ニ於テ或ル有價物ヲ渡シ又ハ之ヲ渡ス可キノ約束ヲ爲シ他ノ場所ニ於テ若干ノ金高ヲ受取ル可キ契約ヲ云フ○此契約ノ緊要ナル目的ハ遠隔ノ場所ニ於テ一ノ金高ヲ得セシムルニ在リ故ニ此契約ヲ以テ約束シタル第二ノ有價物ハ必ラス一ノ金高タル可ク且ツ其金高ハ必ラス契約ヲ爲シタル場所ニ於テ之ヲ拂フ可シ是レ之ヲ此地ヨリ彼地へハ金高ノ移送ト云フ此契約ハ往々双務ノ契約タリ然レモ若シ第一ノ義務ハ直チニ之ヲ執行シタル時即チ遠隔ノ地ニ於テ金高ヲ受取ル可キ爲メ直チニ有價物ヲ引渡シタル時ハ片務ノ契約タリ○契約ヲ賣買契約又ハ貸借契約中ニ入ラシム可キヤノ問題ニ付テハ頗ル議論アリタリ又タ此契約

ハ交換契約、名代契約、保證契約ト類似スルモノト爲シタリ然レモ余輩
 ナ以テスルモハ此契約ハ一種特別ノ契約トス何トナレハ此契約ニ付
 テハ總テノ他ノ契約ト異ナリタル一種ノ目的アレハナリ則チ例ヘハ
 賣買契約ニ於ケルカ如ク定マリタル物件所有權ヲ得ルカ爲メナラス
 又例ヘハ貸借契約ニ於ケルカ如ク若干ノ年月間金高ノ使用權ヲ得ル
 カ爲メナラス唯々遠隔ノ地ニ於テ一ノ金高ヲ得ルニアレハナリ蓋シ
 此問題ハ當時復タ其利益ヲ有セサルモノトス○但シ其議論ハ余輩チ
 シテ爲換ノ事務ハ何カ故ニ常ニ商業タリヤ(第六百三十二條第四項)且
 ツ爲換ノ契約ハ何カ故ニ必ラス商事上ノ契約ト看做ス可キヤチ了解
 セシムルモノトス實ニ有價物ヲ受取タル者ハ確定ノ名義ヲ以テ之ヲ
 受取タルニ非ス他ノ場所ニ於テ金高ト爲ス可キ爲メ之ヲ受取シナリ
 是レ其義務ノ主タル目的ニシテ其者ニ媒介人タルノ自分チ附與スル

モノトス且ツ其者ハ媒介料ヲ取リ射利ノ業チ行フカ故ニ商業チ行フ
 者ト爲サ、ル可カラス(第二十九號第三十號及ヒ第四十六號參看)此契
 約チ執行スルニ付テハ數多ノ方法アリ遠隔ノ地ニ於テ金高ヲ渡ス可
 キ約束ヲ爲シタル者若シ其地ニ行ク可キ時ハ自カラ其金高ヲ遞送ス
 ルヲ得蓋シ此約束ヲ爲スヲ得タリ何トナレハ其者ハ何月何日何
 レノ場所例ヘハ某ノ市場ニ於テ他ノ一方ノ者ニ出會スルヲ知リタ
 レハナリ或ハ通信者ニ其旨チ通信シテ金高ヲ拂ハシムルヲ得是レ
 未ダ爲換手形タルニ非ス何トナレハ此通信狀ハ之ヲ債主ニ渡サ、レ
 ハナリ或ハ某ノ銀行ヨリ金高ノ拂ヲ爲ス可キ場所ノ銀行ニ向ケタル
 信用手形チ其債主ニ與フルヲアリ蓋シ信用手形ハ其振出チ受タル銀
 行チシテ若干ノ金高ニ至ル迄ノ立替金ヲ爲シ而シテ後チ已レニ對シ其
 金高チ請求スルノ權チ許ルスモノトス故ニ此處ニ在テハ拂フヘキ金

高ハ確定セス唯々其最大數ノミ定マレルモノナリ又或ハ銀行ニ對スル代權證書ヲ與フルコトアリ此處ニ在テハ書狀ヲ債主ニ渡スト雖モ其書狀ハ爲換手形ノ法式ヲ備フルモノニ非ス故ニ爲換手形ノ如ク流通スルコトヲ得ス又其金高ハ必ラス其證書ニ指名シタル者之ヲ受取ル可シ蓋シ大ナル金高ニ付テハ爲換手形ノ印紙税及ヒ登記税ヲ避ケンカ爲メ屢々此代權證書ヲ用ヒタリ然レモ當時ニ在テハ千八百七十四年二月十九日ノ法律第四條ノ規定スル所トナレリ(第七百四十四號參看)又或ハ真正ノ爲換手形ヲ債主ニ引渡ストヲ得則チ某ノ地ニ於テ金高ヲ拂フ可キ約束ヲ爲ス者ハ爲替手形ノ受取人又ハ利益人ト稱スル其債主ノ爲メニ其地ノ通信者ニ向ケ爲替手形ヲ振出ス可シ○故ニ爲替手形ハ爲替契約執行ノ方法中ノ一タリトス

(第七百十三號) 爲替手形トハ其發行ノ場所ト異ナリタル場所ニ於テ

受取人或ハ利益人又ハ其命令ニ若干ノ金高ヲ支拂フ可キコトヲ手形振出人ヨリ手形支拂人ニ命スル所ノ證書ヲ云フ

爲替手形ト爲替契約トノ差異○爲換契約ハ承諾ヲ以テ成リ爲替手形ハ法式ヲ以テ成ル爲替手形ハ余輩カ後ニ講究スル所ノ嚴格ナル法式ニ循フ可キモノナリ○契約ハ善意ヲ以テ支配シ手形ハ嚴法ヲ以テ支配ス蓋シ是レ双方ノ者ハ十分明カナル箇條ヲ以テスルモ手形ノ二三ノ効ヲ變更スルコトヲ得ストノ謂ニ非ス○契約ハ屢々双務タレモ手形ハ必ラス片務ナリ是レ手形ハ爲替契約ヨリ生シタル義務中ノ一ヲ執行スト雖モ又必ラス他ノ一ノ執行濟タルコトヲ證スルモノニシテ爲替手形ニハ必ラス他ノ一方ヨリ受取タル有價物ヲ記載ス可ケレハナリ

實際ニ於テハ爲替手形ハ金高遞送ノ意ナク單ニ融通又ハ信用ノ方法トシテ之ヲ用ユルコト最モ屢々ナリ往日ニ在テハ殊ニ拘留ノ保證ヲ得

ンカ爲メニ此方法ヲ行用セリ此處ニ在テハ爲替手形ハ真正ノ爲替契約ニ由ラサルモノトス又佛蘭西ノ地ニ向ケ爲換手形ヲ振出ス場合ハ殆ント悉ク真正ノ爲換契約ニ由ラサルモノトス何トナレハ此場合ニ於テハ所謂爲換ナルモノアルニ非ス(第七百十一號參看)且ツ他ノ方法ニ因リ尤モ容易ニ遠隔ノ地へ金高ノ支拂ヲ爲スヲ得レハナリ○然レモ法律ノ規則ハ爲換手形ヲ目的トシテ規定シタレハ真正ノ爲換手形タランニハ必ラス此規則ヲ遵奉セサル可カラス是故ニ爲換手形ニハ此地ヨリ彼地へノ金高ノ移送ヲ要スルヲ一ノ金高ヲ目的トスルヲ要スルヲ及ヒ其性質常ニ商事上ノモノタルヲ要スルヲ等實際ニ於テハ決シテ在ルノ理アラサル所ノ條件トス又爲換手形ハ仮令ヒ爲換契約ヨリ生シタルモノニアラサルモ法律上爲換契約ヨリ生シタルモノト看做シタリト云ハサル可カラス○又一方ニ在テハ法律ハ爲換手

形ヲ融通ノ方法ト看做シタルニヨリ爲換手形ニハ必ラス命令ニナル文言ヲ記載ス可シト定メリ蓋シ千六百七十三年ノ法令ニ在テハ爲換手形ニ此文言ヲ記載スルヲ必要ナリトセサリシナリ○之ヲ要スルニ商法典ノ主義ハ千六百七十三年ノ法令ト現今ノ實際トノ中間ニアリ則チ千六百七十三年ノ法令ニ在テハ爲換手形ヲ爲換契約執行ノ方法ナリトシ現今ノ實際ニ在テハ融通ノ方法ナリトス然リ而テ商法典ハ其中間ニ在リ

(第七百十四號) 爲換手形ノ源始ニ付テハ頗ル議論アリ但シ此問題タル仮令ヒ之ヲ深ク研究スルモ別ニ利益アラサル可シ

(第七百十五號) 爲換手形ノ大意○余輩ハ今茲ニ爲換手形ノ要領ヲ示サ、ルヲ得ス何トナレハ解説中未ダ全ク説キ終ラサルノ點ニ論及スルヲ往々之レアレハナリ

爲換手形ノ直接ノ効ニ因リ手形振出人ハ手形受取人ニ對シ義務ヲ負
 フ可ク手形支拂人ヲシテ手形ノ拂期限ニ手形ノ金高ヲ支拂ハシメサ
 ル可カラス且ツ之カ爲メ手形支拂人ニ其支拂ヲ爲ス可_マ準備ノ物件
 ヲ送ラサル可カラス又手形ノ拂期限前手形受取人ニ手形支拂人ノ承
 諾ヲ得セシメサル可カラス○手形支拂人ハ手形受取人ニ對シ義務ヲ
 負フ可キ者ニ非ス何トナレハ承諾ナク義務ヲ負フ者アラサレハナリ、
 手形支拂人ハ唯々爲換手形ヲ承諾シタル時又ハ爲換手形ヲ承諾ス可
 キヲ承諾シタル時ノ義務ヲ負フ可ク又手形振出人ヨリ準備ヲ受
 取タル時ハ其振出人ニ對シ手形ノ支拂ヲ爲ス可キノ義務ヲ負フ可ク
 而シテ手形所持人ハ其手形振出人ニ代ツテ此權利ヲ行フ者トス○手形
 所持人ハ手形ノ拂期限前承諾ヲ求ムル爲メ手形ヲ手形支拂人ニ差出
 ストキ付キ全ク隨意ノ權利ヲ有ス可ク而シテ若シ其承諾ヲ得サリシ時

ハ承諾ノ拒ミ證書ヲ記シ手形振出人ニ對シ保證人ヲ求ムルノ權ヲ有
 ス可ク○爲替手形ハ命令コアルカ故ニ裏書ニ因リ之ヲ讓渡ス可ク而
 シテ各裏書人ハ手形ノ拂期限ニ手形ノ支拂ヲ爲ストキ付テノ擔保人ト
 成ル可ク又權利ノ賣買ニ管スル通常ノ規則ニ反シ讓渡人ニ對スル故
 障ハ之ヲ其讓受人ニ言立ツルヲ得ス
 手形ノ拂期限ニ至リ手形所持人ハ手形ノ支拂ヲ求ムル爲メ手形ヲ手
 形支拂人ニ差出サ、ル可カラス而シテ若シ其支拂得サリシ時ハ拂期日
 ノ翌日拒ミ證書ヲ記ス可ク之レニ違フ時ハ各裏書人ニ對シ訴ヲ爲ス
 ノ權ヲ失フ可ク且ツ手形振出人ニ對スト雖モ若シ其振出人準備ヲ爲
 シタル時ハ其者ニ對シ訴ヲ爲スノ權利ヲ失フ可ク其他手形所持人ハ
 拒ミ證書ヲ記シタル日ヨリ十五日ノ内ニ裁判所ニ訴ヘ出ツ可ク若シ
 違フ時ハ同上ノ權ヲ失フ可シ

(第七百十六號) 爲換手形ノ外約束手形ナル者アリ第二章ニ詳論ス可シ約束手形トハ手形ノ記名人手形ノ拂期限ニ自カラ若干ノ金高ヲ支拂フテテ約束スル所ノ證書ナリ故ニ此證書ノ記名人ハ自カラ手形振出人ノ業務ト手形支拂人ノ業務トヲ兼スル者トス今茲ニ爲替手形及ヒ約束手形ナル二種ノ商業手形ニ普通ノ箇所ヲ舉ンニ○第一此二種ノ商業手形ニハ命令ニナル文言ヲ記載ス故ニ裏書ニ因リ之ヲ讓渡ス可ク而シテ其裏書人ハ手形ノ支拂ヲ爲スニ付キ連帶ノ擔保人タリ○第二此二種ノ商業手形ノ所持人若シ其拂期限ニ其手形ノ支拂ヲ得サル時ハ拒ミ證書ヲ記ス可シ若シ之レニ違フ時ハ各裏書人ニ對シテ訴テ爲スノ權ヲ失フ可シ○第三爲替手形及ヒ商事上ノ約束手形ニ係ハル訴訟ハ五年ニシテ其期滿免除アリトス○又茲ニ差異ノ箇所ヲ舉ンニ○第一爲替手形ハ其原由ノ何タルヲ問ハス常ニ商事上ノモノタリ然

ルニ約束手形ハ全ク民事上ノモノタルヲ得可ク且ツ此約束手形ニ付テハ五年ノ期滿免除アラサルモノトス○第二爲替手形ニハ三人ノ管係人アリ手形振出人手形支拂人及ヒ手形受取人はナリ然ルニ約束手形ニ付テハ二人ノ管係人アルノミ手形記名人及ヒ手形受取人はナリ故ニ約束手形ニ付テハ承諾又ハ準備等ノヲナシ隨ツテ承諾又ハ準備ノ有無ヨリ生スル所ノ諸種ノ結果ヲ生セサルモノトス○第三爲替手形ニ付テハ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送アルヲ要スト雖ヒ約束手形ニ付テハ更ニ之レカ要用ヲ見サルナリ

本章分ツテ之ヲ四款トス○第一款爲替手形ノ記製ノ事○第二款爲替手形ノ讓渡ノ事○第三款双方ノ義務及ヒ支拂ノ擔保ノ事○第四款支拂及ヒ支拂ノ拒ミ并ニ其結果ノ事

第一款 爲替手形ノ記製ノ事

本款ヲ區分シテ之ヲ四節トス。○第一節爲替手形ニ必要ナル條件ノ事
○第二節隨意ナル條件ノ事。○第三節爲替手形ニ付テノ無能力ノ事。○
第四節稅則

第一節 必要ナル條件ノ事

(第百十條) 爲替手形ハ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ向ケ振出スモノトス

爲替手形ニハ其日附テ記ス可シ

爲替手形ニハ亦左ノ諸件ヲ記ス可シ

支拂フ可キ金高

支拂ヲ爲ス可キ者ノ姓名

支拂ヲ爲ス可キ期日及ヒ場所

貨幣、商品、勘定又ハ其他ノ方法コテ受取リタル金高

爲替手形ハ他人ノ命令ニアルトアリ又ハ手形振出人自己ノ命令ニ

アルコアリ

若シ爲替手形第一號第二號第三號第四號ナル時ハ其番號ヲ附記ス
可シ

(第七百十七號) 抑々爲替手形ハ義務ヲ契約スルノ方法ナルカ故ニ先

ツ第一ニ普通法ニ於テ契約ヲ法律ニ適シタルモノトスルニ必要ナル

條件ヲ具ヘサル可カラサルコトヲ觀察ス可シ(民法典第千百八條以下)此

條件ヲ具ヘサルニ付テノ結果ハ余輩之ヲ後ニ論辨ス可シ(第七百二十

六號及ヒ七百三十一號殊ニ第七百五十五號以下參看)

此處ニ在テハ余輩ハ唯々爲替手形ニ特別ナル條件ノミヲ說述セン

第一項ニ云フ處ノ條件ハ唯々法式上ノ條件タルノミナラス又場所ニ

付テノ條件タリ然レモ此場所ニ付テノ條件ハ法式上ノ條件ト言ハサ

ル可カラス何トナレハ此二箇ノ場所ハ必ラス之ヲ手形ニ明記セサル

可カラサレハナリ此レ即チ此地ヨリ彼地へノ金高ノ移送ナリトス(第六百三十二條末項)蓋シ此地ヨリ彼地へノ金高ノ移送トハ振出シタル爲換手形ハ必ラス他ノ場所ニ於テ其支拂ヲ爲ス可シトノ謂ナリ

法律ニ此條件ヲ定メタル以所ノ者ハ爲換手形ヲ爲換契約執行ノ方法ナリト看做シタルニ職由ス古法ニ於テハ法令ニ之ヲ明言セスト雖モ學此條件ハ裁判所ノ意見ニ係ラ者ノ説ハ此條件アルコトヲ必要ナリトセリ○ス商法典ニハ之ヲ掲ケタリ然レモ此思量ノ事實ニ適合セサルコトハ余輩既ニ之ヲ論明シタリ又英吉利ニ於テハ此條件アルコトヲ必要ナリトセス

魯西亞(第二百九十條)日耳曼(第四條)及ヒチングリー(第十四條)及ヒ第十九條等ノ諸國ニ於テモ亦同一ナリ 白耳義ニ於テモ亦其商法典改正スルニ際シ之ヲ刪除シタリ

以上述ヘ來リタル所ノ二箇ノ場所ハ必ラス商業地タルコトヲ要ス可キヤ蓋シ第六百三十二條ニ循フモハ或ハ疑訝ヲ生ス可キカ如シト雖モ

第百十條ニ據レハ此念慮ハ消却スヘシ即チ第百十條第一項ニ於テハ

此「アラス」ナル語ヲ避ケ爲換手形ハ一ノ場所ヨリ他ノ場所ニ向ケ振出スモノトスト云フニ方リ「リユ」ナル語ヲ使用シ且ツ之ヲ使用シタルニ故意アリシハ其編纂ノ次第ヲ見テ考察セラル可ナリ○然レモ第百十條ノ所謂二箇ノ異ナリタル場所タランニハ其二箇場所ノ間ニ如何ナル距離又ハ如何ナル區畫アルコトヲ要スヘキヤ此點ニ付テハ議論許多ナリ蓋シ余輩ヲ以テスル時ハ法律ニ明文ナキカ故ニ行政上ノ區畫ニ因リ假令ヒ其二箇ノ場所相近接スルモ異ナリタル二邑ニ屬スルヲ以テ十分ナリト決定セサル可カラス

此條件ハ唯々爲替手形ノ記製ノ際ニ存在スルヲ以テ十分ナリトシ裏書ヲ爲ス毎ニ之レアルコトヲ必要ナリトセス

(第七百十八號) 今ヨリ法式上ノ條件ヲ觀察ス可シ○爲替手形ハ先ツ之ヲ證書ニ認メサル可カラス是レ其義解ヨリ出ツルモノトス蓋シ爲

替契約ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ證スルコト得然レモ證書ニ認メタルニ非サレハ爲換手形ト云フコト得サルヤ其理最モ明白タリ
 此證書ハ之ヲ記製スル場所ノ法式ニ循テ之ヲ記セサル可カラス是レ即チ「ロキ、ユス、レシト、アクトム」(土地ハ事ヲ支配ス)ナル法語ノ適施タリ
 裏書ニ付テモ亦同一ナリ之ヲ記スル場所ノ法律ニ循ハサル可カラス
 爲換手形ニ公正ノ法式ヲ用フルコト得然レモ法律ニ於テ必ラス此法式ヲ用フ可シト爲サス且ツ之ヲ用フルコト甚稀ナリ南方ニ於テハ農民ノ文書ヲ知ラサル者之ヲ用フ其他爲換手形中ニ書入質ノ權ヲ定メントスル時ハ此法式ニ由ラサル可カラス○公正ノ法式ヲ以テ記シタル爲換手形ハ私ノ證書ヲ以テ記シタル爲換手形ト同一ノ法式ヲ履行ス可キハ勿論加フルニ公正ノ證書ノ法式ヲ履行セサル可カラス故ニ直納ノ登記税ヲ拂フ可キモノトス(第四百四十八號參看)

爲換手形ノ最モ簡易ナル文例ヲ示サシニ即チ左ノ如シ

一金ニ〇〇〇フランク

(現金又ハ商品等)ニテ受取タル右金千フランク

(何月何日)乙某ノ命令ニ御支拂被下度候

巴里千八百七十七年三月三日

甲 某

アイウル商人

丙某殿

爲換手形ニ必ラス記載ス可キ諸件ハ第一百十條ニ之ヲ列記ス蓋シ三種ニ歸ス○第一人ニ付テノ記載○第二義務ニ付テノ記載○第三手形ニ付テノ記載是ナリ
 第一〇人ニ付テノ記載

(第七百十九號) 手形振出人ハ手形ニ其姓名ヲ手署スルニ因リ手形受
 取人ハ手形ノ本文中ニ其姓名ノ記載アルニ因リ手形支拂人ハ其手形
 ノ名宛ニ因リ各々其姓名ヲ指定ス其姓名ハ可成的明瞭ニ記載ス可ク
 殊ニ屋號ヲ以テ通商ヲ爲ス者ニハ其屋號ヲ用フ可シ 姓名ヲ用ヒスト
 タル丁更ニ疑ヲ容レサル時ハ敢テ其姓名ヲ用ユル丁ヲ要セスダロ
 ス第六十九ベダリド第六十九ヌイギユ第九十五アロイゼー第一千二
 百三十六〇手形支拂人ノ承諾ハ其手形支拂人ニ係ル記載ノ不十分
 ナル箇所ヲ補フヲ得可シト雖モ全ク其記載ナキ時ハ之ヲ補フヲ得
 得ス何トナレハ其手形ハ爲換手形ニ非サレハナリアロイゼー第一千二
 百三十六見合〇手形受取人ニ付テハ唯々其者ヨリ手形ノ代價ヲ受取
 タリト記載スルヲ以テ十分ナリトセス爲換手形ハ必ラス其命令ニ在
 ラサル可カラス(第七百二十見合)バルドシウ第三百三十八ベダリド
 第九十八アロイゼー第一千二百四十五〇反説ボチエー第三十一(然レモ
 法令ニ於テハ命令ニナル文言ヲ記載スル丁ヲ必要ナリトセス)ダロ
 〇第三百五ヌイギ
 エ第三百三十九

爲換手形ニハ必ラス三人ノ管係人アル丁ヲ要ス故ニ假令ヒ此地ヨリ
 彼地ヘノ金高ノ移送アルモ手形振出人自カラ其拂ヲ爲ス可キ時ハ其
 手形ハ爲換手形ニ非スシテ住所支拂ノ切手ナリトス(第二章參看)〇商
 人ハ假令ヒ他ノ地ヨリスルモ其身ニ向ケ爲換手形ヲ振出ス丁ヲ得ス
 又其店舗ノ一ヨリ他ノ一ニ向ケ振出ス丁ヲ得ス然レモ若シ其手代義
 務者ナル時ハ其手代ニ向ケ爲換手形ヲ振出ス丁ヲ得〇若シ爲換手形
 振出人自己ノ命令ニ在ル時ハ手形受取人アラサルモノトス此場合ハ
 余輩之ヲ後ニ詳論ス可シ
 手形支拂人ニ付テハ某ノ住所ニ於テ爲換手形ノ支拂ヲ爲ス可シト云
 フヲ以テ十分ナリトセス必ラスヤ其者ヨリ手形ノ支拂ヲ爲スモノト
 セサル可カラス

(第七百二十號) 裏書ニ因リ手形ヲ授受スル丁ヲ得ヘキ爲メ手形受取

人ノ姓名ニ次クニ命令ニナル文言ヲ以テセサル可カラズ（ブラウァール第一卷第七十一丁英吉利及ヒフアラヴァール第一卷第七十三丁及ヒ第七十四丁千六百七十三年ノ法令ノ時ニ在テハ爲換手形ハ記名タルヲ得タリ法令ニ於テハ爲換手形ヲ單ニ爲換契約執行ノ方法ト看做シタレハナリ然ルニ商法典ニ於テハ兼テ融通ノ方法ノ如ク看做スヲ以テ爲換手形ニ此性質アルヲ欲シタルモノトス
 第二〇義務ニ付テノ記載

（第七百二十一號） 其一 支拂フ可キ金高ノ記載

義務ノ目的ハ必ラス一ノ金高タルヲ要ス又何種ノ貨幣ヲ以テ其支拂ヲ爲ス可キヤヲ指定スルヲ得（第百四十三條）

金高ハ何人ト雖モ知リ得可キ數ヲ以テ之ヲ示サ、ル可カラズ例ヘハ兼テ受取ル可キ金高トノミ記載スルヲ得ス其數ハ手形ノ本文中ニ

文字ニテ再記スルヲ常トス是レ他ナシ數字ノ變造ヲ防クガ爲メナリ然レモ是レ別ニ法律ニ定メタルニ非ス其他手形ノ冒頭ニ數字ヲ以テ記スルヲ常トス（二箇ノ記載ノ同シカラサル場合ニ付テハ一般普通ノル金高ハ尤モ正確ナルニ近キモノトス、ベタリド第六十七アローゼ）
 一 第一千二百三十五獨逸法典第七百五十七條〇ベルシール第十二第百九十四比較〇手形ノ金高ハ必ラズモ手形ノ記名人之ヲ自書シ之ニ「ボン、エ、アツアル、ー、ー、ー」然リ且認諾ナル文字ヲ附記スルヲ要セス
 蓋シ民法典第一千三百二十六條ニ於テハ商人ハ此法式ニ循フヲ要セサルモノトス又商人ニ非サル者ニ付テハ商法典第一百十條ニ於テハ立法官ノ思想ニ於テ爲換手形ニ必用ナリトスル法式ノ全体ヲ揭クト雖モ更ニ此法式ヲ記載セスト云ハサル可カラス且ツ民法典第一千三百二十六條ニ於テハ唯々通常ノ證券ノヲ云フニ止マルモノトス然ルモ爲換手形ハ大ヒニ之ト其體面ヲ異ニスルナリ

手形ノ金高ヲ定ムルコトニ付テ、第一百十條ノ規則ハ其手形ノ金高ニ付
キ利子ヲ契約スルコトヲ妨ケサルモノトス例ヘハ手形ニ金千フランノ
六分利附ニテ御支拂被下度候ト記載スルコトヲ得蓋シ其金高ヲ算定ス
ルコト甚タ容易ナレハナリ

(第七百二十二號) 其二拂期限ノ記載

第二百二十九條 爲換手形ハ左ノ約束ニテ之ヲ振出スコトヲ得可シ

手形ヲ見タル時即時拂

手形ヲ見タルヨリ一日又ハ數日、一月又ハ數月ニ「ユザンス」又ハ數

「ユザンス」拂

手形ノ日附ヨリ一日又ハ數日、一月又ハ數月、ニ「ユザンス」又ハ數

「ユザンス」拂

定日拂

市日拂

即時拂ノ爲換手形ハ單純ノ義務ニ異ナラサルモノトス
(第三百三十條) 即時拂ノ爲換手形ハ手形所持人之ヲ示シタル時其支拂
ヲ爲フ可シ

即時拂ノ爲換手形ハ稀レナルモノトス何トナレハ即時拂ノ爲換手形
ハ信用ノ機關トナルコトヲ得ス且ツ若シ遠隔ノ地ヘ金高ノ支拂ヲ爲ス
ニ止マル時ハ敢テ爲換手形ヲ用フルヲ要セス(順額印紙稅ヲ拂フニ及
ハサル)信用手形又ハ受取リ手形又ハ預金引出小切手等ヲ用フルコト
得可シ且ツ是ニ由リ登記稅ヲ拂フコトヲ免カル可シ又一方ニ在テハ即
時拂ノ爲換手形ハ預メ之カ爲メ通知ヲ受クルコトヲ得ス且ツ其支拂ヲ
爲スコトヲ得サルコトヲ可キ手形支拂人ノ不意ニ出ツルコトアリテ到底
良善ノ方法ナリトスルコトヲ得ス

見タルヨリ或期限拂

(第三百三十一條) 又手形ヲ見タルヨリ一日又ハ數日

○一月又ハ數月○一「ユザンス」又ハ數「ユザンス」ナル爲換手形ノ拂期

限ハ承諾ノ日附又ハ承諾ノ拒ミ證書ノ日附ヨリ之ヲ算ス可シ

手形ヲ承諾スル「ナ」唯々「ウ」ユ見タルナル語ヲ手形ニ附記スル「ア

リ此場合ニ於テハ其日限ヨリ拂期限ヲ算スベシ(第七百八十一號「ウ」

ユ)ナル語ヲ用ユルニ付キテノ効參看)

日附ヨリ或期限拂

(第七百二十三號) 此等ノ期限見タルヨリ又ハ日附ヨリノ期限ヲ記ス

ルニ或ハ日ヲ以テシ或ハ「ユザンス」ヲ以テシ或ハ月ヲ以テス

日ヲ以テシタル時ハ最モ易々タルモノニシテ唯々屈指其日數ヲ算ス

ルヲ以テ足レリ但シ最初ノ一日ハ其期限中ニ算入セサルモノトス(第

百三十二條第一ノ類似

「ユザンス」ヲ以テシタル時

第三百三十二條第一項 「ユザンス」トハ三十日ノ期限ナリトス但シ其期

限ハ手形ノ日附ノ翌日ヨリ之ヲ算ス可シ

外國ニ於テ其支拂ヲ爲ス可キ手形ニ付テハ「ユザンス」ノ異ナル「ア」

何トナレハ「ユザンス」トハ慣習ニ因リ定マリタル期限ヲ云ヘハナリ

月ヲ以テシタル時

第三百三十二條第二項 月ハ「ク」リ「ゴ」リ「ア」ン「曆」ニ定メタル所ニ從フ

第三百三十四條 若シ手形ノ拂期日法律上ノ祭日ニ當ル時ハ其前日支

拂ヲ爲ス可シ

茲ニ二個ノ問題アリ

其一若シ手形ノ支拂ヲ爲ス可キ期月ニ其支拂ヲ爲ス可キ相當ノ期日

アラサル時ハ其支拂期日ハ如何例ヘハ一月三十一日手形ノ日附ヨリ
 三ヶ月拂又ハ一ヶ月拂ノ手形ヲ發行シタリ(四月ハ日數三十日ヲ以テ
 終リ二月ハ唯々二十八日ヲ以テ終ル)○此等ノ場合ニ於テハ其何日タ
 ルヲ問ハズ月ノ最末日ハ其手形ノ拂期日ナリト云ハサル可カラス是
 レ第三百三十四條ノ類似ヲ以テ論ス可キ場合タリ第三百三十四條ニ於テ
 ハ其拂期日ノ法律上ノ祭日ニ當ル時ハ其拂期日ヲ前日ニ定ムルモノ
 トス况ンヤ其拂期日ノ全ク存セサル時ニ於テチヤ此時ニ在テハ無論
 此定規ノ如クナラサル可カラス且ツ是レ甚タ緊要ノ件タリ何トナレ
 ハ手形所持人ハ拂期日ノ翌日手形ノ拒ミ證書ヲ記セサル可カラス若
 シ違フ時ハ其權利ヲ失フ可ケレハナリ
 其二手形ノ支拂ヲ爲ス可キ期日ノ日數多キ時ハ如何例ヘハ四月三十
 日手形ノ日附ヨリ三ヶ月拂ノ手形ヲ發行シタリ○余輩以爲ラク其手

形ノ拂期日ハ七月三十日ナリト然ラサレハ手形ニ七月三十一日拂ト
 記載ス可ケレハナリ○又若シ假リニ其手形ヲ四月廿九日ニ發行シタ
 リトスル時ハ其拂期日ハ七月廿九日タル可シ然ラハ則チ四月三十日
 ニ發行シタル手形ノ拂期日ハ七月三十日タラサルヲ得ス
 手形ノ支拂ヲ兩度(七月三十日及ヒ三十一日)請求シ拒ミ證書ヲ兩度(七
 月三十一日及ヒ八月一日)記スルノ確實ナルニ若カス
 定日拂ニ於ケル手形ノ拂期日ハ最モ明瞭タレハ別ニ説明ヲ要セス
 市日拂ニ於ケル手形ハ近來甚タ稀レナルモノトス
 第三百三十三條 市日拂ノ爲換手形ハ市ノ終ル可キ前日ニ其支拂ヲ爲
 フ可ク又市ノ繼續スル時間一日ノミナル時ハ其日ニ支拂ヲ爲ス可
 也○

(第七百二十三號) 爲替手形ハ例ヘ某ノ死去ト云フカ如キ不確定ノ期

日ヲ以テ之ヲ振出スヲ得ズ何トナレハ此場合ニ於テハ手形所持人
 ハ拂期日ニ其支拂ヲ求ムルヲ得カレハナリ又同一ノ理由ニ因リ未
 必ノ條件ニ管スル手形ヲ振出スヲ得ス且ツ何レノ場合ニ於テモ爲
 替手形ノ拂期日ハ他ノ景狀ニ管スルヲ得ズ
 即時拂又ハ見タルヨリ或期限拂ノ手形ニ付テモ亦拂期日ハ未定タリ
 然レモ其期日ハ手形所持人ノ爲メニ未定タルニ非ス手形所持人ハ常
 ニ其支拂ヲ求ムルヲ得故ニ此處ニ在テハ余輩カ上ニ述ヘタル如キ
 支障アルニ非ス又他ノ一方ニ在テハ各記名人チシテ久シク義務ヲ負
 擔セシムルヲナカラシカ爲メ法律ニ於テハ此種ノ手形ノ所持人ハ其
 手形ノ發行ヨリ三ヶ月内ニ其手形ヲ求ム可キモノト定メタリ(第百六
 十條)

(第七百二十四號) 其三支拂ハ場所ハ記載

是レ常ニ手形支拂人ノ住所タリ但シ手形面ノ住所持主ヲ定メタル場
 合ハ別段ナリトス(第二節參看)
 第三〇手形ニ付テノ記載

(第七百二十五號) 其一日附即チ手形ヲ記製シタル日及ヒ場所

此處ニ在テハ日附ハ取消ノ條件ヲ以テ之ヲ定メタリ他ニ此例ヲ看ル
 一殆ト稀レナリ唯自筆ノ遺言證書ノ場合アルノミトス 發行ノ場所ヲ
 ハ其効ナカル可シヌ一キエ第八十六〇反說バルドシウ第三百三十三
 及ヒアローセ一第千二百三十四ニ於テハ若シ發行ノ場所ヲ記載セサ
 ル時ハ其手形ハ手形振出人ノ住所ニ於テ發行シタルモノト看做ス可
 キモノトス然レモ爲替手形ノ文言ニ付テハ思量ヲ下ス可カラス一切
 之レカ明記ナカル可カラス且ツ此日附ハ次ノ五項ノ爲メニ有用タリ
 思量ハ往々其眞ヲ得サルモノトス
 第一若シ手形其日附ヨリ或期限拂ナル時ハ拂期日ヲ定ムル爲メ〇若
 シ手形即時拂又ハ見タルヨリ或期限拂ナル時ハ第百六十條ヲ適用ス

ル爲メ(第七百二十三參看)○第二普通法ニ定メタル能力ト破産ニ因リ失フタル能力トテ問ハス手形振出人ノ能力ヲ鑒定スル爲メ(第四百四十三條)○第三此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送アルカヲ觀察スル爲メ○第四若シ手形外國ニ於テ發行シ又ハ外國ニ於テ通用シタルモノナル時ハ「ロキユスレシト、アクトム」ナル規則ノ適用アルカヲ觀察スル爲メ○第五手形振出人ノ犯罪ニ付キ訴アル時ハ其振出人ノ他所ニ在リタルヲテ驗證スル爲メニ有用タリトス

(第七百二十六號) 其二、受取タル金高即チ義務ノ原由

義務ニ原由アルヲテ要スルヲハ是レ普通法タリ唯々原由アルヲテ要スルノミナラス其原由ノ明記シアルヲテ要ス千六百七十三年ノ法令第五卷第一條ニ於テハ若シ手形受取人ニ非サル者ヨリ手形ノ代價ヲ渡シタル時ハ其者ノ姓名ヲ明記ス可キモノト定メタリ然レモ今日ニ在テハ復タ此記載ヲ要セサルモ而シテ是レ一般普通ニ於テハ必要トセサル所ナリ(民法典第

千百三十二條)蓋シ爲替手形ハ通用ニ備ヘタルモノナルカ故ニ法律ハ何人ト雖モ手形ヲ一見シテ其信用如何ヲ知ルヲ得ンヲテ欲シタルニ由ル實際ニ於テハ義務ノ原由ヲ明記スルヲハ左ノミ有用ナラサルヲナケレハナリ(第七百三十一號參看)且此記載ハ往々正確ナラサルモノトス

又法律ニ於テハ金高ヲ受取タル旨ヲ記載ス可シト爲スノミナラス如何ナル品物如何ナル方法ニテ其金高ヲ受取タルカヲ記載ス可キモノトス(第十條)ニ於テハ次ノ記載ヲ爲スヲ許シタリ○貨幣ニテ受取タル金高、現金ニテ受取タル金高ト記載スルモ亦同一ナリトス何トナレハ實際ニ於テハ何人ト雖モ更ニ其意味ヲ疑フ者アラサレハナリ且ツ十分明瞭ナル其他ノ語ニ付テモ亦同一ナリ○商品ニテ受取タル金高此場合ニ於テハ爲替手形ハ買品ノ代價ナリトス○勘定ニテ受取タル金高即チ雙方ノ間ニアル勘定ニ付テノ金高是レ差引勘定ノ殘金タルヲ得ル例ヘハ

嘗テ手形受取人ヨリ手形振出人ニ立替ヘ置キタル金高ノ如キ既ニ記帳シタル金高タルトナリ得可ク又例ヘハ手形振出人ヨリ手形受取人ニ貸スヲテ約束シタル金高ノ如キ未タ記帳セサル金高タルトナリ得可クウエンサン第二卷第七十六丁以下アローゼー第千二百四十二マツヤ一第千五百六十六〇手形受取人又ハ其代權人手形ノ支拂ヲ得ンカ爲メ別ニ其債主權ニ付テノ證據ヲ立ツルニ及ハス何トナレハ爲替手形ニ義務者カ義務ヲ看認ムルコト付テノ證書ナレハナリ但〇又其他ノ形ニ對シテ證據アル時ハ別段ナリトス(第七百三十號參看) 〇又其他ノ方法ニテ受取タル金高トハ例ヘハ給料トシテ渡スヘキ金高仲買料又ハ世話料トシテ支拂フヘキ金高前手形ノ代價トシテ支拂フ金高等ヲ云フモノトス

然レ私約シタル金高本日ノ契約ニ因リ定マリタル金高又ハ双方ノ間ニ定リタル金高等ノ語ハ十分ナラサルモノトス何トナレハ受取リタル金高ノ性質ヲ示サ、レハナリ唯受取リタル金高トノミ記載スルモ亦同一ナリトス
 フラヴァール第三卷第六十丁アローゼー第千二百四十三〇反説西班牙法典第四百二十六條和蘭法典第

四百條葡萄牙法典第三百二十一條獨逸法典第七百六十六條

又振出人自己ノ命令ニ在ル爲替手形ニ付テハ自出金ナル語ヲ用フルトナリ得然レ此手形ノ真正ノ爲替手形タランニハ第一ノ裏書人アラサル可カラス且ツ法律ニ於テハ此第一裏書人ヨリ引渡シタル金高チ手形ニ記載ス可キモノトス余輩之チ後ニ再論ス可シ
 必要ナル條件ニ違フニ付テノ罰

(第七百二十七號) 第一必要ナル文言ヲ記載セサル場合

此場合ニ於テハ手形ハ爲替手形タルノ効ナキモノト言ハサル可カラス第百十條ニ於テハ該條ニ列記シタル文言ノ記載ナキ手形ハ其効ナカル可シト明言セスト雖其文面ニ因ルニ該條ニ列記シタル文言ノ記載ナキ手形ハ爲替手形ニ非サルヤ明カナリ〇從來此等ノ文言ハ無効ノ條件ヲ以テ定メタルモノトス且ツ商法ノ法典ニ於テハ千六百七

十三年ノ法令ノ行ハレタル時一般ニ行ハレタル此説ヲ認許セント欲シタルヤ明カナリ○其他此手形ノ無効ナラサルニ於テハ更ニ第一百條ニ循ハサルニ付テノ罰アラサルモノトス

此無効ハ何人ト雖モ言立ツルヲ得可キ純粹ノ無効タリ何トナレハ此無効ハ手形ニ固着シタル瑕瑾ニ原由スルモノニシテ人ノ身分ニ基キタルモノニ非サレハナリ且ツ此無効ハ何人ニ對スト雖モ之ヲ言立ツルヲ得可シ何トナレハ此無効ハ之ヲ發見スルヲ最モ容易ナレハ其手形ヲ所持スル者ヲ全ク善意ノ手形所持人ナリト見做スヲ得サレハナリ

(第七百二十八號) 第二假設ノ場合即チ手形ニ偽ノ記載ヲ爲シタル場合
此處ニ在テハ文言ノ記載ナキニ非ス然レモ其記載不正實ナリトス

(第一百十二條) 姓名、身分、住所、振出ノ場所又ハ支拂ノ場所ヲ假設ケテ記シタル爲替手形ハ之ヲ通常ノ約束書ト看做ス可シ

此等ノ假設ハ殊ニ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送ヲ擬スルノ目的ニ出ツルモノトス且ツ往日ニ在テハ主トシテ通常ノ權利ニ傳キ義務者ノ拘留ヲ求ムルヲ得ルノ目的ニ出テタルモノトス

商法典ニ於テハ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送ヲ擬スルニ直接ノ効ヲ有ス可キ場所及ヒ住所ニ付テノ假設ヲ明言シ手形支拂人ハ其住所ニ手形ノ支拂ヲ爲スヘシトノ一事ヲ以テ住所ノ假設アリ者ト云フヲ得ス且ツ此契約ハ尤モ法律ニ適スルモノトスベシル第九十一丁第四ダロース第百廿四マ一ギユ第 又若シ現ニ存在セサル人又ハ甚タ二百六アローゼー第一千二百五十九 信用ヲ有セサル人ニ想像ノ身分ヲ附シ之ニ無實ノ信用ヲ歸セシメ又ハ他ノ信用ヲ有スル者ニ類似セシメ其者ニ向ケ手形ヲ振出シ其手形ノ拂期日ニ至リタル時ハ手形所持人ハ到底手形振出人ニ其支拂ヲ求

メサルヲ得サルニ至ラシムル時ハ同一ノ結果ヲ生ス可キ姓名及ヒ身分
 ニ付テノ假設ヲ明言ス其他第二ノ所爲ニ付テハ詐僞取財ノ罪アル者
 刑法典第四百五條アロイゼー第一千二百五十八〇其負債主ニ非サル者
 向ケ其者ノ承諾ヲ受クルコトナク爲替手形ヲ振出シ之ヲ賣買スルノ
 所爲ニ付テモ亦詐僞取財ノ罪アル者トス然レモ手形ハ之カ爲メ無効
 トナルニ非スアロイゼー第一千二百五十八〇他人ヲ假設ケテ手形振出
 人ト爲シタルモ其姓名手署ヲ僞書スルニ非サレハ之ヲ爲スコト得
 ス故ニ此處ニ在テハ僞書ノ罪アリ刑法典第一百五十條以下且ツ其手形
 ハ全ク無効タル可ク通常ノ約束書タルノ効モ猶ホ之ヲ有セサル可シ
 但シ其手形ノ賣買ノ効力如何ハ第八百十號ニ論スル所ヲ參看ス可シ
 ○然リ而シテ此等ノ假設ハ假令ヒ此目的ニ出テス又假令ヒ土地ノ條
 件ニ管セサルモ爲替手形ニ瑕疵ヲ附スモノトス故ニ其手形ハ通常ノ
 約束書ト看做サ、ルヲ得ズ且ツ第一百十二條ノ法文ハ動カス可カラサ
 ルモノトス

(第七百二十九號) 此等ノ假設ノ効ハ手形ヲ(通常ノ約束書)ト爲スニ在

リ(第一百十二條)法律ニ於テハ是レ其効ヲ有ス可キ義務ニ非ス又ハ是レ
 民事上ノ義務タルニ過キス等ト云ハス蓋シ其性質ヲ定メサルモノハ
 實際ニ方テ之ヲ量定センコトヲ欲シテナリ商法典ノ草案ニハ其爲替手
 形ハ或ハ約束手形タリ或ハ商業手形タリ或ハ委任證書タルコトヲ得可
 シト云ヘリ(第七百三十號參看)故ニ是レ決シテ爲替手形タルニ非スト
 是レ何人ト雖モ確言スルヲ得ル所ナリ此點ニ付テハ假設ハ必要ナル
 文言ヲ記載セサルコト同一ノ効ヲ生スルモノトス
 又無効ノ純粹ナルコトニ付テハ假設ハ必要ナル文言ヲ記載セサルコト
 同一ナリ何トナレハ手形ニ瑕疵ヲ附スレハナリ故ニ其無効ハ總テノ
 管係人ヨリ之ヲ言立ツルコトヲ得可ク假令ヒ其假設ヲ爲シタル本人又
 ハ附從ト雖モ之ヲ言立ツルコトヲ得可シ
 然レモ假設ハ必要ナル文言ヲ記載セサルコト異ナリ假設ハ何人ニ對

スト雖モ言立ツルヲ得ルモノニ非ス他人ナル善意ノ手形所持人ニ對シ言立ツルヲ得サルモノトス何トナレハ假設ハ必要ナル文言ヲ記載セサルヲ如ク顯明ナルモノニアラサレハナリ

假設ハ證人(民法典第千三百四十八條)及ヒ人ノ思量(民法典第千三百五十三條)等ヲ問ハフ總テノ方法ニ因リ之ヲ證スルヲ得可シ且ツ民法典第千三百四十一條ニ循フキハ證書ニ記シタル所ト異ナリシ事又ハ之ニ記シタル所ヨリ更ニ餘分ノ事ハ之ヲ證人ヲ以テ證スルヲ得サルニ非ヌヤト云フ可カラス蓋シ余輩ハ此規則ハ之ヲ商事上ノ義務ニ適用ス可カラサルモノトス然ルニ此義務ハ往々商事上ノモノタルヲ得可ク又他ノ一方ニ在テハ證書ノ無効ナルヲ證スルヲ觀察セサル可カラス故ニ其効ニ付キ爭アル此證書ハ其爭ニ付キ人ヨリ出サント欲スル所ノ證據ヲ拒絕スルヲ得サルモノトス

第三必要ナル文言ヲ手形ニ記載セサルヲ又ハ假設ニ付テノ無効ハ結果(第七百三十號)先ツ其手形ハ爲替手形ニ非ス故ニ少クモ次ノ三結果ヲ生スルモノトス○第一手形所持人ハ手形支拂人ヨリ手形ノ承諾ヲ得スト雖モ手形振出人ニ對シ保證人ヲ求ムルノ權ナシ此權ハ爲替手形ノ特別ノ結果ニシテ通常義務ノ生セサル所ナリ且ツ此權ハ仮令ヒ通常ノ法式ヲ用ヒタルモ真正ノ爲替手形ニ非サル時ハ決シテ之ヲ生セサルモノトス○第二手形ハ其性質ニ因リ商業上ノモノト看做ス可カラズ(第六百三十二條末項)故ニ往日ニ在テハ拘留ヲ致スヲナク(第六百三十七條)今日ニ在テハ必スシモ商事裁判所ノ管轄タルヲ要セス(第六百三十六條)然レモ若シ通商事務ノ爲メニ發行シタルモノト認めタル時ハ商事裁判所ノ裁判ヲ受クルヲ得可ク且ツ此場合ニ於テハ往日ニ在テハ拘留ヲ致シ(第六百三十七條末項)今日ニ在テハ商事裁判

所ノ管轄タリ(第六百三十六條)又々五年ノ期滿免除チ有ス可シ故ニ此點ニ付テハ約束手形ニ似タルモノトスアロイセー第一千五百五十一ニ曰ク通常ノ約束書ト看做シタル爲替手形又ハ約束手形ハ決シテ○第三登記税ニ管スル爲替手形ノ五年ノ期滿免除チ有セサル可シト○第三登記税ニ管スル爲替手形ノ特許チ受クルヲ得ス(第七百四十五號參看)

然レモ若シ爲替手形ニ非サル時ハ如何ナル證書タリヤ是レ必ス實際上ノ問題タリトハ草案ニ因テ明カナリ則チ偽造ニ係ハル所ノ文言ヲ刪除シ手形ニ殘レル所ノ文言ヲ以テ其證書ノ何タルヲ決定ム可キナリ○故ニ其手形ハ或ハ約束手形タリ例ヘハ手形支拂人ノ身分假設ニ係リ實ハ手形振出人其手形ノ支拂ヲ爲ス可キ者タル時又ハ手形振出人ノ假設ニ係リ手形支拂人其手形ヲ承諾シタル時はレナリ此處ニ在テハ約束手形ノ規則ヲ適用セサル可カラス殊ニ「ボン」又ハ「アップル」ヘ「」ナル語ヲ手記スルニ及ハサル事裏書ニ因リ手形ヲ讓渡ス事拂期

限ニ拒ミ證書ヲ記スルニ因リ裏書人ノ連帶ノ事及ヒ裏書人ニ言立ツルヲ得可キ故障ヲ其讓受人ニ言立ツルヲ得サル事等ニ管スル規則ヲ適用セサル可カラス○又或ハ其手形ニハ三人ノ管係人アルヲ以テ爲替手形ニ似タリト雖モ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送アラサルヲアリ此場合ニ於テハ其手形ハ金高ノ支拂ヲ爲スヲニ付キ手形支拂人ニ與ヘタル委任狀タリ此場合ニ於テハ命令ニナル文言ハ其効チ有ス可キヤ其委任狀ハ裏書ニ因リ之ヲ讓渡スヲ得可キヤ且ツ其裏書ハ裏書タルノ効チ有ス可キヤ此等ノ問題ニ付テハ疑ナキヲ能ハス此等ノ問題ハ命令ニナル文言ハ如何ナル證書ニモ之ヲ記載スルヲ得可キヤ又ハ之ヲ記載スルハ法律ニ於テ此文言ノ記載ヲ許シタル證書ニ止マル可キヤ決定ムルニ在リトス蓋シ一般ノ定説ニ因ルニ此文言ハ法律ニ於テ之ヲ記載スルヲ得可シト云フニ非ラスト雖モ之ヲ記載ス

ルヲ得可ク且ツ其總テノ効ヲ生スルヲ得可シ又余輩ハ既ニ此說ヲ會社ノ株券、勘定書、送狀等ニ適用シタリ故ニ此處ニ在テモ亦之ヲ適用ス可シ○又或ハ其手形ハ預金引出小切手タルノ効ヲ有スルトアリ或ハ商事上又ハ民事上ノ通常ノ證書タルノ効ヲ有スルトアリトス

(第七百三十一號) 法律ニ於テハ日附及ヒ受取タル金高ニ付テノ仮設ヲ明言セサルカ故ニ此二個ノ點ニ付テノ文言ノ假設ハ手形ヲシテ爲替手形タルノ効ヲ失ハシメサルモノトス然ルニ此二個ノ文言ヲ手形ニ記載セサル時ハ其手形ノ無効タルヲ觀察セサル可カラス然レモ此二個ノ點ニ付テノ假設若シ其土地ノ條件ヲ擬スルノ目的ニ出ツル時ハ其手形ハ無効タル可シ蓋シ僞リノ日附ハ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送アラサルヲ隱蔽シ双方ノ無能力ヲ隱蔽スルヲ得可ク又受取タル金高ノ僞リノ記載ハ受取タル品物アラサルト即チ義務ノ原由

アラサルヲ隱蔽スルヲ得可シ此等ノ場合ニ在テハ手形ハ全ク無効タル可ク通常約束書タルノ効モ猶ホ之ヲ有セサル可シ(民法典第千百三十二條)

第二節 隨意ナル條件ノ事

(第七百三十二號) 是レ爲替手形ニ記載セサルヲ得ル處ノ自由ナル文言ヲリ此文言ハ或ハ手形振出人ニ管スルヲアリ或ハ手形支拂人ニ管スルヲアリ又或ハ物件ニ管スルヲアリ

第一○手形振出人ニ管スル自由文言

其一手形振出人ノ命令ニ在ル爲替手形(第十條第八項參看)

此爲替手形ニハ拙者ヨリ拂ヒ出ス可キ金高若干拙者ノ命令ニ御支拂被下度候也ト記載ス○此手形ハ未タ手形受取人アラサルニ際シ手形

支拂人ヲシテ手形ヲ承諾セシメ尤モ容易ニ手形受取人ヲ得ントスル

時又ハ旅行ヲ爲スニ方リ途中ニ於テ金高ヲ得ルコトノ容易トランカ爲
メ或諾濟ノ手形ヲ携帶セント欲スル時之ヲ使用ス蓋シ此等ノ場合ニ
於テハ手形ニ手形受取人、姓名ヲ記載セリルカ故ニ其手形ノ紛失シ
タル時ハ其竊盜ハ唯々之ニ手形受取人、姓名ヲ記入シ贗造ヲ爲スコ
ト亦タ贗造ノ罪ヲ犯スコトナク容易ニ之ヲ己レノ所有ト爲スコト得
ルモノトス

此手形ニハ二人ノ管係人即チ手形振出人及ビ手形支拂人アルノミ第
三ノ管係人即チ手形受取人ニ至テハ第一裏書ノ際ニ非サレハ此手形
ニ管係セサルモノトス

(論)此手形ハ第一裏書前ニ在テモ亦爲替手形タル可キヤ○第一説曰ク
然リ手形振出人自己ノ命令ニ在ル爲替手形ノ真正ノ爲替手形タルコ
トハ第一百十條ニ於テ明カナリト○第二説曰ク否ト(可)利益人ナクモテ爲

替契約アルコトヲ得ス故ニ此手形ヲ爲替手形ト爲スコトヲ得ス○第一百十
條ニ於テハ此手形ニ有効ナル爲替手形ノ萌芽ヲ含包スル旨ヲ示サン
カ爲メ之ヲ爲替手形ト爲シタル故ニ一旦第三ノ管係人ヲ附加シ其條
件ヲ全フシタル上ハ始メヨリ爲替手形ニ必要ナル總テノ條件ヲ備ヘ
サルヲ以テ其手形ハ爲替手形ニ非スト云フコトヲ得スト雖モ未タ利益
人アラサル間ハ之ヲ爲替手形ト云フコトヲ得ズ

此説ニ從フ時ハ次ノ結果ヲ生出ス○第一第一裏書ヲ爲スニ至ル迄ハ
手形ハ全ク商事上ノモノト看做ス可カラズ故ニ往日ニ在テハ承諾人
ナル手形支拂人ニ對シ拘留ヲ言渡スコトナク今日ニ在テハ民事裁判所
ノ管轄タルコトヲ得○第二第一裏書ニハ必ス爲替手形ノ成立ニ必要ナ
ル條件アルコトヲ要ス即チ手形ノ支拂ヲ爲ス可キ場所ニ非サル他ノ場
所ニ於テ其裏書ヲ爲サル可カラズ○第三爲替手形ニ必要ナル條件

即ち此地ヨリ彼地へノ金高ノ移送日附及ヒ受取タル品物ノ記載(但シ其前既ニ手形ニ記載シタル拙者ヨリ拂ヒ出ス可キ金高ナル語ハ決シテ十分ナルモノニ非ス)ハ此際ニ成立スルヲ以テ十分ナリトス
其二他人計算ハ手形振出人

(第百十一條第二項) 又爲替手形ハ他人ノ命令ニ因リ其計算ノ爲メニ之ヲ振出スヲ得可シ

(第七百三十三號) 他人ノ計算ノ爲メ自己ハ名義ニテ爲替手形ヲ振出スヲアリ此場合ニ於テハ四人ノ管係人アルモノトス
本人ノ名義ニテ其事務ヲ管理ス可キ名代人ヲシテ手形ヲ振出シムルヲアリ例へハ商人ノ手代及ヒ其婦ハ其商人ニ代テ爲替手形ニ其姓名ヲ手署スルヲ得可ク尤モ附記スルニ何ハ某ハ委任ニ因リナル數語ヲ以テス可シ此場合ニ於テハ義務ヲ負フ可キ者ハ獨リ其本人タリ故

ニ毫モ通常ノ場合ニ異ナルヲナシ但シ其姓名手署ノ其効チ有ズ可キヤ否ヤニ付テハ故障ナキ能ハス何トナレハ委任ノ有無ニ付キ爭アルヲ得レハナリ是故ニ佛蘭西銀行ニ於テハ此種ノ手形ヲ割引ニ取ラサルモノトス○此處ニ在テハ未タ他人計算ノ手形振出アルニ非ス所謂仲買人ノ如ク其依頼人ヲ明示スルヲナク他人ノ爲メニ手形ヲ振出ス時ハ他人計算ノ手形振出人アルモノトス其依頼人ハ之ヲ手形振出命令ト云フ今茲ニ他人計算ノ爲替手形ヲ振出スニ付テノ利益ヲ述ヘンニ例へハ予ハ予ノ債主中ノ一人ヲシテ予ノ計算ノ爲メニ予ノ負債主中ノ一人ニ向ケ手形ヲ振出サシムルヲ得尤モ手形ノ振出ヲ受ク可キ負債主ニ豫メ其旨ヲ通知シ且ツ其手形ニ用フ可キ記章ヲ通知シ置カサル可カラズ此記章ハ手形振出命令人ノ姓名ナルヲアリト雖ハ之ニ姓名手署ヲ添ヘスト雖モ手形振出命令人ノ姓名ナルヲアリト雖出命令人ノ信用ニ歸スルヲ妨ケサレハナリ是レ双方ノ管係ヲ簡單

ナラシムル爲メタリ又手形振出命令人自カラ其姓名ヲ知ラシメサル
 ノ理由アル時ハ其姓名ヲ手形ニ記載セサルカ爲メタリ殊ニ爲替料ノ
 都合ニ因ルモノトス 別ヘハ里昂ニ負債主チ有スルシエーヌノ銀行里
 昂ニ於テハ爲替ノ相場高クミランニ於テ其相場低キカ故コミラン
 ノ同僚チシテ自己ノ計算ノ爲メ里昂ニ向ケ爲替手形ヲ振出スヲアリ
 或人曰クシエーヌノ銀行ハシエーヌニ於テ自ラ爲替手形ヲ發行シ
 ランノ商人ニ其手形ヲ賣渡スヲ得ルニ非ヤト曰ク是レ是レ時日
 チ要ス可ク且ツ容易ニ其手形ヲ賣渡スヲ得ル可シ何トレハ其
 手形ノ金高ハミランノ商人ノ需用ニ適セサルヲアレハナリ然ルニミ
 ランノ銀行ハ其商人ノ求メニ從ヒ其手 又是レ手形ニ最大ノ信用ヲ附
 形ノ金高ヲ定ムルヲ得ルモノトフ 又是レ手形ニ最大ノ信用ヲ附
 ス可キ爲メ手形ノ流通スル場所ニ著名ナル者チシテ手形ヲ發行セシ
 ムルニ在リトス

他人計算ノ手形振出人ハ真正ノ仲買人タリ故ニ他人ニ對シテハ手形
 振出人ノ如ク看做ス可ク他人ハ其信用ニ從フモノトス 手形振出命令
 人チ手形ニ指

名シタル時ト雖モ同一ナリ何トナレハ他人ハ手形ニ其姓名ヲ手署セ
 サル手形振出命令人チ信用スルヲ得サレハナリ○又手形ノ代價チ
 受取タル者ハ手形振出命令人ナル旨チ手 故ニ若シ手形支拂人手形ノ
 形ニ明記シタル時ト雖モ同一ナリトス 故ニ若シ手形支拂人手形ノ
 拂期限ニ其支拂チ爲サ、ル時ハ自ラ手形所持人及ヒ裏書人ニ對シ其
 責ニ任ス可シ(第百十五條最末參看)○然レモ仲買契約ノ原則ニ循ヒ(第
 五百三十三號參看)双方ノ間ニ在テハ常ニ名代人ニ看做サル可シ故ニ
 自カラ義務チ負フヲナク其本人チシテ義務チ負ハシム可シ此規則ハ
 手形支拂人ニ付テモ亦之ヲ適用ス可ク手形支拂人ニ對シ手形振出人
 義務チ負フ可キ者ハ手形振出命令人タリ手形振出人ハ手形ノ支拂チ
 爲ス可キ金高チ手形支拂人ニ渡ス可ク若シ手形支拂人其金高チ受ク
 ルヲナク手形ノ支拂チ爲シタルニ於テハ手形振出命令人ハ自ラ其訴
 チ受ケサル可カラヌ(第百十五條)往昔ニ在テハ此點ニ付キ議論アリタ
 リ蓋シ然ル所以ノモノハ千八百七年ノ法律ニ於テハ第百十五條ノ文

面ヲ他様ニ記載シタルヲ以テナリ然ルニ千八百十七年三月十九日ノ法律ニ於テハ余輩カ述ヘ來リタル所ノ規則ヲ認許センカ爲メ現今ノ如ク改正ヲ加ヘタリ○又若シ手形支拂人手形ノ承諾又ハ支拂ノ前ニ通知ヲ受ケタル時ハ計算ノ手形振出人ニ對シ訴ヲ爲スヲ得ス但シ手形支拂人ト成テ手形ノ支拂ヲ爲スヲ欲セス計算ノ手形振出人ノ爲メニ干涉シテ(第八百二十五號參看)其支拂ヲ爲シタル時ハ格別ナリトス

第二〇手形支拂人ニ管スル自由文言
其一手形金立替人

(第七百三十四號) 若シ手形支拂人手形ノ支拂ヲ爲ス可キトノ正確ナラサル時ハ手形振出人ハ其場所ニ於テ己レニ代リ手形ノ支拂ヲ爲ス可キ者ヲ指定スレトアリ是レ之ヲ手形金立替人ト云フ手形金立替人

ヲ指定セントスルニハ手形ニ甲、某殿、及ヒ、乙、某殿、ノ立替ニト記スルヲ以テ十分ナリトス
又手形金立替ハ裏書人ヨリ之ヲ指定スルヲアリトス
其二住所支拂人

(第七百三十五號) 是レ手形支拂人ニ非スシニ其住所ニ於テ手形ノ支拂ヲ爲ス可キ者ヲ云フ
(第一百十一條第一項) 爲替手形ハ甲ニ向ケ之ヲ振出乙ノ住所ニ於テ其支拂ヲ爲スヲ得可シ

手形ノ拂期限ニ手形ノ金高ヲ住所支拂人ノ家ニ備フ可キ者ハ手形支拂人タリ故ニ手形支拂人若シ其金高ヲ備ヘサルニ於テハ住所支拂人ハ其支拂ヲ爲サ、ル可シ但シ干涉シテ其支拂ヲ爲スモノハ別段ナリトス(以下參看)○手形ノ支拂ヲ爲ス可キ場所ニ於テハ手形ノ振出ヲ受

ク可キ者ヲ知ラスト雖モ金高ヲ送致シタルニ於テハ其支拂方ヲ擔任
 大可キ者ヲ知リタル時此方法ヲ用フルモノトス
 形發行ノ場所ニ住居
 スルモ手形ノ支拂ヲ爲ス可キ住所其發行ノ場所ト異ナリタ
 ル場所ナル時ハ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送アルモノトス
 ○又手形
 ニ住所支拂人ヲ詳記セス唯々手形支拂人ノ住所ニ非サル場所ヲ指定
 スルニ止マルコトアリ此場合ニ於テハ手形支拂人ノ住所ヲ承諾スルニ方
 リ其支拂ヲ爲ス可キ住所ヲ確定ス可シ
 第百二十三條 手形支拂人其住所ニ非サル他ノ場所ニ於テ其支拂ヲ
 爲ス可キ爲替手形ヲ承諾シタル時ハ其支拂ヲ爲ス可キ住所ヲ附記
 ス可シ

是レ手形振出人手形ノ支拂ヲ爲サント欲スル場所ニ手形ノ振出ヲ受
 ク可キ者ヲ知ラサルニ因リ隣地ノ銀行ニ向ケ手形ヲ振出シ其銀行ヲ
 シテ手形ノ支拂ヲ爲ス可キ者ヲ指定セシムル時ニ之レアルモノトス

又爲替手形ニハ其旨ヲ明記セサルモ手形支拂人ハ拂期日ニ金高ヲ取
 寄スルノ煩勞ヲ省カンカ爲メ其手形ヲ承諾シ其支拂ハ某ノ銀行ニ於
 テ之ヲ爲サシムルモノト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ手形ハ承諾仕候
 但シ何ノ某方支拂ト附記ス可シ此方法ハ專ラ英國ニ行ハル、者トス
 英國ニ於テハ商人ハ總テ其銀行ヲシテ金銀ノ出納ヲ司トラシムルナ
 リ

第三〇物件ニ管スル自由文書

其一通知ニ從ヒ又ハ別段ノ通知ナクナル文言
 (第七百三十六號) 手形ノ拂期限前手形支拂人ニ手形振出ノ旨ヲ通知
 スルト否トニ從テ此文言ヲ記載ス○一般ノ說ニ循フニ若シ手形ニ此
 等ノ文言ヲ記載セサル時ハ手形支拂人ハ必ス通知ヲ受ケタル後ニ非
 カレハ手形ノ支拂ヲ爲スコトヲ得ス尤モ豫メ通知ヲ受クルコトナク手形

ノ振出チ受ケタル事由ノ解ス可キアル時ハ別段ナリトス
其二無費返還

(第七百三十七號) 其文詞ニ於テハ必スシモ無費返還ト認ムルヲ要セ
サル双方ノ黙許ヲ以テスルモ此文言ハ手形所持人ヲシテ手形ノ拂期
日ノ翌日拒ミ證書ヲ記シ十五日内ニ裁判所ニ訴へ出ツルヲ免カレ
シムルモノトス故ニ手形所持人ハ此等ノ法式ヲ履行セサルカ爲メニ
其權利ヲ失フヲナカル可ク且ツ總テノ記名人ニ付キ同一ナリトス何
トナレハ其記名人ハ其姓名ヲ手署シ原ト手形振出人ノ記載シタル此
文言ヲ嘗テ自己ノ所有ト爲シタレハナリ若シ此文言ヲ手形ニ記載シ
時ハ其裏書人及ヒ其後ノ裏書人ニ付テノミ其効チ有ス可キナリ○又
裏書人ハ其裏書中ニ此文言ヲ除去スル旨ヲ記載スルヲ得可ク且ツ
此場合ニ於テハ復タ其後ノ裏書人ニ對シ之ヲ○手形所持人モ亦決シ
言立ツルヲ得ズアローゼー第千四百五十七
テ此等ノ費用ヲ拂フ可カラヌ又假令ヒ之ヲ拂フタルモ擔保人ニ對シ

其償ヲ求ムルヲ得ス

此文言ヲ手形ニ記載スルノ目的ハ費用ヲ避クルニ在リ即チ拒ミ證書
ヲ記スルヲ省キテ以テ手形支拂人ヲ寛フスルモノナリ例ハ義務
者怠リテ其義務ヲ執行セサルニ因リ斷然其支拂ヲ爲サシメンカ爲メ
其者ニ向ケ爲替手形ヲ振出スヲアリ此ノ如キ場合ニ於テハ其者ニ對
シ苛酷ノ處置ヲ爲スヲ欲セザルヲアレハナリ

法律ニ定メタル法式ヲ履行スルヲ避クルカ爲メニ此文言ノ其効チ有
ス可キヤ否ヤニ付テハ疑アルモノ、如シ何トナレハ法律ニ於テハ之
ヲ明言セズ且ツ尙レノ場合ヲ區別スルヲナク其法式ヲ履行セサルニ
於テハ手形所持人ハ其權利ヲ失フ可シト定メタレハナリ然レモ双方ノ
者ハ常ニ明瞭ナル文言ヲ以テ其利益トナル可キ權利ヲ拋棄スルヲ得
得ルモノトセサル可カラ、且ツ千八百五十年六月九日ノ法律第八條

ヲ憑據ト爲スヲ得該條ニ曰ク印紙ヲ用ヒサル手形ニ記載シタル無
 費返還ナル語ハ其効ヲ有セサル可シト故ニ曰ク其他ノ手形ニ記載シ
 タル此文言ハ常ニ其効ヲ有ス可シト然レモ此憑據ハ甚タ有力ナラサ
 ル可シ何トナレハ本法討議ノ際此規則ヲ以テ他ヲ害スルコトナキ旨ヲ
 述ヘタレハナリ蓋シ第一ノ理由ヲ以テ十分ナリトス
 其三數通ニ記シタル爲替手形(第百十條末項參看)

(第七百三十八號) 其數通中ノ一通ニハ此第一手形ノ支拂ヲ爲シ第二
 第三第四ノ手形ヲ御支拂被下間敷候ト記載シ他ノ一通ニハ此第二手
 形ノ支拂ヲ爲シ第一第三第四ノ支拂ヲ御支拂被下間敷候ト記載シ且
 ツ其他ノ各通ニ付テモ同一ノ記載ヲ爲シ一通ノ手形ニ付キ支拂ヲ爲
 シタル上ハ他ノ手形ノ無効ニ屬ス可キ旨ヲ明示ス可シ
 手形ヲ數通ニ記スルコト付テノ利益如何此疑問ヲ爲ス者アル爲シ何ト

ナレハ此數通ノ手形ハ素ヨリ一通ノ爲替手形タルニ過キス且ツ此數
 通ノ手形ハ悉皆之レヲ同一ノ手形所持人ニ渡ス可ケレハナリ又若シ
 然ラサレハ決シテ其數通中ノ一通ヲ受取ル者アラサル可シ何トナレ
 ハ他ノ一通ヲ以テ既ニ手形ノ支拂ヲ受取リタル者アルノ恐レアレハ
 ナリ○然レモ又或ハ數通ノ手形ヲ種々異ナリタル方法ニ因リ或人ニ
 送達シ以テ其紛失ヲ避ケント欲スルコトアリ或ハ一通ヲ以テ手形ノ承
 諾ヲ受ケ他ノ一通ヲ賣買セント欲スルコトアリ又或ハ承諾濟ノ手形ヲ
 紛失センコトヲ恐レ其通用ヲ避ケント欲スルコトアリ此等ノ場合ニ於テ
 ハ支拂ノ場所ノ銀行へ一通ノ手形ヲ送附シ其銀行ヲシテ其手形ヲ承
 諾シ之ヲ預リ置カシメ而シテ他ノ一通ヲ賣買ス此一通ハ實ニ銀行ニ
 アル承諾濟ノ手形ト引替ユヘキ名代手形タルニ過キス其通用ニ備ヘ
 タル手形コトハ何ハ某方ニアル手形ハ第二號ト記載スヘシ手形ノ通常

ノ寫モ亦同一ノ利益ヲ與フルモノトス

裏書人モ亦爲替裏書ノ本文及ヒ其裏書ノ文面ヲ謄寫シ此所ニ至ル迄
謄寫ナリトノ語ヲ附記シ且ツ之ニ其自己ノ裏書ヲ爲シ以テ此利益ヲ
慥ナラシムルヲ得本書ヲ裏書セス又寫ニ於テモ比所ニ至ル迄謄寫
注意スヘシ何トナレハ若シ然ラサレハ本書及ヒ寫ニ
付テノ二人ノ正當ナル手形所持人アルニ至レハナリ
無保證不用承諾ナル文言等ノ如キ其他ノ文言ニ至テハ之カ爲メ變更
ヲ受クヘキ規則ヲ論スルニ方リ之ヲ講究スヘシ

第三節 爲替手形ニ付テノ無能力ノ事

其一〇婦女ノ無能力

第百十三條 公ケノ商人ニ非サル婦女ノ其姓名ヲ手署シタル爲替手
形ハ其婦女ニ付テハ之ヲ通常ノ約束書ト看做スヘシ

(第七百三十九號) 婦女若シ商人ナル時ハ其商業ニ付キ振出シタル爲

替手形ハ全ク其効ヲ有ス可ク其婦女ヨリ振出シタル手形ハ其商事ヲ

原由トスルモノト看做サ、ル可カラズ(第六百三十八條第二項)千八百

六十七年前コ在テハ此手形ニ付テハ拘留ノ言渡ヲ爲スニアリタリ

婦女若シ商人ニ非ス且ツ有夫ノ婦ニシテ其夫ノ許諾ヲ得サル時ハ其

記シタル爲替手形ハ猶ホ通常ノ約束書ニモ非サルヘシ(民法典第二百

十八條第千百二十五條)商人タル時モ亦同一ナリ〇若シ其夫ノ代理トシ

テ手形ヲ記シタル時ハ其夫ヲ義務ヲ負ハシメ自ラ義

務ヲ負ハサルモノトス故ニ手形ハ全ク其効ヲ有スヘシ

商法典ニ於テハ未婚ノ婦又ハ有夫ノ婦ニシテ其夫ノ許諾ヲ得タル者

ヲ假定シ普通法ニアラサル處ノ特別ノ無能力ニシテ單ニ婦女タルノ

性質ヨリ生スルモノヲ規定ス

又商法典ニ於テハ婦女ノ其姓名ヲ手署シタル爲替手形ハ其婦女ニ付

テハ通常ノ約束書ト看做ス可シト云ヒ以テ少クトモ其婦女ヲシテ拘

留ヲ免カレシメンコトヲ欲シタリ千八百三十二年ノ法律第二條ニ於テモ亦公ケノ商人ニ非サル婦女ニ對シテハ決シテ拘留ヲ言渡ス可カラスト定メタリ且ツ此免除ハ爲替手形ニ於テ婦女ノ如何ナル業務ヲ爲スヲ問ハス其婦女ノ手形振出人ナルト手形支拂人裏書人又ハ保證人ナルトヲ問ハス常ニ之ヲ生シタリ然リ而シテ第百十三條ノ効ハ拘留ノ廢止ト共ニ消滅シタルモノトス(千八百六十七年七月二十二日ノ法律(論)烈レハ婦女ニ付キ通常ノ約束書ト看做シタル此手形ハ爲替手形ノ他ノ効ヲ生ス可キヤ○余輩ヲ以テスルニ此手形ハ少クトモ約束手形ノ効ヲ生ス可キモノ、如シ何トナシハ約束手形ニ付テハ婦女ト雖モ十分ニ自ラ義務ヲ負フコトヲ得レハナリ且ツ余輩ハ第百十二條ヲ説明スルニ方リ認許シタリ曰ク爲替手形ヲ通常ノ約束書ト看做ス可シト雖モ若シ其手形ニ約束手形ノ元素アル時ハ之ヲ約束手形ト爲スコト

得可シト是レ即チ此場合ニ云フモノトス○故ニ其手形ハ之ニボン又ハ「アツプル」トナレタル語ヲ手記セスト雖モ其効ヲ有ス可ク、拂期日ニ拒ミ證書ヲ記ス可ク若シ之ヲ記セサルニ於テハ手形所持人ハ其權ヲ失フ可ク又裏書ヲ爲スコトヲ得可ク婦ノ爲シタル裏書ハ連帶ノ義務ヲ生ス可ク又裏書人ニ對スル故障ヲ其讓受人ニ對シ言立ツルコトヲ得サル可シ

然レモ又手形支拂人手形ヲ承諾セサルニ因リ手形所持人ヨリ手形振出人ナル婦女ニ對シ訴テ爲ス事及ヒ商事裁判所ノ管轄ト五年ノ期滿免除トヲ生スル所ノ商事上ノモノト看做ス事等爲替手形ノ特別ナル効ニ至テハ尤モ議論アリトス(論)余輩カ今茲ニ論スル所ノ場合ニ於テハ此等ノ効ヲ生ス可キヤ○第一說曰ク否ナ何トナレハ其手形ハ通常ノ約束書ニシテ(第百十三條)爲替手形ニアラズ是レ宛モ第百十二條ノ

同語ニ付キ世人一般ニ解釋スル所ノ如シ○蓋シ法律ニ於テハ拘留ニ對シ婦女ヲ保護セシメテ欲シタルノミナラス此手形ノ總テノ結果ニ對シ婦女ヲ保護セシメテ欲シタリ何トナレハ婦女ハ商業ヲ爲スルヲ辨セサレハナリ○是レ第百十三條ニ今尙ホ一ノ適用ヲ與フルニ付テノ有一無二ノ方法タリ○第二說曰ク然リ(可)通常ノ約束書ト看做シタル爲替手形ニ付テノ民事裁判所ノ管轄ノ原則ヲ定ムル第六百三十六條ニ於テハ唯第百十二條ヲ明言スルニ止マリ敢テ第百十三條ニ及ハサルモノトス故ニ余輩ヲ以テスル時ハ手形ヲ商事上ノモノト看做スニ付テノ立法官ノ思想ハ此第百十三條ノ場合ニ及ハサルヤ明カナルモノ、如シ○若シ裁判所ノ管轄ニ付キ此ノ如シトスル時ハ五年ノ期滿免除ニ付テモ亦此ノ如クナラセル可カラス又手形支拂人手形ヲ承諾セサルニ因リ手形振出人ニ對シ訴ヲ爲スルニ付テモ亦素ヨリ他ノ

決定ヲ爲スノ理由アラサル可シ○又深ク其事實ヲ考フル時ハ第百十二條ノ場合ト第百十三條ノ場合トハ大ナル差異アルモノトス第百十二條ノ場合ニ於テハ爲替手形ニ必要ナル元素ヲ缺クモノトス然ルニ此處ニ在テハ一モ元素ヲ缺クナク且ツ婦女ノ完全ナル承諾アリ其承諾ハ普通法ニ於テハ其婦女カ履行セント欲スル所ノ總テノ義務ヲ生ス可ク且ツ假令一個ノ商業ニテモ同一ナリ然ルチ何カ故ニ此處ニ在テハ其承諾ハ更ニ其効ヲ生セサル可キヤ○第百十三條ハ婦女ヲシテ拘留ヲ免カレシムルニ付キ甚々重大ナル効ヲ有シタリ決シテ他ニ其効ヲ探求スルヲ要セス蓋シ法律頒布ノ際ニ在テハ無用ノ箇條アリト云フヲ得スト雖モ其後ノ改正ニ因リ箇條ノ其用ヲ失フコトハ往々之レアルモノトス

其二○幼者ノ無能力

(第百十四條) 商人ニ非サル幼者ノ其姓名ヲ手署シタル爲替手形ハ其幼者ニ付テハ其効ナカル可シ但シ双方ノ權利ハ民法典第千三百十二條ニ循ヒ之ヲ定ム可シ

(第七百四十號) 商人ナル幼者ハ其商業ニ管スル爲替手形ヲ振出スルニ付キ十分ナル權利ヲ有ス可ク(第二條)又余輩ハ之ニ第六百三十八條第二項ノ思量即チ商人ノ其姓名ヲ手署シタル手形ハ其商業ニ管スルモノナリトノ思量ヲ適用ス可シ何トナレハ余輩既ニ之ヲ説明シタル如ク(第八十七號)幼者カ日常其商業ニ従事スルモノハ其手形ハ其商業ニ管スルモノナリトノ陳述ニ外ナラサル可ク且ツ此ノ如キ陳述ハ其身分ヨリ生ス可ク且ツ此ノ如キ思量アルニ因リ若シ反對ノ證アル時ハ自ラ其證ヲ立テサル可カラサレハナリ
商人ニ非サル幼者ニ付テハ第百十四條ニ曰ク其姓名ヲ手署シタル爲

替手形ハ其効ナカル可シト故ニ其手形ハ通常ノ約束書ニモ非サル可シ實ニ幼者ハ假令ヒ民事上ニ於テモ其後見人ノ許諾ヲ得ルニ非サレハ自ラ義務ヲ負フヲ得サル者トス故ニ幼者ハ第百十三條ニ云フ處ノ婦女ヲ以テ論ス可キ者ニ非ス有夫ノ婦ニシテ其夫ノ許諾ヲ得サル者ト同一視ス可キ者トス○本條ニ於テハ双方ノ權利ハ民法典第千三百十二條ニ循テ定ム可キモノトス蓋シ該條ニ循フ時ハ幼者ト雖モ其利益ト爲シタル部分ニ付テハ自カラ義務ヲ負ハサル可カラズ尤モ其利益ト爲シタル證ハ其相手方ヨリ之ヲ立ツ可ク又其相手方ハ爲替手形ニ記載シタル貨物ヲ以テ其證ト爲スヲ得ス
商人ニ非サル幼者其後見人ノ許諾ヲ得テ爲替手形ヲ振出シタル時(是レ甚々稀ナリ)又ハ後見ヲ免カレタル幼者其家事ノ爲メニ爲替手形ヲ振出シタル時ハ手形ハ其効ヲ有ス可シ但シ此等ノ場合ニ於テモ余輩

ハ 第一百十三條ニ付キ認許シタル所ノ説ヲ適用セン故ニ其手形ハ爲替手形ノ總テノ効ヲ生スルモノトス但シ往日ニ在テハ有夫ノ幼女ニシテ其夫ノ許諾ヲ得タル者又ハ未婚ノ幼女ヲシテ拘留ヲ受ケシムルヲナカリシナリ

若シ幼者ノ其姓名ヲ手署シタル爲替手形之ヲ其丁年ノ後ニ確認シタル時ハ其手形ハ完全ノ爲替手形タル可シ

(第七百四十一號) 治産ノ禁ヲ受ケタル者ニ付テハ其者ノ姓名ヲ手署シタル爲替手形ハ普通法ニ循ヒ常ニ其効ナカル可シ民法典(第五百二條)○又裁判所ヨリ輔佐人ヲ受ケタル者ハ其輔佐人立會ノ上ニ非ハレハ法律ニ適シテ爲替手形ヲ振出スヲ得ス何トナレハ其者ハ財産ヲ讓與スルノ權ヲ有セサレハ(民法典第四百九十九條及ヒ第五百十三條)自ラ義務ヲ負フヲ得スト爲サ、ル可カラサレハナリ

(第七百四十二號) 總論二題

其一○此等ノ無能力ノ効ハ其無能力者ニ付テハ爲替手形ニ付キ如何ナル業務ヲ爲スヲ問ハス即チ手形振出ハナルト手形支拂人裏書人又ハ保證人ナルトヲ問ハス常ニ之レヲ生ス可シ

其二○無能力ノ効ハ全ク人ニ管スルモノトス故ニ無能力者ニ付テハ之ヲ生ス可シト雖モ其爲替手形ニ姓名ヲ手署シタル其他ノ者ニ付テハ決シテ之ヲ生スルヲナカル可シ是レ即チ第一百十三條ニ記載シタル其、婦女ニ付テハ、ナル語ノ權理タリ(民法典第百二十五條)○然レモ其無能力者ヨリハ何人ニ對スト雖モ之ヲ言立ツルヲ得可ク且ツ假令ヒ他人ナル善意ノ手形所持人ニ對スト雖モ之ヲ言立ツルヲ得可シ蓋シ第一百十三條及ヒ第一百十四條ノ法文ハ確乎タルモノトス○其他是レ無能力ノ通常ノ効タリ蓋シ爲替手形ニ付テハ此効ハ甚タ苛酷ナル

カ如シ何トナレハ手形所持人ハ其前手形ニ其姓名ヲ手署シタル者ヲ
悉皆詳密ニ知ルヲ得サレハナリ然レモ又一方ニ在テハ若シ此ノ如
クナラサレハ無能力者ヲ保護スルノ効ナキモノトス

第四節 税則

(第七百四十三號) 爲替手形ニ付テハ二種ノ税アルモノトス即チ印紙
税及ヒ登記税是レナリ
第一〇印紙税

爲替手形ノ印紙税ハ其手形面ノ金高ニ應シテ之ヲ支拂フ可キモノト
ス此印紙税ハ初メ千八百五十年六月五日ノ法律第一條ニ於テ之ヲ制
定シ爾後千八百七十一年八月二十三日ヲ法律第二條第一ニ於テ之ヲ
二倍シ千八百七十四年二月十九日ノ法律第三條ニ於テ之ヲ三倍シタ
リ故ニ現今ニ在テハ千フランクニ至ル迄ノ金高ニ付テハ百フランク

又ハ百フランクノ分數毎ニ十五サンチムタリ即チ千フランクニ付
キ一フランク五十サンチムタリ又千フランク以上ノ金高ニ付テハ
千フランク毎ニ差異アルノミ即チ千フランク又ハ千フランクノ分數
毎ニ一フランク五十サンチムヲ増加ス可シ故ニ千一フランクノ爲
替手形ニ付テハ二千フランクノ爲替手形ト同額ノ印紙税ヲ拂フ可キ
モノトス

爲替手形ヲ數通ニ記シタル場合ニ於テハ其中ノ一通即チ第一號ノミ
ヲ印紙ニ記ス可ク千八百五十年ノ法律第十條其他ノ數通ハ印紙ニ記
セスト雖此之ヲ登記スルヲ得但シ他ノ一通モ亦之ヲ適用セシメン
ト欲スルキハ別段ナリトス

此印紙税ハ佛蘭西ノ一ノ場所ヨリ他ノ一ノ場所ニ向ケタル爲替手形
ニ付キ之ヲ支拂フ可キノミナラス佛蘭西ヨリ外國ニ向ケタル爲替手

形又ハ外國ヨリ佛蘭西ニ向ケタル手形ニ付テモ亦之ヲ支拂フ可キモノトス(千八百五十年ノ法律第三條及ヒ第九條)外國ヨリ佛蘭西ニ向ケタル爲替手形ニ付テハ其記製ノ際ニ佛蘭西ノ印紙ヲ貼用スルヲ得サルカ故ニ手形ヲ佛蘭西國內ニ於テ使行スル前ニ佛蘭西證券印紙ヲ之ニ貼附セサル可カラス(千八百五十年六月十一日ノ法律)○又外國ヨリ外國ニ向ケ振出シ佛蘭西國內ニ通用スル爲替手形ニ付テハ千八百五十年ノ法律ニ於テハ印紙稅ヲ拂フヲナカリシカ千八百七十一年ノ法律ハ此手形ヲシテ其法律ニ定メタル稅ニ循ハシメ以テ銀行ノ大店カ外國ニ向ケタル手形ヲ振出サシム可キ爲メ佛蘭西ノ國境外ニ其手代ヲ置クカ如キ詐僞ヲ矯正シタリキ然レモ又千八百七十四年ノ法律第三條ニ於テハ新增稅ノ一ニ付キ判然此手形ヲ取除タリ故ニ此手形ニ付テハ千八百五十年ノ法律ニ因リ定メタル印紙稅ノ二倍即チ百フラン

ソクニ付キ十サンチム千フランクニ付キ一フランクノ印紙稅ヲ拂フニ止マルモノトス

此等ノ法律ノ罰則ハ常ニ千八百五十年ノ法律中ニ定メタル罰則タリ即チ手形振出人受取人及ヒ承諾人ニ付テハ手形ノ金高百分ノ六ノ罰金タリ(千八百五十年六月五日ノ法律第四條)且ツ連帶シテ此罰金ヲ拂フ可キモノトス故ニ或ハ百分ノ十八ヲ拂フヲアル可シ(第六條)○印紙ヲ用ヒサル手形ヲ受取タル者及ヒ渡シタル者ニ付テモ亦同一ノ罰金タリ但シ連帶ノ義務ナシ(第七條)○一ノ他ノ罰アリ其罰タルヤ手形ノ支拂ヲ受取ラサル時其要償ノ訴ヲ爲スニ付テノ制限ヲ以テ成ルモノトス(第五條)余輩ハ要償ノ訴ヲ講スルニ方リ之ヲ論ス可シ○又最終ノ罰ハ手形ニ附記シタル無費返還ナル文言ヲ無効ト爲スニ在リ蓋シ此文言ハ手形ヲ裁判所ニ出ストチ免スカ故ニ往々詐僞ヲ行フノ媒介ト

成ルモノトス(第八條)

爲替手形ニハ此重税アルカ故ニ其金高ノ支拂ヲ爲シタル際ニ拂フ可
キ受取證書ノ印紙税十(サンチーム)ヲ拂フニ及ハス(千八百七十一年八
月二十三日ノ法律第二十條第一)及ヒ賣買シ承諾シ又ハ受授ス可キ手
形ノ受取證書ニ付キ一ノ印紙税ヲ拂フニ及ハス(千八百七十二三年三月
三十日ノ法律第四條)

(第七百四十四號) 千八百七十四年二月十九日ノ法律ハ其第四條ハ於
テ印紙税ノ一ニ付キ(賣買スルヲ得ス其他其法式ノ何タルト其名稱
ノ何タルトヲ問ハス此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送ヲ爲ス爲メニ用フ
ル證券、義務券、代權證書、及委任證書)ヲ爲替手形ト同一視シタリ蓋シ該
條ノ目的ハ大ナル金高ニ付テハ爲替手形又ハ約束手形ノ總テノ條件
ヲ備ヘスト雖モ其効用ニ至テハ此等ノ手形ト同一ナル可キ證書ヲ記

以テ成ル所ノ詐偽ヲ防クニ出タリ此等ノ證書ハ記名ナルヲ常トス故
ニ之ヲ裏書スルヲ得ス故ニ該條ニ於テハ賣買スルヲ得サル證書
ヲ規定シタルモノトス

該條ニ列記シタル證書ノ例ヲ舉ンニ○命令ニナル文言ヲ記載スルヲ
ナク唯、金、若干、何、ノ、某、ニ、御、拂、可、申、上、候、ト、記、シ、タ、ル、證、書、ハ、即、チ、賣、買、ス、ル
ヲ、得、サ、ル、證、書、タ、リ、○金、若、干、何、ノ、某、ヨ、リ、儘、ニ、受、取、申、候、又、ハ、金、若、干、何
ハ、某、ニ、御、拂、可、申、上、段、確、認、仕、候、ト、記、シ、タ、ル、證、書、ハ、即、チ、賣、買、ス、ル、ヲ、得
サ、ル、義、務、券、タ、リ、○何、ノ、某、ニ、代、リ、金、若、干、御、支、拂、被、下、度、候、ト、記、シ、タ、ル、證
書、ハ、即、チ、賣、買、ス、ル、ヲ、得、サ、ル、代、權、證、書、タ、リ、○又、命、令、ニ、ナ、ル、文、言、ヲ、記
載、ス、ル、ヲ、ナ、ク、金、若、干、何、ノ、某、ニ、御、支、拂、被、下、度、候、ト、記、シ、タ、ル、證、書、ハ、賣、買
ス、ル、ヲ、得、サ、ル、委、任、證、書、タ、リ、此、委、任、證、書、ハ、全、ク、爲、替、手、形、ニ、異、ナ、ラ、ス
唯、々、命、令、ニ、ナ、ル、文、言、ノ、記、載、ナ、キ、ノ、ミ

此等ノ證書ハ爲替手形ト同一ノ印紙税ニ循フ可シ尤モ此地ヨリ、彼地
ヘ、ハ金高ノ移送ヲ含包スル時ニ限ル可シ

法律ニ於テハ此等ノ證書ヲ唯例トシテ示シタルノミ且ツ其文体ノ甚
タ一般ナル所以ノモノハ此等ノ證書ニ類似スル總テノ證書ヲ含包ス
ルニ在リ果シテ然ラハ他ノ一方ニ在テハ其類似ノ至ル所ト其類似ノ
止マル所トヲ知ルヲ甚々難カル可シ余輩ハ今茲ニ其規則ヲ示サント
ス余輩ヲ以テスルニ此規則ハ第四條ノ法文ヨリ出ルモノ、如シ則チ
此地ヨリ、彼地ヘ、ハ金高ノ移送ヲ目的トシ、支拂ノ方法トシテ手形受取
人ニ渡シ、其受取人ヨリ支拂人ニ差出ス可キ證書ハ則チ之ヲ爲替手形
ト同一ノモノトス○故ニ支拂ヲ爲ス可キ者ニ郵便又ハ電信ヲ以テ送
達シタル拂方命令狀ハ第四條ノ管セサル所タリ何トナレハ此命令狀
ハ支拂ヲ受ク可キ者ニ渡サ、レハナリ○又第四條ハ信用手形ニ之ヲ

適用ス可ラス(是レ説明者ナルマチニ、ボデー氏カコッテン氏ニ答ヘタ
ル所ナリ)何トナレハ信用手形ニハ支拂ヲ得可キ金高ノ最高點ヲ
記スルノミニシテ支拂フ可キ金高ヲ示、サレハナリ且ツ此手形ノ持
主ハ一通ノ手形ヲ以テ一ノ銀行又ハ多クノ銀行ヨリ數度金高ノ支拂
ヲ受クルヲ得レハナリ○又説明者ノ述フル處ニ因レハ第四條ハ金
高取立ノ爲メ商人ヨリ他ノ地ヘ向ケ送達シタル勘定書ニ之ヲ適用ス
可カラス蓋シ此所ニ在テハ遠隔ノ地ヘ金高ノ移送アルヤ論ヲ待タサ
ルナリ然レモ其目的ハ金高ノ遞送ニ代ユルカ爲メナラスシテ其受取
ル可キ金高ノ支拂ヲ得ルニアレハナリ

第二〇登記税

(第七百四十五號) 爲替手形及ヒ約束手形ニハ三個ノ特典アリ

第一税額ニ付キ○共和曆第七年(一八九二年)三月二十二日ノ法律第七十條

第三節第十五ニ循フニ爲替手形ニハ登記税ヲサリシナリ千八百十六年四月十六日ノ法律第五十條ニ於テハ百フランクニ付キ二十五サソチームノ登記税ヲ課シタリ現今ニ在テハ千八百七十二年二月二十八日ノ法律第十條爲替手形ハ約束手形ト等シク百フランクニ付キ五十サソチームノ登記税ヲ拂フ可キモノトス然ルニ其他ノ證券ハ総テ百フランクニ付キ一フランクノ登記税ヲ拂フ可シ(共和曆第七年アリメール三十二日ノ法律第六十九條第三節第三)

第二徴収ニ付キ○此税金ハ手形ノ記製ノ際ニ之ヲ徴収スルニ非ス手形支拂人手形ノ承諾又ハ其支拂ヲ拒ミタルニ因リ裁判所ニ訴ヘ出テントスル時ニ之ヲ徴収スルモノトス(千八百十六年四月二十八日ノ法律第五十條及ヒ千八百七十二年二月二十八日ノ法律第十條)故コ手形ハ登記ニタルコ非スト雖ル之ヲ公正ノ證書即チ拒ミ證書中ニ記入ス

ルコチ得是レ原則ノ尤モ大ナル取除ナリトス

第三爲替手形ニ付テハ裏書ニ付キ所有權移轉税ノ免除アリ及ヒ支拂ニ付キ受取證書税ノ免除アリトス(共和曆第七年アリメール三十二日ノ法律第七十條第三節第十五)

第二款 爲替手形ノ讓渡ノ事

第七百四十六號) 爲替手形ハ命令ニナル文言ノ記載アル總テノ證書ト等シク裏書ニ因リ之ヲ讓渡ス可シ故ニ余輩カ今茲ニ論述スル所ノ論理ハ命令ニナル文言ノ記載アル總テノ證書ニ之ヲ適用ス可シ即チ○第一爲替手形(第三百三十六條)○第二約束手形(第八十七條)約束手形ハ民事上ノ原由ニ付テモ亦之ヲ振出スコチ得(第六百三十六條)由是觀之命令ニナル文言ハ必シモ商業手形ニ記載スト定マリタルモノニ非ス○第三船又ハ積荷ヲ引當品トシテ金高ヲ借入ルハ契約書(第三百十

三條)此契約書ハ之ヲ授受賣買スルヲ稀レナルモノトス何トナレハ未
 必ノ條件ニ管スルヲ極メテ甚シケレハナリ○第四積荷目録(第二百八
 十一條積荷目録ニハ命令ニナル文言ヲ記載スルモ記載セサルモ隨意
 ヲリ)○第五共同倉庫ハ荷物受取證書及ヒ預リ證書(千八百五十八年三
 月二十八日ノ法律第三條)○第六預金引出小切手(千八百六十五年六月
 十四日ノ法律第一條最末)此小切手ニ付テモ亦命令ニナル文言ハ之ヲ
 記載スルモ記載セサルモ隨意タリ○其他法律ニハ之ヲ明定セスト雖
 モ慣習ニ因リ此文言ヲ記載スルモノアリ○第七運送狀運送狀ハ積荷
 目録ノ類似ヲ以テ之ヲ論ス可シ○第八保險契約書○第九勘定目録(第
 四百四十二號參看)○第十會社ノ株券及ヒ義務券(第二百三十八號參看)
 命令ニナル文言ハ手形ニ何ノ某ノ命令ニ御支拂可被下候又ハ何ノ某
 又ハ其命令ニ御支拂可被下候ト記載スルヲ以テ成ルモノトス此文言

ノ記載アルニ於テハ手形支拂人ハ手形ノ拂期限ニ適法ノ裏書ニ因リ
 其手形ヲ所持ス可キ者ニ其支拂ヲ爲ス可シ又此命令即チ手形ノ所有
 權ヲ自由ニ處分スルヲ得ルノ權ハ裏書ニ因リ之ヲ讓渡ス可シ故ニ
 命令ナル語ハ手形ノ所有權ナル語ト同意タリ又或ハ裏書ノ意タルヲ
 アリ(第三百三十八條參看)

或人曰ク命令ニナル文言ハ法律ニ於テ之ヲ記載スルヲ明許シタル
 證書ニ非サレハ之ヲ記載スルヲ得スト然レモ總テノ證書即チ余輩
 カ上ニ述ヘ來リタル證書ニノミナラス其他何種ノ證書ニモ此文言ヲ
 記載セルヲ得可シト爲スモノハ今日ニ在テハ殆ト一般ノ定説タリ
 ○蓋シ此文言ハ決シテ禁法ノモノニ非ス唯、此文言ヲ手形ニ記載シタ
 ル者ハ民法典第千二百九十五條ニ定ムル所ノ權利ノ讓渡ヲ豫メ承諾
 シタルノミトス○故ニ是レ法律ニ禁セサルノ諸件ハ法律ニ許シタリ

ト云フヲ得可キ場合ナリトス裏書ニ三種アリ○第一所有權移轉裏書即チ規則ニ適ヒタル裏書○第二名代委任裏書即チ規則ニ適ハサル裏書○第三擔保裏書即チ買戻裏書是ナリ

第一節 所有權移轉裏書

第三百三十六條 爲替手形ノ所有權ハ裏書ヲ以テ之ヲ移ス可シ

(第七百四十七號)

此簡單ナル法式ハ通常權利ノ讓渡カ他人ニ對シ其

効チ有スルニ必要ナル條件即チ被讓入ナル義者ニ其讓渡ノ旨ヲ告知シタルヲ又ハ公正ノ證書ヲ以テ其讓渡ノ旨ヲ承諾シタルヲ(民法典第一千六百九十條)ニ代ルモノトス蓋シ故アリ何トナレハ授受賣買スルヲ得ヘキ手形ハ急速且ツ屢其授受賣買ヲ爲スモノトス然ルニ若シ其都度此等ノ法式ヲ履行ス可キモノトスル時ハ大ニ無雜ヲ生ス可ク且其手形ヲ讓渡シタル各人ハ其支拂ヲ擔保スヘキ者ナルカ故ニ其各

人ニモ亦讓渡ノ旨ヲ告知セサル可カラス然ルニ是レ決シテ爲スト能ハサルナリ其他手形ノ各記名人ハ命令ニナル文言ヲ承諾シタルカ故ニ定マリタル一人ニ對シ義務ヲ負フ者ニ非ス何人ヲ問ハス手形ノ拂期限ニ其手形ノ正當ナル持主タル者ニ對シ義務ヲ負フ可キ者トス其他通常ノ讓渡即チ雙方ノ間ニハ唯一ノ合意アルノミヲ以テ手形ヲ讓渡ストヲ得(民法典第一千五百八十三條)且ツ若シ其原由商事ナル時ハ商事上ノ方法ニ因リ其旨ヲ證スルヲ得○然レモ此讓渡ハ他人ニ對シ其効チ有セサル可ク又裏書ノ其他ノ効チ生セサル可シ(第七百五十三號及ヒ第七百五十四號參看)

第一〇裏書ノ法式

ナル文言

本節分ツテ之ヲ三トス○第一裏書ノ法式○第二裏書ノ効○第三隨意

(第七百四十八號) 裏書ノ旨ハ手形ニ之ヲ記載セサル可カラス且ツ其名ニ示スカ如ク手形ノ裏面ニ記載スルヲ常トス又或ハ手形ノ表面ヨリ爲シ始ムルコアリ又若シ其裏面ニ餘地ナキニ至リタル時ハ手形ニ添紙ヲ爲シ之ニ裏書ヲ爲スコアリ但シ此添紙ハ之ヲ手形ノ裏面ノ續キト看做ス可キ一ノ添紙ニ代フルニ他ノ添紙ヲ以テスルコト防ク可形ノ主タル件々ヲ記載セサル可カ

○裏書ノ旨ヲ手形ニ記載スルコトハ緊要ノ法式タリ此法式ヲ用ヒサルニ於テハ其用タル法式ノ何タルチ問ハス民法上ノ讓渡タルニ過キス故ニ民法典第六百九十條以下ノ法式ニ循フ可ク且ツ其効ヲ生ス可シ

○ロシレ商法精理第二卷第四百三十一丁バルド第三百四十三條第三四五〇反說又ウギユ第四百十四ベダリ第二〇八十九條ロズ第三百六十七アローゼ第一千三百四十四〇此等ノ諸家ハ法律ニ明文アラサルニ憑據シテ曰ク法律ニ於テハ裏書ノ旨ハ手形ニ之ヲ記載ス可キト明言セズト然レモ之ニ答フルニ裏書ノ名ハ之ヲ明示ス

又若シ之ヲ手形ニ記載セサルモノトスルハ第三百三十六條ニ定メタル文言ハ全ク不十分ナル可ク又慣習ハ此條件ヲ確認シタリ且ツ義務者ハ慣習ニ適シテ手形ヲ所持スル者ニ對スルニ非サレ

○裏書ハ必スハ決シテ義務ヲ負フコトナント云フヲ以テスルコトヲ得

書付タルコトヲ要ス可キヤト問フ者アラサル可シ蓋シ其書付タルコトハ其義解ニ因テ明カナレハナリ

今茲ニ裏書ノ文例ヲ示サンコト即チ左ノ如シ

何品ニテ受取タル金高何ノ某ノ命令ニ御支拂可被下候

一千八百七十四年三月九日

何ノ某手署

第七百四十九號) 裏書ニ必要ナル種々ノ文言ハ第三百三十七條ニ之ヲ列記ス

第三百三十七條 裏書ニハ日附ヲ記ス可シ

又裏書ニハ之ガ爲メニ受取タル品物ヲ記載ス可シ

又裏書ニハ手形ノ所有權ヲ讓リ受ケタル者ノ姓名ヲ記載ス可シ

故ニ裏書ニハ左ノ文言ヲ記載ス可シ

第一(第三百三十七條ニハ之ヲ明言セスト雖モ)讓渡人即チ裏書人ノ姓名其姓名ハ裏書ノ姓名手署ニ因リ之ヲ示スナリ○此姓名手署ニ添フルニ「ボン」エ「アツナルーベ」ナル語ヲ以テスルヲ要セス(民法典第千三百二十六條)何トナレハ此處ニ在テハ民法典第千三百二十六條ニ言フ所ノ證券アルニ非ス唯其前既ニ成立シタル債主權ノ讓渡アルニ止マレハナリ其他裏書中ニハ金高ヲ記載スルヲ要セサルモノトス

第二讓受人ノ姓名

或ハ此讓受人ヲ稱シテ「アノドサテール」裏書ヲ受ケタル者ト云フ

第三手形ノ所有權ノ移轉即チ手形ハ讓受人ノ所有トナリタリ其讓受人ハ新タニ裏書シテ之ヲ他人ニ讓渡スルヲ得可シトノ旨チ手形ニ記載スル事○千六百七十三年ノ法令ニ於テハ裏書ハ爲替手形ト等シク

記名タルヲ得タリ故ニ一旦此種ノ裏書ヲ爲シタル上ハ復タ新裏書アルヲ得サリシナリ然ルニ商法典ニ於テハ裏書ノ記名タルヲ廢シタリ何トナレハ商法典ニ於テハ爲替手形ノ常ニ融通ノ機關タルヲ欲シタレハナリ

第四受取タル品物ノ記載○此記載ハ爲替手形ノ記製ノ際ト等シク此裏書ニ付テハ如何ナル取引アリタリヤ又此取引ニ付テハ如何ナル保證アリヤヲ明示スルカ爲メニ必要ナリトス加之此處ニ在テハ此記載ハ裏書ノ單ニ委任ノ名義ニ止マラサル旨チ示スカ爲メニ必要ナリ然レモ又實際ニ於テハ此記載ヲ重要ノモノトセス往々之ヲ輕視スルノ風アルヲ觀察セサル可カラス○又此記載ハ爲替手形ノ發行ノ際ニ記載スルヲ得可キ總テノ方法ヲ以テ之ヲ記載スルヲ得可シ(第百十二條第七百二十六號參看)

第五日附○日附ハ裏書人ノ能力如何ヨリ生スルヲ得可キ難問ヲ決スルカ爲メニ必要タリ然レモ日附ニ附加スルニ其裏書ヲ爲シタル場所ノ記載ヲ以テスルヲ要セス何トナレハ裏書ニハ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送アルヲ要セサレハナリ但シ爲替手形カ手形振出人自巳ノ命令ニアル場合ハ別段ナリ此場合ニ於テハ余輩既ニ之ヲ論シタル如ク其第一裏書ニハ此地ヨリ彼地ヘノ金高ノ移送アルヲ要スルモノトス

日附ヲ附記セサル裏書ハ假令ヒ他ノ方法ニ因リ其日附ヲ證明スルヲ得ルモ手形ノ所有權ヲ移轉ス可キ裏書ノ効ヲ有セサル可ク(第三百十八條參看)且ツ裏書ニ實ヨリ前ノ日附ヲ記スルヲ付テハ法ニ嚴罰アルモノトス
第三百十九條 裏書ニ實ヨリ前ノ日附ヲ記ス可カラズ若シ違フ時ハ

贋造ノ罰ニ處ス可シ

(第七百五十號) 是レ贋造ノ罰ノ推シ廣メナリ(業既ニ千六百七十三年條ニ於テ之何トナレハ贋造ニ付テハ一般ニ證書ノ偽造又ハ他人ノ志意ノ變更アルヲ要スルモノトス)刑法典第四百七條故ニ證書ノ本人カ自カラ其證書ニ爲シタル所爲ハ常ニ之ヲ贋造ト爲スヲナケレハナリ

其他贋造ノ罰ヲ適用セントスルコハ奸計ト損害ヲ生スルヲ得ルヲトアラサル可カラス此規則ヲ明記ス可シト主張シタル者アリ然レモ此規則ハ刑法ノ一般原則ヨリ生ス可キモノトシ終ニ之ヲ明記セサリシナリ故ニ若シ裏書其實ノ日附ニ於テ其効ヲ有ス可キ時ハ決シテ贋造ノ罰ヲ適用ス可カラス何トナレハ此場合ニ於テハ他人ニ損害ヲ及ホスヲナケレハナリ○此場合ニ於テハ裏書ハ其効ヲ有ス可キヤ曰ク

然リ何トナレハ法律ニ於テハ實ヨリ前ノ日附ハ自ラ無効ノ原由タリト云ハサレハナリ尤モ他ノ無効ノ原由ヲ包含スルキハ別段ナリ此場合尤モ居多ナリ若シ數多ノ裏書ヲ無文ニテ爲シタル時ハ其裏書ニ文言ヲ記入セントスル者ハ之ニ適功ナル日附ヲ記スルヲ得サル可シ〔論〕第百三十九條ハ爲替手形ニ記載シタル實ヨリ前ノ日附ニ之ヲ適用スルヲ得可キヤ○或人曰ク之ヲ適用ス可キヤ素ヨリ論ヲ待タサルナリト○然レモ余輩ハ之ヲ認許セサル可シ何トナレハ間ハ類似ヲ以テ之ヲ推及スルヲ得ス且ツ第百三十九條ニ於テハ唯裏書ヲ云フニ止マレハナリ○且ツ此處ニ在テハ實ヨリ前ノ日附ヲ記スルヲハ左ノミ危険ナラサルモノトス蓋シ破産ヲ爲スニ際シタル者ト雖ト其裏書シテ讓渡ス可キ手形ニ付テハ容易ニ其讓受人ヲ得ルヲ得可シト雖モ新タニ發行ス可キ手形ニ付テハ其受取人ヲ求ムルヲ尤モ難カル可

シ何トナレハ其裏書シテ讓渡ス可キ手形ノ支拂ニ付テハ前記名人ノ保證アリト雖モ其新タニ發行スル手形ニ付テハ其受取人ハ振出人ノ姓名手署ノミヲ以テ自ラ是レリトモサル可カラス且ツ手形ニ實ヨリ前ノ日附ヲ記スルヲハ却テ他人ノ不信ヲ來タスノ原由トナル可ケレハナリ

又裏書ニハ「ロキユスレシト、アクトム」ナル規則ヲ適用モサル可カラズ故ニ裏書ハ之ヲ爲シタル土地ノ法律ニ適スルヲ以テ十分ナリトス但シ許多ノ法律ニ於テハ手形ノ裏面ニ裏書人ノ姓名手署アルヲ以テ十分ナリトセリ

〔第七百五十一號〕（論）拂期限ノ後ニ手形ヲ裏書スルヲ得可キヤ曰ク若シ手形所持人讓渡ス可キ權利ヲ有スルニ於テハ假令ハ拂期限ノ後ト雖モ手形ヲ裏書スルヲ得可シ即チ或ハ手形所持人拒ミ證書ヲ

記シ其証ヲ爲スノ權ヲ保存シタルニ因リ或ハ手形ニ無費返還ナル文言ノ記載アルニ因リ或ハ手形振出人手形所持人ニ準備ヲ渡シ置カサリシニ因リ又或ハ承諾人ナル手形支拂人其手形ノ支拂ヲ爲スヲ欲セサリシト雖モ資方ヲ有スルニ因リ猶ホ証ヲ爲シ手形ノ金高ヲ請求スルヲ得可キニ於テハ假令ヒ拂期限ノ後ト雖モ手形ヲ裏書スルヲ得可シ蓋シ此等ノ場合ニ於テハ何カ故ニ民法上ノ法式ニ循フ可シトス可キヤ命令ニナル文言ハ常ニ手形ニ記載シ在リ且ツ別ニ手形ノ拂期限ニ至リタル時ハ此文言ノ効ナカル可シト明言スル所ノ規則アラサルニ非スマ○此場合ハ外國人ナル手形ノ所持人ノ爲メニ屢之レアリタリ外國人ナル手形所持人手形ノ拂期限ニ外國人ナル義務者ヨリ手形ノ支拂ヲ受取ラサル時ハ佛蘭西人ニ其手形ヲ裏書ス蓋シ佛蘭西人ハ其外國人カ用フルヲ得サル所ノ拘留ヲ用フルヲ得タレハ

ナリ(千八百三十二年ノ法律第十五條)

第二〇規則ニ適ヒタル裏書ノ効

(第七百五十二號)規則ニ適ヒタル裏書ノ主タル効ハ命令ニ於ケル手形ノ所有權ヲ移轉ニ在リ(第三百三十六條)則チ此手形ハ權利ノ讓渡ハ其總テノ附屬ノ權利ヲ包括ス可シトノ一般ノ規則ニ循ヒ其附屬ノ權利共ニ移轉ス故ニ若シ其手形ニ保證人又ハ書入質等ノ保證アル時ハ其保證ハ手形ノ所有權ト共ニ其讓受人ニ移ル可シ是レ即チ今日一般ニ認許スル所ノ說ナリトス○此書入質ノ權ハ「ウーヴェルチュール、ド、クレヂ」(第八百八十八號參看)ノ契約ヲ爲スノ際銀行ヨリ之ヲ約スルヲアリ若シ其銀行ニ於テ「ウーヴェルチュール、ド、クレヂ」ノ契約ヲ爲シタル者ヨリ發行シタル手形ヲ割引シ其支拂ヲ爲シタル時ハ其者ニ對スル權利ヲ保證ス可キ爲メ書入質ノ權ヲ有ス可シ此場合ニ於テハ此書入質ノ